

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号
特開2012-139600
(P2012-139600A)

(43) 公開日 平成24年7月26日(2012.7.26)

(51) Int.Cl.
A63F 7/02 (2006.01)

F I
A63F 7/02 304D
A63F 7/02 312Z

テーマコード(参考)
2C088

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 92 頁)

(21) 出願番号	特願2012-104430 (P2012-104430)	(71) 出願人	000148922
(22) 出願日	平成24年5月1日 (2012.5.1)		株式会社大一商会
(62) 分割の表示	特願2006-21849 (P2006-21849) の分割	(72) 発明者	市原 高明
原出願日	平成18年1月31日 (2006.1.31)		愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地 株式 会社大一商会内
		(72) 発明者	中島 健太郎
			愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地 株式 会社大一商会内
		Fターム(参考)	2C088 AA36 AA42 BC15 BC22 BC25 DA07 DA23 EA10 EB53 EB55

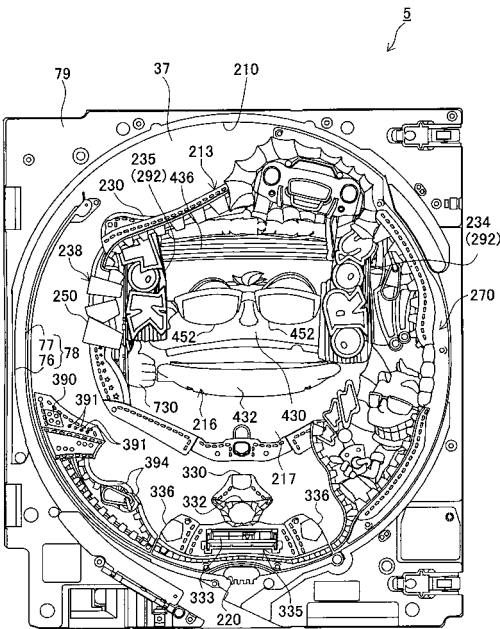
(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【要約】

【課題】遊技を充分に楽しませることができ、遊技者の
興味が低下するのを防止することのできる遊技機の提供
。

【解決手段】遊技者の操作により遊技媒体が打ち込まれ
る遊技領域37を有する遊技盤5と、遊技領域37に備
えられ遊技者から視認可能に配置される第一装飾可動体
430と、第一装飾可動体430を片持支持して上下方
向に移動させる第一装飾可動体駆動ユニットと、第一装
飾可動体430の前側に配置され略長尺状の本体部29
2が略水平な第一配置状態に配置されると第一装飾可動
体430を遮蔽可能であると共に本体部292が略垂直
な第二配置状態に配置されると第一装飾可動体430と
第一装飾可動体駆動ユニットとの間を遮蔽可能である右
可動装飾体234及び左可動装飾体235とを具備する
。また、第一装飾可動体430には、LED、レンズ部
452、及び遮光性の高い部材からなる発光装飾表示手
段が具備されている。

【選択図】図55



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域、後方に配置された配置物が視認可能な貫通孔が穿設されている遊技盤と、

前記遊技領域の下方から左右何れか一方側の内周面に沿って、前記遊技領域の上方へと前記遊技媒体を案内する案内手段と、

前記遊技領域の下部に備えられ、前記遊技媒体を前記遊技領域外の領域へと排出する排出口と、

前記遊技盤の前記貫通孔を前方から覆うように配置された枠状の主役物と、

該主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に前記遊技盤の後方に配置され、外形が所定キャラクタの顔における上顎から上の部位が立体的に造形されると共に、該所定キャラクタの目に相当する部位に発光する表示態様が変化する発光装飾表示手段を備えた第一可動体と、

10

該第一可動体の下方で前記主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に前記遊技盤の後方に配置され、外形が前記所定キャラクタの顔における下顎の部位が立体的に造形されると共に、発光可能な第二可動体と、

前記第一可動体及び前記第二可動体が前面側に出没自在とされると共に、前記主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に前記遊技盤の後方に配置され、所定の演出態様を表示可能な演出表示手段と、

該演出表示手段の左右何れか一方の外側で前記遊技盤の後面側に取付固定され、前記第一可動体を片持支持して上下方向に移動させる第一駆動ユニットと、

20

該第一駆動ユニットとは反対側である前記演出表示手段の左右何れか他方の外側で前記遊技盤の後面側に取付固定され、前記第二可動体を片持支持して上下方向に移動させる第二駆動ユニットとを具備し、

前記主役物は、

前記遊技媒体が左右方向に転動可能な転動面を有するステージと、

該ステージの後方に配置され、前記後方に配置された配置物が前記ステージ上の前記遊技媒体に衝突して前記左右方向に転動する転動演出を阻害するのを防止すると共に、前記遊技者が前記配置物を視認可能に構成された隔壁板と、

前記ステージに備えられ、前記遊技盤の前側の所定位置に前記遊技媒体を流下させる前流下口と、

30

前記ステージに備えられ、前記隔壁板に穿設された開口部を通じて前記遊技盤の後側の所定位置に前記遊技媒体を流下させる後流下口と、

前記遊技領域に打ち込まれた前記遊技媒体を受けて、前記ステージの左右何れか一端側に前記遊技媒体を供給する供給口と、

該供給口が備えられている他端側の前記ステージから連続して形成される延長転動面、及び、該延長転動面の前面側に前記隔壁板との協働で溝を形成するようにして形成され前記遊技媒体が衝突可能な壁状の衝突部材、を有して構成され、前記ステージ上を転動する遊技媒体の転動エネルギーを減衰することで、前記前流下口または前記後流下口以外の場所から前記遊技媒体が脱落するのを防止するエネルギー減衰手段と、

40

前記延長転動面の終端部の側壁に前記ステージの中央側に向かって突出して形成された突壁部、及び、前記延長転動面から一体的に上方に突出して形成された段差部、を具備し、前記遊技媒体を前記ステージ上へと押し戻すことで前記遊技媒体が前記延長転動面上で滞留するのを防止する滞留防止手段と、

前記隔壁板から一体的に形成され前記ステージの中央側へと突出した突条部材であって、前記後流下口の前記開口部に位置する部位が左右方向に斜めに傾斜して切り欠かれて形成されている開口部案内手段と、

前記ステージの下方且つ後方に備えられた受部、前記開口部から前記ステージの後方に突出して形成され前記受部へと前記誘導媒体を誘導するドーム状の誘導凹部、及び、前記受部に受け止められた前記遊技媒体を前記遊技盤の前面側へと流出させる流出口、を具備

50

する誘導手段と 前記ステージの前後略中央付近に備えられ、前記遊技媒体が略一つ分通過可能な幅で形成されている溝を有し、前記ステージ上へと供給される前記遊技媒体に所定の運動エネルギーを付与するエネルギー付与手段と、

前記案内手段の備えられている他方側の前記遊技領域内に位置する前記主役物の外周面であって前記遊技盤の内周面の近傍に前記遊技媒体が通過可能な間隙を有して略並行に配置され前記遊技領域の上方から下方へと前記遊技媒体を沿わせて案内可能な案内面、前記遊技盤の前面側に当接し該案内面から前記遊技領域の外方に延びて形成された第一フランジ部、及び、該第一フランジ部から前側に所定距離離反した略平行な位置であって前記案内面から前記遊技領域の外方に延びて形成され前記第一フランジ部と前記案内面とで水平断面が略コの字形になるように配設されると共に前記案内面上を転動する前記遊技媒体が視認可能に構成された第二フランジ部、を有して構成され、前記遊技領域に打ち込まれた前記遊技媒体を、前記ステージ上に供給することなく前記遊技領域の上方から下方へと流下させて前記排出口へと案内する排出口案内手段と、

前記第一フランジ部と前記第二フランジ部とに交互に形成され前記遊技媒体が衝突可能である複数の突起、を有し、前記排出口案内手段によって流下する前記遊技媒体の流下速度を減速させる減速手段と、

発光可能な装飾可動体とされており、前記主役物の枠状の内側に備えられた前記本体部が左右略同じ高さに二つ一組で形成されると共に、前記ステージ上に供給された前記遊技媒体に接触しない大きさで形成されており、前記第一可動体または前記第二可動体が片持ち支持されている側の端部側が回動可能に支持され、該支持された回動軸を中心に回動することによって、略水平な第一配置状態と略垂直な第二配置状態との間を移行可能である前側可動体とを備えており、

前記第一駆動ユニット及び前記第二駆動ユニットは、

略上下方向に延在し断面外形が円形状とされ摺動部位に摩擦低減層が形成された誘導部材と、

該誘導部材に挿入嵌合することで摺動案内されるブッシュ形状の二つの摺動部材と、

二つの該摺動部材が挿入嵌合される前記誘導部材の軸直角方向で前記遊技盤の面に略沿うように延び、前記第一可動体又は前記第二可動体を片持ち支持する支持シャフトと、

該支持シャフトに挿入嵌合され、該支持シャフトを回転可能に支持する二つの支持ブッシュと、

二つの該支持ブッシュ及び二つの前記摺動部材を夫々所定間隔で挟持することで保持する本体部、及び固定部材を備え、二つの前記支持ブッシュを介して前記支持シャフトを回転可能に保持すると共に、二つの前記摺動部材を介して前記誘導部材に誘導案内される被誘導部材と、

該被誘導部材を誘導案内する前記誘導部材の延在方向と同じ上下方向に互いに離反し、上側に配置され外周に複数の被係合歯が形成された駆動プーリ、及び下側に配置される従動プーリと、

前記駆動プーリ及び前記従動プーリに巻き掛けられ、内周に前記駆動プーリの前記被係合歯と係合する複数の係合歯が形成されると共に、前記被誘導部材に固定される駆動ベルトと、

該駆動ベルトを駆動させるために前記駆動プーリを回転させる回転駆動手段と、

該回転駆動手段により回転させられる前記駆動プーリと共に前記駆動ベルトに巻き掛けられる前記従動プーリに対して前記駆動プーリと離反する方向に開放され前記従動プーリの両側から突出する軸部を係止するフック状の係止部、前記誘導部材が挿入嵌合する案内孔を備え、前記誘導部材に誘導案内されると共に前記従動プーリを回転可能に保持する移動体と、

該移動体における前記案内孔と前記係止部との間で一端が支持され、前記駆動プーリと前記従動プーリとが互いに離反する方向へ付勢する付勢手段と、

該付勢手段により前記従動プーリを介して付勢された前記駆動ベルトが駆動されることで移動する前記被誘導部材が、前記誘導部材の軸芯周りに回転するのを防止し、該誘導部

10

20

30

40

50

材の延在方向と略同じ方向に延び該誘導部材から所定距離離れた位置に配置されるガイド部材、該ガイド部材によってその延出方向とは略直角方向への移動を規制され前記被誘導部材に保持される被ガイド部材を有し、前記第一駆動ユニットでは前記ガイド部材が前記誘導部材の軸芯に対して前記被誘導部材に片持保持された前記第一可動体の方向とは反対方向の位置に配置され、前記第二駆動ユニットでは前記ガイド部材が前記誘導部材の軸芯に対して、前記被誘導部材に片持保持された前記第二可動体の方向とは略直角方向の位置に配置される回転防止手段と、

該回転防止手段により回転が防止される前記被誘導部材に保持された前記支持シャフトを軸芯周りに回動させ、前記可動体が前記被誘導部材に前記支持シャフトを介して保持される側とは前記誘導部材を挟んで反対側の位置に配置され、所定方向に進退するブランジャを有したソレノイド、該ソレノイドにおける前記ブランジャの進退による直線運動を回転運動に変換して前記支持シャフトに伝達する伝達手段を備えた回動手段と、

前記誘導部材及び前記回転防止手段における前記ガイド部材の一端側を支持し、複数の位置決め突起を有した樹脂からなる第一支持部材と、

前記誘導部材及び前記回転防止手段における前記ガイド部材の他端側を支持し、複数の位置決め突起を有した樹脂からなる第二支持部材と、

板金からなり、前記第一支持部材及び前記第二支持部材の前記位置決め突起と対応する複数の位置決め孔、該位置決め孔と前記位置決め突起とを互いに嵌合させることで前記第一支持部材及び前記第二支持部材を所定位置に位置決め支持する支持面、該支持面に対して略直角に屈曲形成され上部にビスを挿通可能な取付孔が穿設された取付当接面を上側に備え、前記駆動プーリ、前記回転駆動手段、及び前記誘導部材を少なくとも支持すると共に、前記従動プーリが配置される位置よりも下方向に延出した位置で前記移動体に一端が支持された前記付勢手段の他端を支持し、且つ、前記可動体が前記遊技盤の前記貫通口の一つ且つ前記主役物の枠状の内側を通して視認可能となるように前記遊技盤の後面側に前記取付当接面を介して取付固定されるベースとを備えており、

前記第一可動体の前記発光装飾表示手段は、

複数種類の色の光を投光可能な発光手段から投光される光の三原色のうちの何れか一つのみからなる第一色の光だけが透過することで、第一表示態様を呈する第一透過手段と、

該第一透過手段と同一面上の遮光性の部材からなる部材上に配置され、且つ前記第一透過手段に対して一部が重複するように配置され、該重複する重複部は、前記第一色を除く他の光の三原色の何れか一方の色である第二色の光が少なくとも透過し、該重複部以外は該第二色のみが透過することで第二表示態様を呈する第二透過手段と、

前記第一透過手段及び前記第二透過手段に対して前記発光手段の配置される側から、前記発光手段から投光される光以外の色の光が前記第一透過手段及び前記第二透過手段に照射されるのを防止する遮光手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ぱちんこ遊技機（一般的に「パチンコ機」とも称する）や回胴式遊技機（一般に「パチスロ機」とも称する）等の遊技機に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来より、パチンコ機等の遊技機において、遊技球等の遊技媒体が打ち込まれる遊技領域を有した遊技盤を備えている。この遊技盤の適宜箇所に障害釘、風車、及び入賞口が設けられており、入賞口に遊技媒体が入賞すると、所定数の遊技媒体が払出されるようになっている。

【0003】

この種の遊技機では、遊技状態に応じて演出表示装置に様々な演出画像を表示させることで、入賞への期待感等を持たせて、遊技者の興趣を高められるようにしている。また、演出表示装置に加えて、機械的に上下方向に移動する可動体を備えたり（例えば、特許文

10

20

30

40

50

献 1)、前後方向に回動移動する可動体を備えたりして(例えば、特許文献 2)、演出画像による演出だけでなく可動体の動きによる演出も行うことで、より遊技者の興趣が高められるようにしたものも提案されている。

【0004】

また、遊技領域に、遊技球を転動させることでその動きを楽しむことのできるステージを有する役物を配置した遊技機が知られている(例えば、特許文献 3 及び 4)。具体的には、左右方向に延設され、左右両端側が高く中央側が低い湾曲形状に形成されたステージを設けている。そして、左右両端側には、遊技領域に打ち込まれた遊技球を受入れてステージ上へと供給する供給口が備えられており、供給口から供給された遊技球は、ステージ上を左右に転動する転動演出を行い、遊技者の目を楽しませるようになっている。

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献 1】特開 2004 - 065528 号公報

【特許文献 2】特開 2005 - 040441 号公報

【特許文献 3】特開 2004 - 057655 号公報

【特許文献 4】特開 2004 - 147900 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

20

しかしながら、従来の遊技機では、遊技者に注目させたい可動体の大きさや移動量が比較的小さく、可動体に演出動作をさせても、遊技者に気付かれなかったり、演出動作が判り辛かったりして、遊技者によって、可動体の動きを楽しむことができず、興趣を低下させてしまう恐れがあった。

【0007】

また、役物は、ステージ上で遊技媒体が左右に転動する転動演出を提示するだけであり、遊技者によっては、その動きを見慣れてしまうと、退屈に感じることもあった。これにより、遊技者によっては早々に遊技に飽きてしまい、遊技に対する興趣を高められない虞があった。

【0008】

30

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、遊技を充分に楽しませることができ、遊技者の興趣が低下するのを防止することのできる遊技機の提供を課題とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0009】

手段 1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域、後方に配置された配置物が視認可能な貫通孔が穿設されている遊技盤と、

前記遊技領域の下方から左右何れか一方側の内周面に沿って、前記遊技領域の上方へと前記遊技媒体を案内する案内手段と、

前記遊技領域の下部に備えられ、前記遊技媒体を前記遊技領域外の領域へと排出する排出口と、

40

前記遊技盤の前記貫通口を前方から覆うように配置された枠状の主役物と、

該主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に前記遊技盤の後方に配置され、外形が所定キャラクタの顔における上顎から上の部位が立体的に造形されると共に、該所定キャラクタの目に相当する部位に発光する表示態様が変化する発光装飾表示手段を備えた第一可動体と、

該第一可動体の下方で前記主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に前記遊技盤の後方に配置され、外形が前記所定キャラクタの顔における下顎の部位が立体的に造形されると共に、発光可能な第二可動体と、

前記第一可動体及び前記第二可動体が前面側に出没自在とされると共に、前記主役物の

50

棒状の内側を通して遊技者から視認可能に前記遊技盤の後方に配置され、所定の演出態様を表示可能な演出表示手段と、

該演出表示手段の左右何れか一方の外側で前記遊技盤の後面側に取付固定され、前記第一可動体を片持支持して上下方向に移動させる第一駆動ユニットと、

該第一駆動ユニットとは反対側である前記演出表示手段の左右何れか他方の外側で前記遊技盤の後面側に取付固定され、前記第二可動体を片持支持して上下方向に移動させる第二駆動ユニットとを具備し、

前記主役物は、

前記遊技媒体が左右方向に転動可能な転動面を有するステージと、

該ステージの後方に配置され、前記後方に配置された配置物が前記ステージ上の前記遊技媒体に衝突して前記左右方向に転動する転動演出を阻害するのを防止すると共に、前記遊技者が前記配置物を視認可能に構成された隔壁板と、

前記ステージに備えられ、前記遊技盤の前側の所定位置に前記遊技媒体を流下させる前流下口と、

前記ステージに備えられ、前記隔壁板に穿設された開口部を通じて前記遊技盤の後側の所定位置に前記遊技媒体を流下させる後流下口と、

前記遊技領域に打ち込まれた前記遊技媒体を受けて、前記ステージの左右何れか一端側に前記遊技媒体を供給する供給口と、

該供給口が備えられている他端側の前記ステージから連続して形成される延長転動面、及び、該延長転動面の前面側に前記隔壁板との協働で溝を形成するようにして形成され前記遊技媒体が衝突可能な壁状の衝突部材、を有して構成され、前記ステージ上を転動する遊技媒体の転動エネルギーを減衰することで、前記前流下口または前記後流下口以外の場所から前記遊技媒体が脱落するのを防止するエネルギー減衰手段と、

前記延長転動面の終端部の側壁に前記ステージの中央側に向かって突出して形成された突壁部、及び、前記延長転動面から一体的に上方に突出して形成された段差部、を具備し、前記遊技媒体を前記ステージ上へと押し戻すことで前記遊技媒体が前記延長転動面上で滞留するのを防止する滞留防止手段と、

前記隔壁板から一体的に形成され前記ステージの中央側へと突出した突条部材であって、前記後流下口の前記開口部に位置する部位が左右方向に斜めに傾斜して切り欠かれて形成されている開口部案内手段と、

前記ステージの下方且つ後方に備えられた受部、前記開口部から前記ステージの後方に突出して形成され前記受部へと前記誘導媒体を誘導するドーム状の誘導凹部、及び、前記受部に受け止められた前記遊技媒体を前記遊技盤の前面側へと流出させる流出口、を具備する誘導手段と

前記ステージの前後略中央付近に備えられ、前記遊技媒体が略一つ分通過可能な幅で形成されている溝を有し、前記ステージ上へと供給される前記遊技媒体に所定の運動エネルギーを付与するエネルギー付与手段と、

前記案内手段の備えられている他方側の前記遊技領域内に位置する前記主役物の外周面であって前記遊技盤の内周面の近傍に前記遊技媒体が通過可能な間隙を有して略並行に配置され前記遊技領域の上方から下方へと前記遊技媒体を沿わせて案内可能な案内面、前記遊技盤の前面側に当接し該案内面から前記遊技領域の外方に延びて形成された第一フランジ部、及び、該第一フランジ部から前側に所定距離離反した略平行な位置であって前記案内面から前記遊技領域の外方に延びて形成され前記第一フランジ部と前記案内面とで水平断面が略コの字形になるように配設されると共に前記案内面上を転動する前記遊技媒体が視認可能に構成された第二フランジ部、を有して構成され、前記遊技領域に打ち込まれた前記遊技媒体を、前記ステージ上に供給することなく前記遊技領域の上方から下方へと流下させて前記排出口へと案内する排出口案内手段と、

前記第一フランジ部と前記第二フランジ部とに交互に形成され前記遊技媒体が衝突可能である複数の突起、を有し、前記排出口案内手段によって流下する前記遊技媒体の流下速度を減速させる減速手段と、

10

20

30

40

50

発光可能な装飾可動体とされており、前記主役物の枠状の内側に備えられた前記本体部が左右略同じ高さに二つ一組で形成されると共に、前記ステージ上に供給された前記遊技媒体に接触しない大きさで形成されており、前記第一可動体または前記第二可動体が片持ち支持されている側の端部側が回動可能に支持され、該支持された回動軸を中心に回動することによって、略水平な第一配置状態と略垂直な第二配置状態との間を移行可能である前側可動体とを備えており、

前記第一駆動ユニット及び前記第二駆動ユニットは、

略上下方向に延在し断面外形が円形状とされ摺動部位に摩擦低減層が形成された誘導部材と、

該誘導部材に挿入嵌合することで摺動案内されるブッシュ形状の二つの摺動部材と、

二つの該摺動部材が挿入嵌合される前記誘導部材の軸直角方向で前記遊技盤の面に略沿うように延び、前記第一可動体又は前記第二可動体を片持ち支持する支持シャフトと、

該支持シャフトに挿入嵌合され、該支持シャフトを回転可能に支持する二つの支持ブッシュと、

二つの該支持ブッシュ及び二つの前記摺動部材を夫々所定間隔で挟持することで保持する本体部、及び固定部材を備え、二つの前記支持ブッシュを介して前記支持シャフトを回転可能に保持すると共に、二つの前記摺動部材を介して前記誘導部材に誘導案内される被誘導部材と、

該被誘導部材を誘導案内する前記誘導部材の延在方向と同じ上下方向に互いに離反し、上側に配置され外周に複数の被係合歯が形成された駆動プーリ、及び下側に配置される従動プーリと、

前記駆動プーリ及び前記従動プーリに巻き掛けられ、内周に前記駆動プーリの前記被係合歯と係合する複数の係合歯が形成されると共に、前記被誘導部材に固定される駆動ベルトと、

該駆動ベルトを駆動させるために前記駆動プーリを回転させる回転駆動手段と、

該回転駆動手段により回転させられる前記駆動プーリと共に前記駆動ベルトに巻き掛けられる前記従動プーリに対して前記駆動プーリと離反する方向に開放され前記従動プーリの両側から突出する軸部を係止するフック状の係止部、前記誘導部材が挿入嵌合する案内孔を備え、前記誘導部材に誘導案内されると共に前記従動プーリを回転可能に保持する移動体と、

該移動体における前記案内孔と前記係止部との間で一端が支持され、前記駆動プーリと前記従動プーリとが互いに離反する方向へ付勢する付勢手段と、

該付勢手段により前記従動プーリを介して付勢された前記駆動ベルトが駆動されることで移動する前記被誘導部材が、前記誘導部材の軸芯周りに回転するのを防止し、該誘導部材の延在方向と略同じ方向に延び該誘導部材から所定距離離れた位置に配置されるガイド部材、該ガイド部材によってその延出方向とは略直角方向への移動を規制され前記被誘導部材に保持される被ガイド部材を有し、前記第一駆動ユニットでは前記ガイド部材が前記誘導部材の軸芯に対して前記被誘導部材に片持ち保持された前記第一可動体の方向とは反対方向の位置に配置され、前記第二駆動ユニットでは前記ガイド部材が前記誘導部材の軸芯に対して、前記被誘導部材に片持ち保持された前記第二可動体の方向とは略直角方向の位置に配置される回転防止手段と、

該回転防止手段により回転が防止される前記被誘導部材に保持された前記支持シャフトを軸芯周りに回動させ、前記可動体が前記被誘導部材に前記支持シャフトを介して保持される側とは前記誘導部材を挟んで反対側の位置に配置され、所定方向に進退するプランジャを有したソレノイド、該ソレノイドにおける前記プランジャの進退による直線運動を回転運動に変換して前記支持シャフトに伝達する伝達手段を備えた回動手段と、

前記誘導部材及び前記回転防止手段における前記ガイド部材の一端側を支持し、複数の位置決め突起を有した樹脂からなる第一支持部材と、

前記誘導部材及び前記回転防止手段における前記ガイド部材の他端側を支持し、複数の位置決め突起を有した樹脂からなる第二支持部材と、

10

20

30

40

50

板金からなり、前記第一支持部材及び前記第二支持部材の前記位置決め突起と対応する複数の位置決め孔、該位置決め孔と前記位置決め突起とを互いに嵌合させることで前記第一支持部材及び前記第二支持部材を所定位置に位置決め支持する支持面、該支持面に対して略直角に屈曲形成され上部にビスを挿通可能な取付孔が穿設された取付当接面を上側に備え、前記駆動プーリ、前記回転駆動手段、及び前記誘導部材を少なくとも支持すると共に、前記従動プーリが配置される位置よりも下方向に延出した位置で前記移動体に一端が支持された前記付勢手段の他端を支持し、且つ、前記可動体が前記遊技盤の前記貫通口の一つ且つ前記主役物の枠状の内側を通して視認可能となるように前記遊技盤の後面側に前記取付当接面を介して取付固定されるベースとを備えており、

前記第一可動体の前記発光装飾表示手段は、

10

複数種類の色の光を投光可能な発光手段から投光される光の三原色のうちの何れか一つのみからなる第一色の光だけが透過することで、第一表示態様を呈する第一透過手段と、

該第一透過手段と同一面上の遮光性の部材からなる部材上に配置され、且つ前記第一透過手段に対して一部が重複するように配置され、該重複する重複部は、前記第一色を除く他の光の三原色の何れか一方の色である第二色の光が少なくとも透過し、該重複部以外は該第二色のみが透過することで第二表示態様を呈する第二透過手段と、

前記第一透過手段及び前記第二透過手段に対して前記発光手段の配置される側から、前記発光手段から投光される光以外の色の光が前記第一透過手段及び前記第二透過手段に照射されるのを防止する遮光手段とを備えている」ものであることを特徴とする。

【0010】

20

ここで、「後方に配置された配置物が視認可能」とは、正面視において、遊技領域内に投影される位置に配置物が配置されていることであり、遊技領域内に配置しても良いし、遊技領域の前側に配置しても良い。また、遊技領域の後側（遊技盤の後側）に配置し、貫通口の内部を通じて視認できる状態としても良い。

【0011】

また、「案内手段」とは、遊技者の操作によって打ち込まれた遊技媒体を、遊技盤の下方から遊技領域の上方へと案内する手段を示し、「外レールと内レールとの間に遊技媒体を通過させ、遊技領域の上方へと案内するもの」、「遊技媒体が通過可能な流路を設け、遊技領域の上方へと案内するもの」、「遊技媒体が沿って転動することが可能な溝を設け、遊技領域の上方へと案内するもの」、等が例示できる。

30

【0012】

また、「第一可動体」、「第二可動体」、及び「前側可動体」としては、「遊技媒体と接触するように配置され、遊技媒体の動きを変化させることのできる役物可動体」、「遊技媒体とは接触しないように配置され、動きにより演出を行うことのできる装飾可動体」、等が挙げられる。

【0013】

更に、「所定キャラクタ」とは、小説・漫画・映画・演劇などの登場人物、動物、植物、又は道具（乗物を含む）類等を擬人化したもの、若しくは、本遊技機のために作成された仮想上の人物、動物、植物、又は道具（乗物を含む）類等を擬人化したものである。

【0014】

40

また、演出表示手段に対して、第一可動体及び第二可動体が没する位置としては、両可動体が共に上側又は下側に没するようにしても良いし、第一可動体が上側に第二可動体が下側に没するようにしても良い。

【0015】

さらに、「目に相当する部位」とは、「眼球に相当する部位」、「瞳に相当する部位」、「上下の瞼の間に相当する部位」、「眼鏡やゴーグルに相当する部位」、等である。また、「発光装飾表示手段」としては、「発光表示される模様や図柄等が変化するもの」、「発光表示される模様や図柄等の色彩が変化するもの」、等が挙げられる。

【0016】

また、「所定の演出態様」とは、キャラクタ、背景及び図柄等を静止画や動画として、

50

或る動きをさせたり、ストーリー性のある表示をさせたりした表示態様のことである。なお、「キャラクタ」とは、図柄列及び背景以外の画像を意味しており、小説・漫画・映画・演劇などの登場人物、動物、植物、又は小道具類、もしくはこの遊技機のために作成された仮想上の人物、動物、植物、又は小道具類等を挙げられる。また、「図柄」とは、数字や記号、あるいはそれらと絵柄との組み合わせ等からなる演出用の図柄である。

【0017】

更に、「演出表示手段」とは、キャラクタ、背景、及び図柄等を用いた演出画像を表示可能なものであり、例えば、「液晶ディスプレイ(LCD)」、「CRT」、「有機ELディスプレイ(OELD、またはOLED)」、「無機ELディスプレイ」、「プラズマディスプレイ(PLP)」、「蛍光表示管パネル(VFDP)」、「フィールドエミッションディスプレイ」、「発光ダイオード(LED)」、「白熱ランプ」、等が挙げられる。

10

【0018】

また、「転動面」とは、遊技媒体を転動させることで遊技媒体に所定の演出動作を付与させて、遊技媒体の動きにより遊技者の興趣が高められるようにしたものであれば良く、例えば、「転動面が不動に固定され、供給された遊技媒体を所定方向(左右方向や前後方向)に転動させた上で、所定位置から放出するもの(例えば、固定タイプのステージ)」、「転動面の一部又は全部が可動するように構成され、供給された遊技媒体を所定方向(左右方向や前後方向)に転動させた上で、所定位置から放出するもの(例えば、可動タイプのステージ)」等が挙げられる。

20

【0019】

また、案内面における「内周面の近傍」とは、遊技媒体が少なくとも一つ分は通過可能であり、且つ例えば3つ分以上は離れていない程度の近い距離が例示できる。また、少なくとも遊技領域の内周面と案内面とが近傍に配置されていれば良く、第一フランジ及び第二フランジと、該内周面とは接していても良く、離れていても良いが、離れていると、遊技盤の前面側より案内面上をメンテナンスするのが簡単なので、より好ましい。

【0020】

また、「略並行に配置され」とは、主役物の外周面が、遊技盤の内周面に沿って配置されていることを示し、例えば、「略円形の遊技領域の形状に沿って、主役物の外周面が円弧状に形成されている」、「略四角形状の主役物の外周面に沿って、遊技領域の内周面が四角形状に形成されている」、等の構成が例示できる。

30

【0021】

更に、減速手段における「突起」とは、遊技媒体が衝突可能なものであれば良く、例えば、「排出口案内手段の内壁の一部に突起を設けるもの」、「遊技媒体の流下経路に釘を配置するもの」、等が挙げられる。

【0022】

また、「交互に形成され」た状態としては、例えば、「突起の一方が前側から後側に向かって突出するものであれば、他方は後側から前側に向かって突出するもの」、「突起の一方が右側から左側に向かって突出するものであれば、他方は左側から右側に向かって突出するもの」、「前述の前後方向、及び左右方向に対向する位置を夫々組み合わせたもの」、等が挙げられる。

40

【0023】

また、「第一可動体」及び「第二可動体」としては、「遊技媒体と接触するように配置され、遊技媒体の動きを変化させることのできる役物可動体」、「遊技媒体とは接触しないように配置され、動きにより演出を行うことのできる装飾可動体」、等が挙げられるが、遊技媒体が少なくともステージ上に供給された後は、接触しない大きさに形成されていること(「前記ステージ上に供給された前記遊技媒体に接触しない大きさに形成されており」)が望ましい。

【0024】

さらに、「駆動ユニット」としては、可動体を上下方向に移動させることができるもの

50

であれば良く、例えば、「上下方向に延びる誘導部材と、誘導部材に誘導案内され可動体を保持する被誘導部材と、被誘導部材を移動させる移動手段とを備えたもの」、が挙げられる。

【0025】

また、「断面外形が円形状」とは、外形が円形であれば良く、中実又は中空の何れの部材であっても良い。また、「ブッシュ形状」とは、誘導部材と嵌合する円形の孔を有した筒形状であれば良く、被誘導部材に保持するための鍔部等を備えているものであっても良い。

【0026】

更に、「誘導部材」としては、被誘導部材を所定方向に誘導できるものであれば良く、「断面形状が円形状又は多角形状で所定方向に連続して延びるもの」、「断面形状が円形状又は多角形状で所定方向に不連続で延びるもの（所定の間隔で配置されるもの）」、等が挙げられる。なお、「誘導案内」としては、誘導部材と被誘導部材とが互いに摺動することで案内されるものや、何れかが転動することで案内されるもの等を挙げることができる。なお、「誘導部材」の素材としては、「樹脂」、「金属」、「セラミックス」、「ガラス繊維強化樹脂や炭素繊維強化樹脂などの複合材」、等が挙げられる。

10

【0027】

また、「本体部と固定部材とにより挟持」とは、本体部と固定部材とにより摺動部材や支持ブッシュを挟み込むことで保持することができれば良く、例えば、「摺動部材や支持ブッシュの軸方向両側から挟持するようにしたもの」、「摺動部材や支持ブッシュの軸直角方向両側から挟持するようにしたもの」、「摺動部材又は支持ブッシュの一方をその軸方向から、他方をその軸直角方向から挟持するようにしたもの」等が挙げられる。

20

【0028】

また、「被誘導部材」としては、「摺動部材が互いに接近しないように保持する本体部と、摺動部材が互いに離反しないように固定する固定部材とからなるもの」、「摺動部材が互いに接近及び離反しないように保持すると共に誘導部材の軸直角方向に対し一方向への移動を規制する本体部と、摺動部材が互いに接近及び離反しないように保持すると共に誘導部材の軸直角方向に対し他方向への移動を規制する固定部材とからなるもの」、「上記の本体部及び固定部材を適宜組み合わせたもの」、等が挙げられる。

【0029】

更に、「摩擦低減層」としては、例えば、「表面を磨くことで摩擦を低減可能な鏡面研磨層」、「クロム等の金属メッキ層」、「摩擦を低減可能な樹脂をコーティングした樹脂コーティング層（樹脂としては、エンジニアリングプラスチックが望ましく、その中でも、フッ素系樹脂であるポリテトラフルオロエチレン（PTFE、テフロン（登録商標）、ターカイト（登録商標）、ベアリー（登録商標））が望ましい。）」、等が挙げられる。

30

【0030】

また、「摺動部材」としては、誘導部材の軸直角方向への移動が規制できるものが望ましく、「円形又は多角形のブッシュ形状のもの」、「あり形状のもの」、「T字形状のもの」、等が挙げられ、特に、ブッシュ形状のものとした場合、誘導部材や摺動部材を安価で種類も豊富な型材や規格材とすることができる。

40

【0031】

更に、「駆動プーリ、従動プーリ、及び駆動ベルト」としては、「駆動ベルトを平ベルトとし、駆動プーリ及び従動プーリを平プーリとしたもの」、「駆動ベルトを歯付きベルトとし、駆動プーリ及び従動プーリを駆動ベルトの歯と係合する歯付きプーリとしたもの」、「駆動ベルトを歯付きベルトとし、駆動プーリを駆動ベルトの歯と係合する歯付きプーリとし、従動プーリを平プーリとしたもの」、等が挙げられる。

【0032】

また、「回転駆動手段」としては、「電気モータ」、「空圧アクチュエータ」、等が挙げられ、回転駆動手段により直接駆動プーリを回転駆動するようにしても良いし、変速ギ

50

ヤを介して間接的に駆動プーリを回転駆動するようにしても良い。なお、間接的に駆動プーリを回転駆動させるようにした場合、回転駆動手段の位置と、駆動プーリの位置とを異なる位置にすることができるので、空間的に余裕のある位置に回転駆動手段を配置してそこから間接的に駆動プーリを回転駆動させるようにすることもでき、より配置自由度を高めることができる。

【0033】

更に、「付勢手段」としては、「コイルバネ」、「板バネ」、「ゴム」、等が挙げられる。なお、付勢手段を配置する位置としては、駆動プーリと従動プーリとの間の位置であっても良いし、従動プーリに対して駆動プーリとは反対側の位置であっても良い。

【0034】

また、「ガイド部材」としては、「断面形状が円形状又は多角形状で所定方向に連続して延びるもの」、「断面形状が円形状又は多角形状で所定方向に不連続で延びるもの（所定の間隔で配置されるもの）」、等が挙げられる。また、「被ガイド部材」としては、「ガイド部材の外表面と当接することでガイドされるもの」、「ガイド部材の内面又は凹陥部と当接することでガイドされるもの」、「ガイド部材と嵌合することでガイドされるもの」、等が挙げられる。更に、回転防止手段によっても被誘導部材の重量等を支持できるようなものでも良い。

【0035】

更に、「回転防止手段」としては、「誘導部材の延在方向と略平行に配置されたガイド部材と、ガイド部材にガイドされガイド部材の延出方向とは略直角方向への移動を規制された被ガイド部材とからなるもの」、「第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットによって片持支持される第一可動体及び第二可動体の、第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットの反対側を支持することで回転するのを防止するもの」が挙げられる。

【0036】

また、「伝達手段」としては、「基端が支持部材に固定され先端がプランジャに接続されることで、プランジャの直線運動を変換して支持部材を回転運動させるように伝達するもの」、「クランク機構を用いて、プランジャの直線運動を変換して支持部材を回転運動させるように伝達するもの」、等が挙げられる。

【0037】

更に、「樹脂」としては、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂など適宜なものを用いることができ、例えば、「ポリカーボネイト」、「ポリプロピレン」、「ポリエチレン」、「ポリウレタン」、等が挙げられる。また、射出成形可能なものとするのが望ましい。

【0038】

また、「ベース」の素材としては、「樹脂」、「金属」、「セラミックス」、「ガラス繊維強化樹脂や炭素繊維強化樹脂などの複合材」、等が挙げられる。なお、ベースに用いる素材の剛性は、第一支持部材及び第二支持部材に用いる素材の剛性に対して、それ以上の剛性を有したものとすることが望ましい。また、素材を金属とした場合では、「所定厚さの板材を用いたもの」、「所定厚さの板材を所定形状に屈曲成形したもの」、「所定の断面形状を有した型材を用いたもの」、等が挙げられる。なお、ベースとして板材（例えば、板金）を屈曲成形したものとした場合、単板のベースと比較して屈曲部により剛性の高いベースとすることができると共に、安価に製造することができる。

【0039】

また、「発光装飾表示手段」としては、所定の表示態様を変化させることのできる発光表示手段であればよく、例えば複数の点（ドット）をマトリクス状に組み合わせて表示させる「ドットマトリクス型」方式のディスプレイであっても構わないが、所定の形状を点灯・点滅させて表示させる方式である「セグメント型」方式のディスプレイを用いると、比較的簡単な構成で形成できることからコンパクトで軽量の発光表示手段とすることができ、より好ましい。

【0040】

更に、「複数種類の色」としては、赤・緑・青の光の三原色のうち何れか（もしくは何

10

20

30

40

50

れも)であっても良いし、これらのうち何れか(若しくは何れも)を混合させた中間色であっても良い。また、「発光手段」としては、具体的な構成を何ら限定するものではないが、「白熱電灯」、「電球」、「蛍光灯」、「LED」、「ネオン灯」、「水銀灯」、「ナトリウム灯」、等を例示することができる。さらに、「表示態様」としては、どのような模様・形状・図形であっても良く、文字、絵、数字、キャラクタなどの図柄も含まれる。

【0041】

また、「第一透過手段」及び「第二透過手段」としては、所定の光のみを透過する(フィルタリングする)ことができるものであれば何ら限定されるものではないが、例えば、公知のカラーフィルタなどが適用可能である。

10

【0042】

また、第一透過手段と第二透過手段とを「同一面上」に形成する方法としては、例えば、二つの透過手段を貼り合せて形成する、樹脂の射出成形技術の一つである多色成形技術を適用する、カラー印刷技術を適用する、等の方法が挙げられる。

【0043】

更に、「遮光手段」としては、光を吸収・反射または当該光学表示装置を見る者(遊技者等)の視角に応じて光路を制限するものであれば良く、例えば、着色された有機系樹脂やTa、Ti、W、Mo、Cr、及びNi等、適宜な金属の酸化膜からなる所謂ブラックマトリクス、マイクロレンズアレイ、または光学ミラー等が挙げられる。また、「発光手段から投光される光以外の光」とは、例えばLCD等の他のディスプレイ装置から照射される光や、遊技機の外から入射した太陽光や照明器具等の光が遊技機内で乱反射したもの、等が挙げられる。

20

【0044】

従って、手段1の構成によれば、遊技機において、遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域、後方に配置された配置物が視認可能な貫通孔が穿設されている遊技盤と、遊技領域の下方から左右何れか一方側の内周面に沿って、遊技領域の上方へと遊技媒体を案内する案内手段と、遊技領域の下部に備えられ、遊技媒体を遊技領域外の領域へと排出する排出口と、遊技盤の貫通孔を前方から覆うように配置された枠状の主役物と、主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に遊技盤の後方に配置され、外形が所定キャラクタの顔における上顎から上の部位が立体的に造形されると共に、所定キャラクタの目に相当する部位に発光する表示態様が変化する発光装飾表示手段を備えた第一可動体と、第一可動体の下方で主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に遊技盤の後方に配置され、外形が所定キャラクタの顔における下顎の部位が立体的に造形されると共に、発光可能な第二可動体と、第一可動体及び第二可動体が前面側に出没自在とされると共に、主役物の枠状の内側を通して遊技者から視認可能に遊技盤の後方に配置され、所定の演出態様を表示可能な演出表示手段と、演出表示手段の左右何れか一方の外側で遊技盤の後面側に取付固定され、第一可動体を片持支持して上下方向に移動させる第一駆動ユニットと、第一駆動ユニットとは反対側である演出表示手段の左右何れか他方の外側で遊技盤の後面側に取付固定され、第二可動体を片持支持して上下方向に移動させる第二駆動ユニットとを具備し、主役物は、遊技媒体が左右方向に転動可能な転動面を有するステージと、ステージの後方に配置され、後方に配置された配置物がステージ上の遊技媒体に衝突して左右方向に転動する転動演出を阻害するのを防止すると共に、遊技者が配置物を視認可能に構成された隔壁板と、ステージに備えられ、遊技盤の前側の所定位置に遊技媒体を流下させる前流下口と、ステージに備えられ、隔壁板に穿設された開口部を通じて遊技盤の後側の所定位置に遊技媒体を流下させる後流下口と、遊技領域に打ち込まれた遊技媒体を受けて、ステージの左右何れか一端側に遊技媒体を供給する供給口と、供給口が備えられている他端側のステージから連続して形成される延長転動面、及び、延長転動面の前面側に隔壁板との協働で溝を形成するようにして形成され遊技媒体が衝突可能な壁状の衝突部材、を有して構成され、ステージ上を転動する遊技媒体の転動エネルギーを減衰することで、前流下口または後流下口以外の場所から遊技媒体が脱落するのを防止するエネルギー

30

40

50

減衰手段と、延長転動面の終端部の側壁にステージの中央側に向かって突出して形成された突壁部、及び、延長転動面から一体的に上方に突出して形成された段差部、を具備し、遊技媒体をステージ上へと押し戻すことで遊技媒体が延長転動面上で滞留するのを防止する滞留防止手段と、隔壁板から一体的に形成されステージの中央側へと突出した突条部材であって、後流下口の開口部に位置する部位が左右方向に斜めに傾斜して切り欠かれて形成されている開口部案内手段と、ステージの下方且つ後方に備えられた受部、開口部からステージの後方に突出して形成され受部へと誘導媒体を誘導するドーム状の誘導凹部、及び、受部に受け止められた遊技媒体を遊技盤の前面側へと流出させる流出口、を具備する誘導手段とステージの前後略中央付近に備えられ、遊技媒体が略一つ分通過可能な幅で形成されている溝を有し、ステージ上へと供給される遊技媒体に所定の運動エネルギーを付与するエネルギー付与手段と、案内手段の備えられている他方側の遊技領域内に位置する主役物の外周面であって遊技盤の内周面の近傍に遊技媒体が通過可能な間隙を有して略並行に配置され遊技領域の上方から下方へと遊技媒体を沿わせて案内可能な案内面、遊技盤の前面側に当接し案内面から遊技領域の外方に延びて形成された第一フランジ部、及び、第一フランジ部から前側に所定距離離反した略平行な位置であって案内面から遊技領域の外方に延びて形成され第一フランジ部と案内面とで水平断面が略コの字形になるように配設されると共に案内面上を転動する遊技媒体が視認可能に構成された第二フランジ部、を有して構成され、遊技領域に打ち込まれた遊技媒体を、ステージ上に供給することなく遊技領域の上方から下方へと流下させて排出口へと案内する排出口案内手段と、第一フランジ部と第二フランジ部とに交互に形成され遊技媒体が衝突可能である複数の突起、を有し、排出口案内手段によって流下する遊技媒体の流下速度を減速させる減速手段と、発光可能な装飾可動体とされており、主役物の枠状の内側に備えられた本体部が左右略同じ高さに二つ一組で形成されると共に、ステージ上に供給された遊技媒体に接触しない大きさで形成されており、第一可動体または第二可動体が片持ち支持されている側の端部側が回動可能に支持され、支持された回動軸を中心に回動することによって、略水平な第一配置状態と略垂直な第二配置状態との間を移行可能である前側可動体とを備えており、第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットは、略上下方向に延在し断面外形が円形状とされ摺動部に摩擦低減層が形成された誘導部材と、誘導部材に挿入嵌合することで摺動案内されるブッシュ形状の二つの摺動部材と、二つの摺動部材が挿入嵌合される誘導部材の軸直角方向で遊技盤の面に略沿うように延び、第一可動体又は第二可動体を片持ち支持する支持シャフトと、支持シャフトに挿入嵌合され、支持シャフトを回轉可能に支持する二つの支持ブッシュと、二つの支持ブッシュ及び二つの摺動部材を夫々所定間隔で挟持することで保持する本体部、及び固定部材を備え、二つの支持ブッシュを介して支持シャフトを回轉可能に保持すると共に、二つの摺動部材を介して誘導部材に誘導案内される被誘導部材と、被誘導部材を誘導案内する誘導部材の延在方向と同じ上下方向に互いに離反し、上側に配置され外周に複数の被係合歯が形成された駆動プーリ、及び下側に配置される従動プーリと、駆動プーリ及び従動プーリに巻き掛けられ、内周に駆動プーリの被係合歯と係合する複数の係合歯が形成されると共に、被誘導部材に固定される駆動ベルトと、駆動ベルトを駆動させるために駆動プーリを回轉させる回轉駆動手段と、回轉駆動手段により回轉させられる駆動プーリと共に駆動ベルトに巻き掛けられる従動プーリに対して駆動プーリと離反する方向に開放され従動プーリの両側から突出する軸部を係止するフック状の係止部、誘導部材が挿入嵌合する案内孔を備え、誘導部材に誘導案内されると共に従動プーリを回轉可能に保持する移動体と、移動体における案内孔と係止部との間で一端が支持され、駆動プーリと従動プーリとが互いに離反する方向へ付勢する付勢手段と、付勢手段により従動プーリを介して付勢された駆動ベルトが駆動されることで移動する被誘導部材が、誘導部材の軸芯周りに回轉するのを防止し、誘導部材の延在方向と略同じ方向に延び誘導部材から所定距離離れた位置に配置されるガイド部材、ガイド部材によってその延出方向とは略直角方向への移動を規制され被誘導部材に保持される被ガイド部材を有し、第一駆動ユニットではガイド部材が誘導部材の軸芯に対して被誘導部材に片持ち保持された第一可動体の方向とは反対方向の位置に配置され、第二駆動ユニットではガイド部材が誘導部材の軸芯

に対して、被誘導部材に片持保持された第二可動体の方向とは略直角方向の位置に配置される回転防止手段と、回転防止手段により回転が防止される被誘導部材に保持された支持シャフトを軸芯周りに回動させ、可動体が被誘導部材に支持シャフトを介して保持される側とは誘導部材を挟んで反対側の位置に配置され、所定方向に進退するプランジャを有したソレノイド、ソレノイドにおけるプランジャの進退による直線運動を回転運動に変換して支持シャフトに伝達する伝達手段を備えた回動手段と、誘導部材及び回転防止手段におけるガイド部材の一端側を支持し、複数の位置決め突起を有した樹脂からなる第一支持部材と、誘導部材及び回転防止手段におけるガイド部材の他端側を支持し、複数の位置決め突起を有した樹脂からなる第二支持部材と、板金からなり、第一支持部材及び第二支持部材の位置決め突起と対応する複数の位置決め孔、位置決め孔と位置決め突起とを互いに嵌合させることで第一支持部材及び第二支持部材を所定位置に位置決め支持する支持面、支持面に対して略直角に屈曲形成され上部にビスを挿通可能な取付孔が穿設された取付当接面を上側に備え、駆動プーリ、回転駆動手段、及び誘導部材を少なくとも支持すると共に、従動プーリが配置される位置よりも下方向に延出した位置で移動体に一端が支持された付勢手段の他端を支持し、且つ、可動体が遊技盤の貫通口の一つ且つ主役物の枠状の内側を通して視認可能となるように遊技盤の後面側に取付当接面を介して取付固定されるベースとを備えており、第一可動体の発光装飾表示手段は、複数種類の色の光を投光可能な発光手段から投光される光の三原色のうちの何れか一つのみからなる第一色の光だけが透過することで、第一表示態様を呈する第一透過手段と、第一透過手段と同一面上の遮光性の部材からなる部材上に配置され、且つ第一透過手段に対して一部が重複するように配置され、重複する重複部は、第一色を除く他の光の三原色の何れか一方の色である第二色の光が少なくとも透過し、重複部以外は第二色のみが透過することで第二表示態様を呈する第二透過手段と、第一透過手段及び第二透過手段に対して発光手段の配置される側から、発光手段から投光される光以外の色の光が第一透過手段及び第二透過手段に照射されるのを防止する遮光手段とを備えていることを特徴とする。

10

20

30

40

50

【0045】

これにより、第一可動体及び第二可動体の二つの可動体を備えているので、夫々の動きを組み合わせることで演出動作の種類（バリエーション）を増やすことができ、より演出動作を楽しませて飽き難いものとし、演出動作により遊技者の興味が低下するのを防止することができる。また、本手段の構成によれば、所定キャラクタの顔を表現した第一可動体及び第二可動体を、夫々接近させたり、離反させたり、一方のみを上下動させたり、両方を同一方向に上下動させたりすることが可能となる。つまり、所定キャラクタの顔を上下方向に移動させたり、所定キャラクタの顔の口を開閉させたりすることが可能となり、遊技機において可動体が目立つものとなり、遊技者をそれらの可動体に注目させることができ、第一可動体及び第二可動体による演出動作を楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

【0046】

また、第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットによって、第一可動体と第二可動体とを互いに接近させたり離反させたりすることで、所定キャラクタの口が閉じたり開いたりする動作となり、所定キャラクタの口がバクバクする動きにより、遊技者に強いインパクトを与えると共に楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

【0047】

また、遊技盤の後面側に、貫通口を通して第一可動体や第二可動体が視認可能となるようにベースの取付当接面を取付固定しているので、遊技盤の後面側にベースを取付けても、貫通口を通してベースに支持された誘導部材に誘導案内される可動体を遊技者に視認させることができ、第一可動体や第二可動体の動きを楽しませて興味が低下するのを抑制することができるものとする。また、上述の可動体を遊技機に備えても、ベースの取付固定のために遊技領域が狭くなることなく、十分な遊技領域を確保することができ、遊技媒体の動きが単調な動きとなるのを防止して、興味が低下するのを抑制することができるものとする。

【 0 0 4 8 】

更に、演出表示手段の前面側で第一可動体や第二可動体が移動するようにしているので、これにより、演出表示手段に表示させる演出態様と可動体とを可及的に近づけることが可能となり、演出態様と第一可動体や第二可動体の演出動作とをより関連付けたものにし易くすることができ、演出態様と第一可動体や第二可動体の演出動作によるコラボレーションによって、これまでにないインパクトの高い演出を提供して、遊技者の興趣を高められるものとすることができる。

【 0 0 4 9 】

また、第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットを演出表示手段の左右外側に配置しているので、第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットの長さを、少なくとも演出表示手段の上下方向の長さ分は確保することが可能となり、第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットを演出表示手段の上側又は下側に配置した場合比較して、より長いものとすることができ、第一可動体及び第二可動体の移動量をより大きくして遊技者に目立つようにし、第一可動体及び第二可動体の演出動作を楽しませて、興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 0 5 0 】

また、駆動ベルトにテンションを付与するための移動体を、被誘導部材が誘導案内される誘導部材によって誘導案内するようにしているので、移動体を駆動プーリと従動プーリとが離反する方向に移動させるための機構を別途備える必要がなく、装置全体を簡略化することが可能となって全体的に大型化するのを抑制することができる。つまり、全体的に大型化するのを防止することができるので、相対的に第一可動体や第二可動体を大型化したり、移動量を大きくしたりすることが可能となり、第一可動体や第二可動体の演出動作を認識し易くして、その演出動作により興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 0 5 1 】

また、移動体における誘導部材に誘導案内される案内孔と、従動プーリの軸部を係止保持する係止部との間で付勢手段の付勢力が作用するようにしているので、これにより、移動体にかかる付勢手段の付勢力が誘導部材側と従動プーリ側とに略均等にかかることとなり、移動体が誘導部材に対して傾くのを抑制することができ、誘導部材により移動体を良好に誘導案内させることができると共に、付勢手段の付勢力により駆動ベルトに所定のテンションを良好に付与することができ、これにより、駆動プーリと従動プーリとに巻き掛けられる駆動ベルトの張力を適宜なものとして、駆動ベルトを良好に回転駆動させることができる。

【 0 0 5 2 】

更に、駆動プーリと反対側が開放され従動プーリの軸部を係止するフック状の係止部を備えた移動体としているので、これにより、従動プーリに駆動ベルトを巻き掛けた状態でその軸部を係止部に係止させるだけで、簡単に従動プーリと駆動ベルトとを組立てることができると共に、駆動ベルトに付勢力を作用させることができる。

【 0 0 5 3 】

また、ベースの全長に対してその一部である取付当接面のみを遊技盤と当接させて取付固定するようにしているので、遊技盤やベース等の寸法誤差等があっても、その誤差による影響を可及的に少なくすることが可能となり、遊技盤にベースを取付固定してもそれらに歪等の不具合が発生するのを防止することができ、遊技盤にベースを良好に取付けることができる。そのため、第一可動体や第二可動体を誘導案内する誘導部材の長さを長くすることで誘導部材を支持するベースが長くなっても、遊技盤にベースを良好に取付固定することができるので、誘導部材の長さを長くして第一可動体や第二可動体が大きく移動するようにさせることが可能となり、第一可動体や第二可動体の演出動作を認識し易くして、その演出動作により遊技者の興趣が低下するのを防止することのできるものとすることができる。

【 0 0 5 4 】

更に、ベースの上側に配置された取付当接面で遊技盤に取付固定するようにしている、つまり、ベースの一方の側でのみ取付固定するようにしているので、遊技盤への取付けが

10

20

30

40

50

ベースの上側だけで済み、取付けにかかる手間を簡略化することができると共に、例えば、遊技盤の面に対して左右方向の力が作用して取付当接面の垂直線上からベースの重心が左右の何れかにずれても、その重心にかかる回転モーメントが、ベースの重心を取付当接面の垂直線上に戻すように作用し、ベースが元の位置に復帰するので、取付当接面やビス等にベースにかかる重量以外の力が作用するのを抑制することができ、ベースを良好に取付固定することができると共に、ベースが変形して不具合が発生するのを防止することができる。

【0055】

また、ベースの取付当接面の上部にビスを挿通する取付孔を穿設しており、これにより、ベースの上部のみで取付けているので、ビスの数を可及的に少なくすることができ、取付けにかかる手間を簡略化することができると共に、上述と同様の理由により、ビスや取付当接面にかかる回転モーメントを可及的にかかり難くすることができ、ベースを良好に遊技盤に取付固定することができる。

10

【0056】

また、遊技盤へ取付固定するためのベースの取付当接面が配置された側と同じ上側に、移動手段の駆動プーリが配置されている。つまり、駆動プーリを回転駆動する回転駆動手段が取付当接面に近いベースの上側で支持されるので、振動や駆動反力の発生源である回転駆動手段に可及的に近い位置で取付当接面を介して遊技盤に取付固定することとなり、回転駆動手段からの振動等がベース全体に伝わるのを防止することができると共に、ベースの振動によりベースに支持された誘導部材等の各部材が振動し、他の部材と当接して破損したり、各部材同士の組付けが緩んだりして被誘導部材を良好に誘導案内させることができなくなるのを防止することができる。

20

【0057】

更に、第一可動体や第二可動体を保持する被誘導部材は、二つの摺動部材を介して誘導部材に摺動案内されるので、摺動部分の接触面積を可及的に少なくすることが可能となり、摺動抵抗を低減させることができ、第一可動体や第二可動体と共に被誘導部材を上下方向に良好に誘導案内させることができると共に、第一可動体や第二可動体を大型化することが可能となり、第一可動体や第二可動体をより目立たせてより演出効果の高いものとすることができ、興趣が低下するのを防止することができる。また、第一可動体や第二可動体を大型化しても摺動抵抗が増加するのを抑制することができるので、駆動力の大きい大型の移動手段を用いなくても、第一可動体や第二可動体を保持する被誘導部材を良好に誘導案内させることが可能となり、所望の大きさの第一可動体や第二可動体を遊技機に備えることができ、より興趣の高められるものとすることができる。

30

【0058】

更に、摺動抵抗を低減させることができるので、静止状態の被誘導部材を移動させるために必要な駆動力が少なく済み、容易に被誘導部材を移動開始させることができる。つまり、被誘導部材の移動レスポンスを高くすることができるので、被誘導部材すなわち第一可動体や第二可動体を機敏に移動させることが可能となり、それらの動きによるインパクトをより高めることができ、興趣が低下するのを抑制することができる。

40

【0059】

また、誘導部材の表面に摩擦低減層が形成されており、誘導部材と摺動部材との摺動抵抗を低減させることができるので、摺動部材を介して被誘導部材を良好に誘導案内させることができると共に、摺動部における摩擦が低減されて摩耗し難くすることが可能となり、誘導部材や摺動部材が早期に摩耗して被誘導部材すなわち第一可動体や第二可動体の動作不良を招くのを防止することができる。

【0060】

更に、二つの支持プッシュを介して支持シャフトを被誘導部材に回転可能に保持するようにしているので、これにより、支持シャフトを被誘導部材がかかる部分全体で回動可能に保持する場合と比較して、支持シャフトとの接触部分が可及的に少なくなり、支持シャフトにかかる摩擦抵抗を低減させることが可能となり、支持シャフトを良好に回動させる

50

ことができ、支持シャフトに支持された可動体をスムーズに演出動作させて、興趣の高められるものとすることができる。

【0061】

また、被誘導部材の本体部と固定部材とで二つの摺動部材、及び二つの支持ブッシュを所定の位置に保持するようにしているので、これにより、二つの摺動部材、及び二つの支持ブッシュを本体部と固定部材とで簡単に保持することができ、容易に組み立てられるものとすることができる。

【0062】

更に、第一可動体や第二可動体を駆動ベルトの回転駆動により移動させるようにしており、ネジ部材等の移動手段を用いた場合と比較して、第一可動体や第二可動体の移動速度をより速く移動させることができ、速く移動する第一可動体や第二可動体により遊技者に強く印象付けることができるので、第一可動体や第二可動体に注目させてその演出動作を楽しませることが可能となり、遊技に対する興趣が低下するのを防止することができる。また、同じ移動量をソレノイドやシリンダを用いて移動させる場合と比較してより小型化することが可能となり、遊技機に設置し易いものとすることができると共に、第一可動体や第二可動体の移動量をより大きくしても遊技機に設置することができるので、第一可動体や第二可動体をより大きく移動させることができ、第一可動体や第二可動体の演出動作を認識し易くして、その演出動作により興趣が低下するのを防止することができる。

【0063】

また、被誘導部材を誘導部材により誘導案内するようにしているので、撓み易いベルトを用いて被誘導部材を移動させても、誘導部材により被誘導部材を真直ぐ誘導案内させることができ、移動の際に被誘導部材、つまり、可動体を所望の姿勢で良好に移動させることができる。

【0064】

更に、駆動ベルトと駆動プーリの係合歯と被係合歯とを互いに係合させることで、駆動ベルトが駆動プーリの外周面上を滑り難くすることができ、駆動プーリから回転駆動を確実に駆動ベルトに伝達させることができると共に、駆動プーリの回転速度を速くしても、駆動プーリと駆動ベルトとの間で滑りが発生しないので、より速い速度で駆動ベルトを駆動させることが可能となり、被誘導部材を介して可動体をより速い速度で移動させることができ、よりインパクトの強い動きを第一可動体や第二可動体にさせて、興趣の高められるものとすることができる。

【0065】

また、駆動プーリを上側に、従動プーリを下側に配置しているので、駆動ベルトは、固定された被誘導部材等の重さにより下方、つまり、駆動プーリとは離反する方向に引張られる力が作用し、その力により駆動プーリへの駆動ベルトの巻き掛け力が強くなり、駆動プーリと駆動ベルトとの摩擦力が大きくなって互いに滑り難くすることができ、駆動プーリにより確実に駆動ベルトを駆動させることができると共に、駆動プーリと駆動ベルトとが滑って被誘導部材が降下するのを防止することができ、被誘導部材を介して第一可動体や第二可動体に所望の動きをさせることが可能となり、第一可動体や第二可動体に所定の演出動作をさせて、興趣の高められるものとすることができる。

【0066】

また、従動プーリを駆動プーリと離反する方向に付勢する付勢手段を備えているので、駆動ベルトに所定のテンションを付与することができ、駆動プーリと従動プーリとに巻き掛けられる駆動ベルトの張力を適宜なものとして、駆動ベルトを良好に回転駆動させることができる。

【0067】

更に、駆動プーリと従動プーリを上下方向に配置し誘導部材が遊技盤の面に略沿うように上下方向に配置されている、つまり、第一可動体や第二可動体を、遊技機における遊技盤の面に直角方向（前後方向）の寸法に対して、相対的に大きい寸法とされている上下方向（遊技盤の面に沿った方向）に移動するようにしているので、第一可動体や第二可動体

10

20

30

40

50

の移動量を可及的に大きくすることが可能となり、第一可動体や第二可動体の動きをより認識し易いようにして、その演出動作を楽しませて興味が低下するのを防止することができる。また、第一可動体や第二可動体を上下方向に移動させることができるので、遊技領域を流下する遊技媒体の流れ方向と略同じ上下方向に第一可動体や第二可動体が移動し、遊技媒体と第一可動体や第二可動体との間での遊技者の視線移動がし易く早期に遊技者が疲労するのを抑制することができ興味が低下するのを防止することができる。

【0068】

また、板金からなるベースにより樹脂からなる第一支持部材及び第二支持部材部材を支持すると共に、それら第一支持部材及び第二支持部材部材により誘導部材を支持するようにしているので、大型化すると歪みの大きくなる樹脂部材を可及的に小さくすることが可能となり、誘導部材を大きく（長く）しても誘導部材を所望の位置に正確に支持することができ、誘導部材により被誘導部材を介して第一可動体や第二可動体を良好に誘導案内させることが可能となるので、第一可動体や第二可動体がより大きく動くようにすることができ、第一可動体や第二可動体の演出動作を認識し易くして、その演出動作により興味が低下するのを防止することができる。

10

【0069】

また、第一支持部材と第二支持部材とによりベース、誘導部材、及びガイド部材が一体的に組み付けられ、夫々の剛性の相乗効果によって全体的な強度剛性が高められているので、ベースや誘導部材を長くして被誘導部材の移動量を大きくしても、被誘導部材の移動によって発生する反力や振動等によりベースや誘導部材が変形するのを防止して、被誘導部材を介して第一可動体や第二可動体を良好に移動させることができると共に、第一可動体や第二可動体がより大きく動くようにして第一可動体や第二可動体の演出動作を認識し易くし、その演出動作により興味が低下するのを防止することができる。

20

【0070】

また、第一支持部材及び第二支持部材とベースとを組付ける際に、位置決め突起を位置決め孔に嵌合させるだけで、第一支持部材と第二支持部材とを所定距離離れた所定位置に容易に位置決め支持することができ、誘導部材を所望の位置に容易に配置支持することができる。

【0071】

更に、第一可動体や第二可動体を支持する支持シャフトを回動させる回動手段を備えているので、第一可動体や第二可動体を支持シャフトの軸芯周りに回動させることができ、可動体を誘導部材の延在する上下方向だけでなく、支持シャフトの軸芯周りの方向にも動かすことが可能となり、第一可動体や第二可動体の動きをより複雑な動きとすることができると共に、所定キャラクタの口の開閉動作が、よりリアルな動作となって遊技者への訴求力が強くなり、より演出効果の高い動きをさせることで興味の高められるものとすることができる。

30

【0072】

また、支持シャフトを回動させる回動手段を、被誘導部材の可動体が保持される側とは誘導部材を挟んで反対側に配置したものである。これにより、被誘導部材は、誘導部材を挟んで一方の側に可動体を、他方の側に回動手段を夫々保持することとなり、誘導部材を挟んで両側に夫々所定の荷重がかかることとなるので、被誘導部材にかかる偏荷重が緩和され、被誘導部材と誘導部材との間で偏摩擦や偏摩耗が発生するのを抑制し、偏荷重により誘導部材に誘導案内される被誘導部材が滑らかに誘導されずぎこちない動きとなったり、誘導案内することができなくなったりするのを防止することができる。

40

【0073】

また、回動手段の駆動源としてソレノイドを用いているので、モータを用いた場合と比較して、レスポンスの良い速い動きをさせることが可能となり、可動体によりインパクトの強い演出動作をさせることができ、より興味の高められるものとすることができる。

【0074】

また、回転防止手段により被誘導部材が誘導部材の軸芯周りに回転するのを防止するこ

50

とができるので、特に、振動の多い駆動ベルトにより被誘導部材を移動させても、被誘導部材に保持された第一可動体や第二可動体が誘導部材の軸芯周りに回転、つまり、軸芯周りに振れるのを良好に防止することが可能となり、意図しない振れを抑制して所望の演出動作を確実に行わせることができ、興味が低下するのを防止することができると共に、第一可動体や第二可動体をより大きなものとするのが可能となり、第一可動体や第二可動体をより目立たせて、演出効果をより高めることができる。

【0075】

更に、回転防止手段におけるガイド部材の両端を第一支持部材と第二支持部材とで支持するようにしているので、ガイド部材を支持するための支持部材を別途備える必要がなく、ガイド部材を支持するための構成を簡略化することができ、コストが増加するのを抑制することができる。また、誘導部材と同様にガイド部材の支持精度も向上させることができるので、誘導部材の長大化に伴ってガイド部材を長くしても、誘導部材とガイド部材との関係（例えば、平行度）を良好な状態で維持することが可能となり、被誘導部材の振れを良好に防止することができ、第一可動体や第二可動体をより目立つように大型化して第一可動体や第二可動体の演出動作によって興味が高められるものとするができる。

【0076】

また、第一可動体を移動させる第一駆動ユニットでは回転防止手段のガイド部材を誘導部材を挟んで第一可動体の反対側に配置しており、誘導部材とガイド部材との距離を所定距離離して左右方向の長さを長くすることで回転防止手段による回転防止機能を高めると共に、回転手段と回転防止手段の重量によって第一可動体との重量バランスを良くして、被誘導部材つまり第一可動体を良好に誘導案内させることができる。一方、第二可動体を移動させる第二駆動ユニットでは回転防止手段のガイド部材を誘導部材の前後方向の何れかに配置したものである。左右方向の長さを短くすることができ、左右方向の長さが第一駆動ユニットにおいて長くなった分を第二駆動ユニットで吸収させることができ、第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットを含めた全体の左右方向の長さが長くなるのを抑制して、良好な状態で第一可動体及び第二可動体を遊技機に備えさせることができる。

【0077】

更に、ベースを遊技盤の後面側に取付固定しているので、ベースやベースに支持された第一支持部材、第二支持部材、誘導部材、被誘導部材、及び移動手段等を貫通口にかからないように取付固定することで、それら部材が貫通口を通して遊技者側から見え難くすることができ、それらが見えることで煩雑な印象を与えるのを防止することができ、興味が低下するのを抑制することができる。

【0078】

また、転動演出面を有し枠状の主役物を遊技盤の貫通口を前方から覆うように配置すると共に、遊技盤の後方にベースを介して備えられた第一可動体や第二可動体の主役物の枠状の内側を通して視認可能としているので、これにより、上記の可動体の演出動作だけでなく、主役物の転動演出面（ステージ）上を転動する遊技媒体の動きによっても、遊技者の興味が高められることができると共に、前側に主役物が後側に第一可動体や第二可動体が配置されることとなり、奥行きのある遊技機とすることができ、他の遊技機との差別化を図ることが可能となり、遊技者に注目させて、より興味の高められるものとすることができる。

【0079】

更に、移動手段を誘導部材及び被誘導部材と一体に構成したり、或いは、移動手段を回転防止手段と一体に構成したりしても良く、これにより、上記と同様の作用効果を奏することができると共に、移動手段にかかる構成を簡略化することができる。

【0080】

また、第一可動体及び第二可動体の前側に前側可動体が備えられているから、例えば上下に可動する第一可動体及び第二可動体とは違う動きをさせることにより、より可動体に注目させることができ、第一可動体、第二可動体及び前側可動体による演出動作を楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

【 0 0 8 1 】

また、前側装飾体が略水平な第一配置状態に配置された場合において、その後側に第一可動体または第二可動体の少なくとも何れか一方が配置され、遊技者から視認困難に遮蔽される。これにより、第一可動体（または第二可動体）を視認可能に露出させたり、視認困難に遮蔽させたりする演出を切り替えることが可能となり、遊技者をどっきりさせ、注目を惹きつける演出が可能となる。

【 0 0 8 2 】

また、前側可動体は、略垂直に配置される第二配置状態において、第一駆動ユニットと第一可動体との間、または第二駆動ユニットと第二可動体との間の少なくとも何れか一方を遮蔽可能である。これにより、可動体と駆動ユニットとの間、つまり連結部が遮蔽され得るので、支持シャフト等を隠蔽し、見栄えを向上させることができる。さらに、第一可動体（または／及び第二可動体）とは別の動きをする前側可動体によって当該連結部を遮蔽できるので、夫々の駆動ユニットと第一可動体（または／及び第二可動体）との関係を分かり難くすることが、どうやって第一可動体（または／及び第二可動体）が動かされているのかが分かり難いことから、まるで宙に浮いているかのような意外性のある演出を行えるので、遊技者の注目を惹きつけ、興味を高めることができる。

【 0 0 8 3 】

更に、第一可動体や第二可動体の上下方向の動きとは異なる別途の動き（回転する）を用いて前側可動体を可動させることができるので、遊技領域内における動きのバリエーションを増加させ、より演出効果の高め遊技者の興味の高められるものとすることができる。

【 0 0 8 4 】

また、略長尺状の本体部を持つ前側可動体のうち、第一可動体や第二可動体が片持ち支持されている側と同じ端部側を中心に回転させることにより、略垂直な第二配置状態時において、その他端側に向かって延設されている本体部が不可避免的に可動体と駆動ユニットとの間を遮蔽する。これにより、ごく自然に第一可動体や第二可動体と夫々の駆動ユニットとの連結部分を遮蔽できるので、よりスムーズ且つ巧みに見栄えを向上させることができる。

【 0 0 8 5 】

また、前側可動体の端部側が回転可能に支持されているから、略中央付近側で支持されている場合等に比べ、前側可動体を回転している回転手段を遊技領域の端部側に配置しやすい。これにより、当該回転手段によって第一可動体や第二可動体、または演出表示手段などを遮蔽し難いので、これらが表現する演出態様を見易くでき、興味の低下を防止することができる。

【 0 0 8 6 】

また、左右同じ高さに二つ一組で配置されており、換言すれば、一つの前側可動体を二分割して配置する構成であるため、一つの前側可動体の左右方向の長さを、約半分程度に短くできる。これにより、前側可動体一つあたりのサイズを小さくすることができるので、各駆動ユニットが負担する駆動負荷が軽くなり、より速い速度で前側可動体を駆動することが可能となる。従って、前側可動体によりスピーディでダイナミックな演出を行わせることが可能となり、前側可動体の演出動作を楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

【 0 0 8 7 】

さらに、左右略同じ高さに配置された二つの前側可動体が一組セットで、つまり一体感を連想させる形状や模様形成されていることにより、略垂直な第二配置状態から略水平状態に移行した際に、一つの統一された観念を引き起こさせる一体的な形状へと合体させる演出が可能となる。例えば、右側に配置された前側可動体と左側に配置された前側可動体とに夫々文字を象った装飾部材を取り付け、第一配置状態に移行して二つの前側可動体と同じ高さに配置されると、二つあわせて一つの連続した意味のある単語となるような演出が可能となる。このように、意外性のある演出を行うことができることにより、遊技者

10

20

30

40

50

や、その他の見物者などの注意を惹き、集客力の強い面白味のある遊技機が提供できる。

【0088】

また、前側可動体を主役物の枠状の内側に備えていることにより、当該内側で前側可動体を回動させた場合は、主役物の構成部材と前側可動体とが干渉しないためスムーズに回動させることができ、より好適である。

【0089】

更に、前側可動体の本体部は、ステージ上に供給された遊技媒体に接触しない大きさに形成されている。つまり、装飾可動体として配置されているため、ステージ上で繰り広げられる遊技媒体の転動演出を妨げる虞がない。これにより、前側可動体による動きの演出に加え、ステージ上を転動する遊技媒体の転動演出も十分に提供することができ、遊技者の目を楽しませることができる。また、遊技媒体の動きを妨げないことから、接触によって遊技媒体を所定の流下口以外の場所へと流下させることで遊技者の興趣を低下させる懸念も払拭される。従って、より面白味の持続する魅力的な遊技機を提供できる。

【0090】

また、前側可動体を発光可能な装飾可動体としたことから、前側可動体は、第一配置状態と第二配置状態との間を移動するだけでなく、発光することもできるので、発光によって遊技者に前側可動体に気付かせ注目を惹くことが可能となり、前側可動体の動きを楽しませて、興趣が低下するのを防止することができる。

【0091】

また、本手段の構成によれば、発光手段、及び、複数の透過手段を具備する比較的シンプルな構成の発光装飾表示手段が第一可動体に具備され、発光手段から投光される光の色を変化させるだけで、様々な表示態様を表示することが可能である。さらに、複数の透過手段（第一透過手段及び第二透過手段等）は、互いに同一面上に重複して配置される場合には、当該重複部を、第一色及び第二色を夫々透過可能に構成されているため、対応する表示態様（第一表示態様及び第二表示態様）を明瞭に表示することが可能となる。

【0092】

さらに、発光装飾表示手段には遮光手段が具備されていることにより、演出表示装置が他の光学表示装置（LCDやCRT等）であった場合でも、これら他の演出表示装置から照射される光が透過手段に投光されることを防ぐことができ、所望の表示態様を所望の表示タイミングで明瞭に表示することができる。加えて、色の三原色を発光させる発光手段がLEDから構成されていることにより、比較的他の色の波長成分を低減させることが容易で、表示内容を直感的に伝達させやすい光学表示装置とすることができる。これにより、遊技者がストレスを感じ難く、遊技内容に関する興趣や注目度を低減させないばかりか一層向上させることが可能な遊技機を提供することができる。

【0093】

一方、第一可動体を所定のキャラクタ体にした場合は、遊技内容とキャラクタ体とが関連付けやすく、コミカルで親しみやすい遊技機を提供できる。また、第一透過手段及び第二透過手段が、遮光性の部材を背景とする同一面上に形成されていることにより、これら透過手段の背面にある部材（例えば発光手段等）を見え難くすることができる。

【0094】

さらに、白色の部材を背景とする場合に比べて、光が透過することによって表示される表示態様、つまり発光によって表示される表示態様を効果的に浮かび上がらせることができ、よりインパクトの強い華やかな光学表示装置を提供することができる。

【0095】

また、可動体に光学表示装置を備えることにより、表示領域に囚われずに自由度の高い表示を行うことが可能となる。特に、発光装飾表示手段である光学表示装置は、発光手段、複数の透過手段、及び遮光手段から構成される比較的シンプルな構成を呈し、さらに第一透過手段及び第二透過手段が同一面上にコンパクトに形成されている。従って、可動体に好適に配置可能であるため、バラエティに富む演出を提供でき、広い年代層に受け入れられ易い遊技機が提供できる。

10

20

30

40

50

【 0 0 9 6 】

また、主役物には、後流下口が備えられているから、遊技媒体がステージの後方に流下するため、ステージに遮蔽されて遊技媒体の流下する様子が一瞬見え難くなる。従って、遊技媒体がステージ上から突然消えたような、思わず遊技者がドッキリするような新規な演出を行うことができ、流下する遊技媒体の動きに注目させることができる。また、ステージの前方と後方との両方に遊技媒体を流下させる流下口を備えているので、遊技媒体がステージの前方から流下するのか、それとも後方から流下するのかをわかり難くし、一体どちらに落ちるのか、といった遊技者の期待感や注目度を高められる遊技機が提供できる。

【 0 0 9 7 】

ところで、従来より、遊技領域の役物や入賞口等は左右対称に配置されていた。そして、これに伴い遊技媒体のステージへの受け入れ口（及びステージ上への供給口）も、左右双方に配置されていた。

【 0 0 9 8 】

しかし、上述した構成には、以下の問題点があった。すなわち、ステージ上の一端側より供給された遊技媒体が転動演出を終えてステージ上から流下する前に、次の遊技媒体が他端側より供給されると、一方の遊技媒体と他方の遊技媒体とが衝突し、何れか一方（もしくは両方）がステージ上より弾き落とされる可能性がある。特に、ステージの両端側より、ほぼ同時のタイミングで勢い良く遊技媒体が供給されると、ステージの略中央付近で遊技媒体同士が激しく衝突し、ステージの前方に脱落したり、ステージ後方の配置物にぶつかって傷をつける場合も考え得る。

【 0 0 9 9 】

これに対し、本手段の構成によると、供給口は、ステージの左右何れか一端側に備えられる。このような新規の構成を備えることにより、強いインパクトを与えて遊技者を驚かせ、興趣を惹き付ける効果が期待できると共に、両端側から供給される場合に比べて、複数の遊技媒体同士が激しく衝突する虞が軽減される。

【 0 1 0 0 】

この点を具体的に説明する。仮に、一端側の供給口より連続して供給された遊技媒体同士がステージ上で衝突することがあった場合、例えば先に供給された遊技媒体が、ステージの他端側で折り返した際に、次に一端側より供給された遊技媒体との間で衝突を起すことがあったとしても、先に供給された遊技媒体は、ステージ上を転動するうちに運動エネルギーの一部がステージとの摩擦により減衰され得るので、ステージの両端側よりほぼ同時のタイミングで勢い良く遊技媒体が供給された場合に比べ、遊技媒体の勢いが削がれており、比較的ゆっくりと衝突する。つまり、先に供給された遊技媒体の転動速度が遅くなることにより、二つの遊技媒体の相対速度が減少するので、衝突に際して発生するエネルギー量が小さくなる。従って、ステージ上より脱落しにくく、隔壁板などに衝突する虞が軽減するので、より遊技者の興趣を長く惹きつけ遊技を楽しませることが可能となる。

【 0 1 0 1 】

さらに、本手段の構成によると、後流下口は、隔壁板に穿設された開口部を有して構成されているから、後流下口の位置を遊技者の視線に対して対向する位置に設けられる。従って、遊技者が流下位置を認識しやすく、注目を集めやすいため好適である。具体的には、ステージの下側に向けて（下側に窪んで）穿設された穴やステージの後側に設けられた空隙等に誘導される場合と比較して、ステージ上から消失する瞬間の遊技媒体の流下経路を視認可能に構成できる。従って、遊技媒体が遊技領域に復帰する以前の遊技媒体の拳動、つまりステージ上から流下する瞬間の遊技媒体の拳動に対しても遊技者の興味を惹く事が可能となるため、より多様な演出状態を提供することができ、遊技者の興趣の低下を効果的に防止することができる。

【 0 1 0 2 】

また、開口部からステージの後方に突出して形成され、受部へと遊技媒体を誘導するドーム状の誘導凹部をさらに有して構成されている。これにより、遊技媒体は、勢い良く流

10

20

30

40

50

下した場合であっても、ステージ下方且つ後方の受部へと確実に誘導され、脱落することなく受部へと受取られる。従って、遊技者の目を十分に楽しませることができ、興趣の低下を防止できる。

【0103】

なお、誘導凹部を隔壁板から一体的に、つまり隔壁板と同じ透明な部材等で構成した場合は、誘導凹部のさらに後方に位置する光源を効果的に取り入れることができ、遊技媒体をライトアップしたような演出効果を得ることができる。例えば、隔壁板の後方に液晶表示装置のような光学表示装置を配置した場合は、これらの装置が発する光を誘導凹部の内部に取り入れ、該内部を通過する遊技媒体を光源で照らし出すことができる。これにより、流出口より流出される遊技媒体を明るく照らし出すことができ、遊技媒体の動きをより華やかで人目を惹くものとするのが可能となる。

10

【0104】

また、主役物には、エネルギー付与手段が備えられているから遊技媒体に運動エネルギーが付与できることにより、ステージ上で遊技媒体が詰まってしまう虞が回避できる。従って、遊技を中断させたり、転動演出の後に続く各種の遊技状態（例えば始動口に入賞する等）を促進させ、よりエキサイティングな遊技状態を提供できる。これにより、遊技者の興趣の低下を防止できるため、より好適である。

【0105】

ところで、ステージの前後方向の幅（以下、単に「ステージの幅」と称す）が、仮に遊技媒体一つ分の幅と略等しかったり、もしくは狭かたりすると、ステージ上に供給された遊技媒体の軌道が僅かに逸れただけで、あっという間にステージ上より落下してしまう。そこで、ステージの幅は、遊技媒体一つ分よりも比較的余裕を持った広さに形成されている場合が一般的である。このように形成することにより、遊技媒体の軌道が多少ぶれた場合であっても、ステージ上から脱落することなく左右に繰り返し転動する演出を行わせることができる。

20

【0106】

しかし、あまりにステージの幅を広くすると、ステージの後方に他の配置物（例えば、演出表示装置や装飾体等）の配置やサイズに制限を受けることになり、好適ではない。また、ステージの前後方向に遊技媒体の軌道がぶれた場合は、例えば隔壁板等を設けることによって遊技媒体が所定の位置以外の場所から脱落することはある程度防止できるものの、軌道がぶれることによって転動エネルギーが浪費され、さらに、隔壁板等に衝突して運動エネルギーが消費されてしまうことにより、遊技媒体の転動速度が急激に遅くなる場合が考えられる。このような場合は、ステージ上で遊技媒体が転動を終了して滞留する場合も発生し、遊技者の目を楽しませることができなくなるので好適ではなかった。

30

【0107】

これに対し、本手段の構成によれば、エネルギー付与手段には遊技媒体が略一つ分通過可能な幅で形成されている溝が備えられているから、遊技媒体の軌道が、ステージの前後方向へとぶれることなく略中央付近へと修正されるので、転動エネルギーが無駄に消費されることなく、効率良く左右方向への転動演出に生かされる。従って、遊技媒体がステージ上で滞留する虞がなく、良好にステージ上での転動演出を続行させることができる。また、遊技媒体がステージの略中央付近へと軌道修正されることから、ステージの前側や後側から脱落する虞が軽減され、より良好に転動演出を行わせることができる。

40

【0108】

また、軌道を修正できることから、遊技媒体の軌道ぶれを抑えることができ、これによりステージの幅を可及的に狭くできる。従って、主役物の後方に配置する配置物、例えば本手段における第一可動体や第二可動体などの配置やサイズに自由度が広がり、より多様な演出装置や装飾部材を備えた遊技機を提供できるので好適である。

【0109】

さらに、延長転動面の終端部に滞留防止手段が備えられているので、延長転動面に進入した遊技媒体は、譬え転動エネルギーがゼロになった場合でも、ステージの中央側へと押

50

し戻され、滞留することなく転動演出を続行する。これにより、遊技者の目を十分に楽しませることができる。

【0110】

一方、遊技媒体に所望の転動演出を行わせようとする場合において、上記までとは反対に遊技媒体の供給スピードがあまりにも速いと、一端側から供給された遊技媒体が勢い良く他端側へと転動していき、そのまま他端側の突当りに衝突してステージ外へと跳ねて落ちてしまう場合がある。また、ステージ上での軌道が逸れ、所定の位置以外の場所から遊技領域へと脱落する懸念も高まるし、ステージ後側の案内部材に勢い良く衝突して、その衝撃で破損させたり、跳ね飛んだ先で隔壁板や釘や始動口などの各種の配置物を壊してしまう懸念もあった。

10

【0111】

これに対し、本手段の構成によればエネルギー減衰手段が備えられているから、遊技媒体の余剰な転動エネルギーを減衰することができるため、遊技媒体が予期せぬ動きをするのを抑制でき、遊技媒体が当接した部材が破損するのを防止できる。なお、ここでいう「予期せぬ動き」としては、例えばステージ表面に多数の突起物を形成した従来の遊技機において、遊技媒体が当該突起物にぶつかって弾んでしまうことでステージ上から脱落し、前方に設置されたガラス板や、後方に配置されたもの（例えば、演出表示手段）に衝突して壊してしまう場合などを示す。つまり、本手段の構成によれば、遊技媒体の余剰な転動エネルギーを減衰することができるため、前述のような予期せぬ動きを抑制することができる。各種の部材（前述の例によれば、前方に設置されたガラス板や後方に配置された演出表示手段等）が破損するのを防止することができる。

20

【0112】

また、遊技媒体がステージ上で良好に転動できることにより、例えば、入賞始動口やアタッカー等の配置物の上方に本手段の主役物を備えた場合には、遊技媒体が転動する度に特典（抽選の開始や大当たり状態の誘発、入賞による払い戻し等）に対する期待感を喚起させ、ドキドキハラハラさせながら転動状態を楽しませることができる。従って、この場合には、よりエキサイティングな遊技機を提供することが可能となる。

【0113】

また、エネルギー減衰手段として、延長転動面の前面側に壁状の衝突部材が設けられているから、延長転動面の前面側へと軌道が逸れた遊技媒体を延長転動面の前後略中央側へと押し戻すことができ、良好に転動演出を続行させることが可能となる。

30

【0114】

更に、本手段の構成によれば、ステージの後側には隔壁板が備えられているから、ステージの後方側の配置物（例えば第一可動体や第二可動体等）が遊技媒体に衝突して、その衝撃で遊技媒体がステージの前方側に弾かれて所定の位置以外の場所から脱落する虞が軽減する。つまり、遊技媒体の軌道がステージの後側へと逸れた場合であっても、隔壁板が備えられていることにより、当該隔壁板に沿って滑らかに転動演出を続けることができるので、遊技者の興趣を低下させることなく楽しませることができる。

【0115】

また、隔壁板は、演出画像が遊技者に視認可能に構成されているから、遊技者に対して、演出画像をストレス無く提供することができる。つまり、演出表示手段の前方に配置物を配置することで、遊技者から見て演出画像が視認困難に遮蔽されてしまった場合は、遊技者によっては、演出画像が見たいのに見えない（若しくは、見え難い）ことにより、イライラを感じる場合がある。これに対し、本手段の構成によれば、演出表示手段の前方に配置された隔壁板は、透明な部材を用いる等して演出画像を視認容易な状態で構成しているため、遊技者に対して、ストレスの無い（少ない）状態で演出画像を提供することができる。これにより、より長時間リラックスして遊技を楽しむことのできる遊技機を提供できる。

40

【0116】

隔壁板から一体的に形成された凸条のガイド部材が設けられており、さらに、当該ガイ

50

ド部材は、後流下口に位置する部位が切り欠かれて構成されている。

【0117】

ところで、遊技機を設置するホールによっては、遊技機の上側を微妙に後方に傾けて設置したり、または（遊技機全体ではなく）遊技盤やステージが予め水平方向に対して後方側へと傾斜して取り付けられている場合がある。このような場合は、ステージ上へと供給された遊技媒体は、重力に従ってステージの後側に転がりやすくなる。

【0118】

これに対し、本手段の構成によれば、ステージの後側にガイド部材が設けられているから、ステージの後側に転がった遊技媒体がガイド部材によって堰きとめられ、ステージ後方へと脱落する虞が無い。また、ガイド部材は、後流下口に位置する部位が切り欠かれているから、当該切り欠かれた部位を遊技媒体が通過可能である。つまり、所定の位置に当該切り欠かれた部位を形成することにより、所望の部位より遊技媒体をステージの後ろ側へと流下させることが可能となる。

【0119】

一方、隔壁板とガイド部材とに開口部（後流下口）が設けられていると、ステージの後方へと軌道の逸れた遊技媒体が、繰り返し左右に転動することなくいきなり該開口部内に向けて突入する場合がある。もしくは、ガイド部材に沿って転動した遊技媒体が、ガイド部材と開口部との境界部、つまりガイド部材のエッジ部に衝突して、その勢いでステージの前方へと弾かれて脱落する場合が考え得る。

【0120】

これに対し、本手段の構成によれば、ガイド部材は、後流下口に位置する部位、つまり切り欠かれて形成されているエッジ部が、左右方向に斜めに傾斜して（面取りして）形成されている。これにより、左右方向に斜めに傾斜せずに、例えば上方から見て略直角形状に形成されている場合に比べて、遊技媒体をステージの前側ではなく、左右方向へと案内できる。詳細には、前述で例示したように、エッジ部が略直角形状をしていると、ガイド部材に沿って転動してきた遊技媒体が、角部にぶつかってステージの前側へと跳ねてしまう虞がある。これに対し、本手段の構成のように、エッジ部が左右方向に斜めに形成されていると、遊技媒体が当該左右に傾斜した面に案内されてステージの左右方向へと転動するよう誘導され得る。従って、ステージの前側へと脱落したり、逆に開口部内へと突然突入することなく、良好にステージの左右方向に転動を続行することが可能となり、より長く遊技者の目を楽しませることができる。

【0121】

なお、ガイド部材のエッジ部を左右方向に斜めに傾斜させる構成としては、本手段の構成のように、ガイド部材を隔壁板（つまりステージの後端側）よりステージの前側に突出して形成させ、そのエッジ部を斜めに面取りする構成もあるが、その他にも、隔壁板を分厚い素材で構成し、そのエッジ部を斜めに傾斜させて構成したり、後流下口をステージの後側に所定距離突出させて形成し、その所定距離分だけ角の部分の左右方向の傾斜を設ける構成も考え得る。要するに、左右方向斜めに傾斜する分だけの距離（厚み）が設けられる構成であれば良い。但し、本手段の構成のように、ガイド部材を凸条部材として形成すると、遊技媒体の軌道がステージの後側へと逸れて後方の配置物（隔壁板またはガイド部材）に衝突した際に、その衝撃で跳ね返ってステージの前側等から脱落するまでの時間を長くすることができ、結果としてより長くステージ上での転動演出を続行させることができる。

【0122】

より具体的に説明すると、例えば、隔壁板を分厚い素材で構成したり、後流下口をステージの後側に所定距離突出させて形成した場合は、ステージの後端側には、遊技媒体が乗り上げることができないような立壁部が立設されることとなる。これに対し、本手段の構成によれば、ガイド部材は凸条の部材を有しているので、その凸部の高さによっては、ただ立壁部に跳ね返される場合とは違って、ステージ上を転動する遊技媒体が凸条の上面に乗り上げ、さらにその後に隔壁板に衝突し、凸条から落ちるようにしてステージ上へと戻

される場合が考え得る。つまり、ステージの後側に隔壁板のみの立壁部を設けた場合に比べて、凸条を乗り越える時間分、隔壁板に衝突するまでの時間を長くすることができ、その分だけ遊技媒体に長い距離を転動させることができる。従って、ステージ上で転動する時間を長くすることができ、より好適にステージ上での転動演出を続行させることができる。

【0123】

ところで、従来の遊技機では、役物は、ステージ上に遊技媒体を供給させて転動演出を行わせるだけであったが、さらに、遊技媒体をステージ上に供給することなく、遊技領域外の領域へと排出させる排出口へと案内する排出口案内手段を備えるようにすることもできる。これにより、排出口案内手段によって案内された遊技媒体は、ステージ上へと供給されることなく、そのまま排出口へと案内される。つまり、ステージ上で転動演出を行うことが無く、あっという間に遊技領域外へと排出されてしまう。このような状態は、遊技者にとってはつまらなく、損をしているように感じさせ得るものである。

10

【0124】

従って、なるべくなら排出口案内手段へと遊技媒体が受取られないように、ステージや他の遊技領域へと遊技媒体を集中して打ち込ませることができるので、遊技媒体の打ち込み方に変化や工夫を生じさせることができる。これにより、遊技を飽きさせ難いものと感じさせる演出が可能となり、遊技者の集中力と興味を惹きつけ、興味を効果的に高めることができるが、排出口案内手段によって案内された遊技媒体は、遊技領域の上方から下方へと流下して排出口へと案内される。従って、上方から下方へと流下するにつれて重力によって運動エネルギーが付与されるので、だんだんと遊技媒体の勢いが増してきて、遊技領域の下方に備えられた排出口へと到達する頃には、高い運動エネルギーをもつようになり、排出口を構成する部材や、その他排出口近辺にある配置物（釘や入賞口等）に衝突してこれらの部材を破損させる虞がある。そして、これにより遊技を中断させ、遊技者の集中力や興味を低下させる懸念があった。

20

【0125】

これに対し、手段1の構成によれば、主役物には、減速手段が備えられているから、遊技媒体が流下するに伴って付与されていく運動エネルギーは、減速手段によって減衰される。従って、遊技媒体の流下速度が減速され、排出口近辺にある配置物（釘や入賞口等）に衝突してこれらの部材を破損させ難くなるので、遊技を中断することがなく、遊技者の興趣の低下を防止することができる。また、排出口近辺にある配置物に衝突することなく排出口へとスムーズに排出されやすくなるので、遊技者にとっては、より排出口案内手段に遊技媒体が受取られたくないようにスリルを感じさせ、遊技に対する集中力を高めさせることが可能となり、より面白味のある主役物を備える遊技機を提供できる。

30

【0126】

また、遊技媒体を、主役物の外周面に形成された案内面に沿って転動させ、遊技領域の上方から下方へと流下させて排出口へと案内することができる。従って、主役物の前方を横切ることなく、且つ遊技盤の前方側（遊技者に視認可能な位置）に排出口案内手段を配置することができるため、遊技媒体が排出されるか否かでドキドキハラハラさせることができると共に、見えやすくすることで遊技者の目を疲弊させ難くでき、興味を高められるものとすることができる。

40

【0127】

これにより、案内手段によって案内された遊技媒体が、勢い良く遊技領域へと放出された際に、より流下しやすい場所に排出口案内手段を配置しているので、遊技媒体が排出口へと案内されやすくなる。従って、遊技者は、注意深く力加減して遊技媒体を打ち込み、排出口へと遊技媒体が案内されないように集中して打ち込む必要が生じるため、より飽きさせない、スリリングな遊技機を提供できる。

【0128】

さらに、排出口案内手段は、水平断面が略コの字形、つまり一部が開放された形状をしているので、遊技媒体が排出口案内手段内で詰まったり、ゴミが付着して流れが悪くなっ

50

た場合でも、遊技盤の前面から比較的簡易にメンテナンスすることができる。これにより、遊技を中断させる虞が低いので、より遊技者の集中力を低下させることなく快適に遊技を続行させることが可能な遊技機が提供できる。

【0129】

また、案内面と内周面とが略並行に配置されていることにより、案内面と内周面との協働で挟み込むようにして遊技媒体を案内することが可能となる。つまり、遊技領域の上方から下方までくまなくスムーズに遊技媒体を案内することができるので、排出口案内手段を配置することによる緊張感を効果的に高めることができ、より遊技者の興趣を惹きつける事が可能となる。

【0130】

また、複数の突起は、互いに対向する位置に交互に夫々形成されているから、例えば右側の内壁に形成された突起は、譬え遊技媒体が左側の内壁に沿って流下した場合でも、該左側の内壁の突起に衝突させることができ、遊技媒体を右側の内壁側へと押しやることができる。このように、対向して配置された複数の突起に次々と衝突されられることにより、遊技媒体が適度に減速されて排出口へと案内される。また、排出口案内手段の配置方法が、湾曲している場合に限らずストレートであっても減速できることにより、排出口案内手段の配置方法に自由度があり、主役物の形状や排出口案内手段の配置方法に制限を受けないためより好適である。

【0131】

更に、本手段の構成によれば、発光手段、及び、複数の透過手段を具備する比較的シンプルな構成の発光装飾表示手段が第一可動体に具備され、発光手段から投光される光の色を変化させるだけで、様々な表示態様を表示することが可能である。さらに、複数の透過手段（第一透過手段及び第二透過手段等）は、互いに同一面上に重複して配置される場合には、当該重複部を、第一色及び第二色を夫々透過可能に構成されているため、対応する表示態様（第一表示態様及び第二表示態様）を明瞭に表示することが可能となる。

【0132】

さらに、発光装飾表示手段には遮光手段が具備されていることにより、演出表示装置が他の光学表示装置（LCDやCRT等）であった場合でも、これら他の演出表示装置から照射される光が透過手段に投光されることを防ぐことができ、所望の表示態様を所望の表示タイミングで明瞭に表示することができる。加えて、色の三原色を発光させる発光手段がLEDから構成されていることにより、比較的他の色の波長成分を低減させることが容易で、表示内容を直感的に伝達させやすい光学表示装置とすることができる。これにより、遊技者がストレスを感じ難く、遊技内容に関する興趣や注目度を低減させないばかりが一層向上させることが可能な遊技機を提供することができる。

【0133】

一方、第一可動体を所定のキャラクタ体にした場合は、遊技内容とキャラクタ体とが関連付けやすく、コミカルで親しみやすい遊技機を提供できる。また、第一透過手段及び第二透過手段が、遮光性の部材を背景とする同一面上に形成されていることにより、これら透過手段の背面にある部材（例えば発光手段等）を見え難くすることができる。

【0134】

さらに、白色の部材を背景とする場合に比べて、光が透過することによって表示される表示態様、つまり発光によって表示される表示態様を効果的に浮かび上がらせることができ、よりインパクトの強い華やかな光学表示装置を提供することができる。

【0135】

また、可動体に光学表示装置を備えることにより、表示領域に囚われずに自由度の高い表示を行うことが可能となる。特に、発光装飾表示手段である光学表示装置は、発光手段、複数の透過手段、及び遮光手段から構成される比較的シンプルな構成を呈し、さらに第一透過手段及び第二透過手段が同一面上にコンパクトに形成されている。従って、可動体に好適に配置可能であるため、バラエティに富む演出を提供でき、広い年代層に受け入れられ易い遊技機が提供できる。

10

20

30

40

50

【発明の効果】

【0136】

このように、本発明では、遊技を充分に楽しませることができ、遊技者の興趣が低下するのを防止することのできる遊技機が提供できる。

【図面の簡単な説明】

【0137】

【図1】パチンコ機の前側全体を示す正面図である。

【図2】パチンコ機の外枠の一侧に本体枠が開かれその本体枠の一侧に前面枠が開かれた状態を示す斜視図である。

【図3】パチンコ機の本体枠と遊技盤とを分離して斜め右上前方から示す斜視図である。

10

【図4】パチンコ機の後側全体を示す背面図である。

【図5】パチンコ機の後側全体を右上後方から示す斜視図である。

【図6】図5に示すパチンコ機の斜視図から後カバー体及び各種制御基板等を取り外した状態を示す斜視図である。

【図7】パチンコ機の本体枠に各種部材が組み付けられた状態を斜め右上後方から示す斜視図である。

【図8】本体枠単体を斜め右上後方から示す斜視図である。

【図9】遊技盤の背面斜視図である。

【図10】遊技領域を有した遊技盤の構成を示す拡大正面図である。

【図11】遊技盤を右斜め前方から示す斜視図である。

20

【図12】遊技盤を斜め後方から示す斜視図である。

【図13】図12における主制御基板ボックス、副制御基板ボックス等を外した状態で示す斜視図である。

【図14】遊技盤を分解して斜め前方から示す斜視図である。

【図15】主役物の正面図である。

【図16】主役物を斜め前方から示す斜視図である。

【図17】主役物を斜め後方から示す斜視図である。

【図18】主役物を分解して斜め前方から示す分解斜視図である。

【図19】主役物のステージ付近を拡大して示す拡大正面図である。

【図20】左右の可動装飾体及び装飾体駆動ユニットを示す斜視図である。

30

【図21】(A)は左可動装飾体を斜め後方から示す斜視図であり、(B)は左可動装飾体を分解して斜め前方から示す分解斜視図である。

【図22】(A)は右可動装飾体を斜め後方から示す斜視図であり、(B)は右可動装飾体を分解して斜め前方から示す分解斜視図である。

【図23】(A)は左可動装飾体駆動ユニットの分解斜視図であり、(B)は右可動装飾体駆動ユニットの分解斜視図である。

【図24】左右の可動装飾体の動きを示す説明図である。

【図25】主入賞口ユニット、遊技領域内装飾体、及び排出誘導部材を斜め前方から示す斜視図である。

【図26】(A)は主入賞口ユニットにおける始動口の要部を拡大して示す斜視図であり、(B)はその側面図である。

40

【図27】(A)は主入賞口ユニットにおけるアタッカ装置の要部を示す斜視図であり、(B)はその側面図である。

【図28】主入賞口ユニットを斜め後方下側から示す斜視図である。

【図29】遊技領域内装飾体を斜め後方から示す背面斜視図である。

【図30】主入賞口ユニット、遊技領域内装飾体、及び排出誘導部材における遊技球の流路を示す断面図である。

【図31】後装飾体を斜め前方から示す斜視図である。

【図32】後装飾体を分解して斜め前方から示す分解斜視図である。

【図33】後装飾体を分解して斜め後方から示す分解斜視図である。

50

【図 3 4】後装飾体における第一装飾可動体ユニットを斜め前方から示す斜視図である。

【図 3 5】第一装飾可動体ユニットを主要部毎に分解して斜め前方から示す分解斜視図である。

【図 3 6】(A) は第一装飾可動体ユニットにおける第一装飾可動体を分解して斜め前方から示す分解斜視図であり、(B) は第一装飾可動体におけるレンズ部を示す拡大正面図である。

【図 3 7】第一装飾可動体ユニットにおける第一装飾可動体駆動ユニットを斜め前方から示す斜視図である。

【図 3 8】第一装飾可動体駆動ユニットを斜め後方から示す斜視図である。

【図 3 9】第一装飾可動体駆動ユニットを主要部毎に分解して示す分解斜視図である。

10

【図 4 0】図 3 9 よりも更に分解して示す分解斜視図である。

【図 4 1】(A) は第一装飾可動体駆動ユニットにおける第一昇降部材を示す斜視図であり、(B) は第一昇降部材の分解斜視図である。

【図 4 2】第一昇降部材における第一装飾可動体ソレノイドと回動伝達部材との関係を示す説明図である。

【図 4 3】後装飾体における第二装飾可動体ユニットを斜め前方から示す斜視図である。

【図 4 4】第二装飾可動体ユニットを主要部毎に分解して斜め前方から示す分解斜視図である。

【図 4 5】第二装飾可動体ユニットにおける第二装飾可動体を分解して示す分解斜視図である。

20

【図 4 6】第二装飾可動体ユニットにおける第二装飾可動体駆動ユニットを斜め前方から示す斜視図である。

【図 4 7】第二装飾可動体駆動ユニットを主要部毎に分解して示す分解斜視図である。

【図 4 8】図 4 7 よりも更に分解して示す分解斜視図である。

【図 4 9】(A) は第二装飾可動体駆動ユニットにおける第二昇降部材を示す斜視図であり、(B) は第二昇降部材の分解斜視図である。

【図 5 0】第二昇降部材における第二装飾可動体ソレノイドとリンク機構との関係を示す説明図である。

【図 5 1】装飾可動体ユニットカバーを斜め前方から示す斜視図である。

【図 5 2】装飾可動体ユニットカバーの要部を示す説明図である。

30

【図 5 3】制御構成を概略的に示すブロック図である。

【図 5 4】主役物における可動装飾体が略垂直方向に回動した状態を示す遊技領域の正面図である。

【図 5 5】図 5 4 の状態から更に後装飾体の第一装飾可動体及び第二装飾可動体を可動させた状態を示す遊技領域の正面図である。

【図 5 6】後装飾体の第一装飾可動体及び第二装飾可動体を可動させた状態を示す遊技領域の正面図である。

【図 5 7】第一装飾可動体及び第二装飾可動体の可動範囲を示す説明図である。

【図 5 8】遊技盤を左斜め前方から示す斜視図である。

【図 5 9】第一装飾可動体におけるレンズ部の別の形態を示す拡大正面図である。

40

【図 6 0】主役物における可動装飾体が略水平方向に回動した後装飾体の第一装飾可動体及び第二装飾可動体を可動させた状態の別の状態を示す正面図である。

【発明を実施するための最良の形態】

【0138】

以下、本発明の一実施形態であるパチンコ遊技機（以下、単に「パチンコ機」という）を、図面に基づいて詳細に説明する。

[パチンコ機の全体構成について] 図 1 及び図 2 に基づき説明する。

図 1 はパチンコ機の前側全体を示す正面図であり、図 2 はパチンコ機の外枠の一側に本体枠が開かれその本体枠の一側に前面枠が開かれた状態を示す斜視図である。なお、図 1 及び図 2 においては遊技領域における装飾部材を省略して示している。

50

パチンコ機 1 は、外枠 2、本体枠 3、前面枠 4、及び遊技盤 5 等を備えて構成されている。外枠 2 は、上下左右の木製の枠材によって縦長四角形の枠状に形成され、同外枠 2 の前側下部には、本体枠 3 の下面を受ける下受板 6 を有している。外枠 2 の前面の片側には、ヒンジ機構 7 によって本体枠 3 が前方に開閉可能に装着されている。なお、外枠 2 は、樹脂やアルミニウム等の軽金属によって形成されていてもよい。

【0139】

[本体枠の構成について] 図 1 及び図 3 に基づき説明する。

図 3 はパチンコ機の本体枠と遊技盤とを分離して斜め右上前方から示す斜視図である。

本体枠 3 は、前枠体 11、遊技盤装着枠 12 及び機構装着体 13 を合成樹脂材によって一体成形することで構成されている。本体枠 3 の前枠体 11 は、外枠 2 (図 2 参照) の前側の下受板 6 を除く外郭形状に対応する大きさの矩形枠状に形成されている。そして、前枠体 11 の片側の上下部には、本体枠側ヒンジ具 15 が固定されており、外枠 2 の片側の上下部に固定された外枠側ヒンジ具 14 に対してヒンジピン及びヒンジ孔によって開閉回動可能に装着されている。すなわち、外枠側ヒンジ具 14、本体枠側ヒンジ具 15、ヒンジピン及びヒンジ孔によってヒンジ機構 7 が構成されている。

【0140】

前枠体 11 の前側において、遊技盤装着枠 12 よりも下方に位置する前枠体 11 の前下部左側領域にはスピーカボックス部 16 が一体に形成され、そのスピーカボックス部 16 の前側開口部には、同開口部を塞ぐようにしてスピーカ装着板 17 が装着されている。そして、スピーカ装着板 17 にはスピーカ 18 が装着されている。また、前枠体 11 前面の下部領域内において、その上半部分には発射レール 19 が傾斜状に装着されている。また、前枠体 11 前面の下部領域内の下半部分には下部前面板 30 が装着されている。そして、下部前面板 30 の前面の略中央部には、遊技球を貯留可能な下皿 31 が設けられ、右側寄りには操作ハンドル 32 が設けられ、左側寄りには灰皿 33 が設けられている。なお、下皿 31 には、遊技球を下方に排出するための球排出レバー 34 が配設されている。

【0141】

[前面枠の構成について] 図 1 及び図 2 に基づき説明する。

前枠体 11 の前面の片側には、その前枠体 11 の上端から下部前面板 30 の上縁にわたる部分を覆うようにして、前面枠 4 がヒンジ機構 36 によって前方に開閉可能に装着されている。また、前面枠 4 の略中央部には、遊技盤 5 の遊技領域 37 を前方から透視可能な略円形の開口窓 38 が形成されている。また、前面枠 4 の後側には開口窓 38 よりも大きな矩形枠状をなす窓枠 39 が設けられ、その窓枠 39 にはガラス板、透明樹脂板等の透明板 50 が装着されている。また、前面枠 4 の前面の略全体は、ランプ等が内設された前面装飾部材によって装飾され、同前面枠 4 の前面の下部には上皿 51 が形成されている。詳しくは、開口窓 38 の周囲において、左右両側部にサイド装飾装置 52 が、下部に上皿 51 が、上部に音響電飾装置 53 が装着されている。サイド装飾装置 52 は、ランプ基板が内部に配置され且つ合成樹脂材によって形成されたサイド装飾体 54 を主体として構成されている。サイド装飾体 54 には、横方向に長いスリット状の開口孔が上下方向に複数配列されており、開口孔には、ランプ基板に配置された光源に対応するレンズ 55 が組み込まれている。音響電飾装置 53 は、透明カバー体 56、スピーカ 57、スピーカカバー 58、及びリフレクタ体 (図示しない) 等を備え、これらの構成部材が相互に組み付けられてユニット化されている。また、上皿 51 の左側には、遊技者が操作可能なボタン 59 が設けられている。

【0142】

[施錠装置の構成について] 図 2 及び図 3 に基づき説明する。

前枠体 11 のヒンジ機構 36 に対して反対側となる自由端側の後側には、外枠 2 に対し本体枠 3 を施錠する機能と、本体枠 3 に対し前面枠 4 を施錠する機能とを兼ね備えた施錠装置 70 が装着されている。すなわち、この実施形態において、施錠装置 70 は、外枠 2 に設けられた閉止具 71 に係脱可能に係合して本体枠 3 を閉じ状態に施錠する上下複数の本体枠施錠フック 72 と、前面枠 4 の自由端側の後側に設けられた閉止具 73 に係脱可能

に係合して前面枠４を閉じ状態に施錠する上下複数の扉施錠フック７４と、パチンコ機１の前方から鍵が挿入されて解錠操作可能に、前枠体１１及び下部前面板３０を貫通して露出されたシリンダー錠７５とを備えている。そして、シリンダー錠７５の鍵穴に鍵が挿入されて一方向に回動操作されることで本体枠施錠フック７２と外枠２の閉止具７１との係合が外れて本体枠３が解錠され、これとは逆方向に回動操作されることで、扉施錠フック７４と前面枠４の閉止具７３との係合が外れて前面枠４が解錠されるようになっている。

【０１４３】

[遊技盤装着枠の構成について] 図２乃至図４に基づき説明する。

図４はパチンコ機の後側全体を示す背面図である。

図２及び図３に示すように、本体枠３の遊技盤装着枠１２は、前枠体１１の後側に設けられかつ遊技盤５が前方から着脱交換可能に装着されるようになっている。遊技盤５は、遊技盤装着枠１２の前方から嵌込まれる大きさの略四角板状に形成されている（図９参照）。遊技盤５の盤面（前面）には、外レール７６と内レール７７とを備えた案内レール７８が設けられ、その案内レール７８の内側に遊技領域３７が区画形成されている。なお、発射レール１９と案内レール７８との間には、所定の隙間が設けられており、発射された遊技球が案内レール７８を逆戻りした場合には、その遊技球は、その隙間から排出され下皿３１に案内されるように構成されている。また、遊技盤５の前面には、その案内レール７８の外側領域において、合成樹脂製の前構成部材７９が装着されている。

【０１４４】

なお、本例の案内レール７８が、本発明の「案内手段」に相当する。

【０１４５】

一方、図４に示すように、遊技盤５の後側下部には、その中央部から下部にわたる部分において、各種入賞装置に流入した遊技球を受けかつその遊技球を所定位置まで導く集合樋としての機能とボックス装着部としての機能を兼ね備えたボックス装着台９１が設けられている。このボックス装着台９１には、音声制御基板、ランプ制御基板等の副制御基板９２が収納された副制御基板ボックス９３が装着され、その副制御基板ボックス９３の後側に重ね合わされた状態で、主制御基板９４が収納された主制御基板ボックス９５が装着されている。さらに、遊技盤５の後側に対しボックス装着台９１、副制御基板ボックス９３及び主制御基板ボックス９５がそれぞれ装着された状態において、本体枠３の遊技盤装着枠１２の前方から遊技盤５を嵌込んで装着できるように、遊技盤５の外郭より外側にはみ出すことなくボックス装着台９１、副制御基板ボックス９３及び主制御基板ボックス９５が配置されている。

【０１４６】

[本体枠の機構装着体、球タンク及びタンクレールの構成について] 図７及び図８に基づき説明する。

図７はパチンコ機の本体枠に各種部材が組み付けられた状態を斜め右上後方から示す斜視図であり、図８は本体枠単体を斜め右上後方から示す斜視図である。

本体枠３の機構装着体１３には、タンク装着部１１１、レール装着部１１２、及び払出装装置装着部１１３等がそれぞれ形成され、タンク装着部１１１には球タンク１１４が装着されている。球タンク１１４は、透明な合成樹脂材よりなり、島設備から供給される多数の遊技球が貯留可能な上方に開口する箱形状に形成されている。そして、球タンク１１４の遊技球の貯留状態が球タンク１１４の後側壁を透して視認可能となっている。また、球タンク１１４の底板部１１５の後側隅部には遊技球を放出する放出口１１６が形成されるとともに、底板部１１５は放出口１１６に向けて下傾する傾斜面に形成されている。

【０１４７】

本体枠３の機構装着体１３には、そのタンク装着部１１１に下方に接近してレール装着部１１２が一体に形成され、そのレール装着部１１２にレール構成部材１１７が装着されることでタンクレール１１８が構成されるようになっている。すなわち、この実施形態において、レール装着部１１１は、本体枠３の上部横方向部分が所定深さ凹まされた状態で形成されており、その凹部の奥側壁をタンクレール１１８の前壁部１１９とし、その凹部

の下縁部に沿って一端（図 8 に向かって左端）から他端（図 8 に向かって右端）に向けて下傾する傾斜状のレール柵 1 2 0 が形成されている。そして、レール柵 1 2 0 の横方向に延びる上向き面をレール受け部 1 2 1 としている。

【 0 1 4 8 】

レール装着部 1 1 2 に装着されてタンクレール 1 1 8 を構成するレール構成部材 1 1 7 は、レール装着部 1 1 2 の前壁部 1 1 9 との間にレール通路を構成する後壁部 1 2 2 と、傾斜状をなす下板部と、その下板部の上面の前後方向中央部に沿って突設されレール通路を前後複数列（この実施形態では前後 2 列）に区画する仕切り壁（いずれも図示しない）とを一体に備えて形成されている。このレール構成部材 1 1 7 は、レール装着部 1 1 2 に対し適宜の取付手段によって装着され、これによって、前後複数列のレール通路を備えたタンクレール 1 1 8 が構成されている。そして、球タンク 1 1 4 の放出口 1 1 6 から放出（自重によって落下）された遊技球がタンクレール 1 1 8 の前後複数列のレール通路の一端部においてそれぞれ受けられた後、遊技球が自重によってレール通路に沿って転動することでレール通路の他端部に向けて流れるようになっている。また、この実施形態において、レール構成部材 1 1 7 は、透明な合成樹脂材より形成され、これによって、レール通路内の遊技球の流れ状態が、レール構成部材 1 1 7 の後壁部 1 2 2 を透して視認可能となっている。

【 0 1 4 9 】

タンクレール 1 1 8（レール装着部 1 1 2）の前壁部 1 1 9 は、遊技盤 5 の後側に突出する装備品（例えば役物）における後部の上端部との干渉を避けるため第 1 空間部を隔てた状態で設けられている。また、この実施形態において、本体枠 3 の後端部となるレール柵 1 2 0 の後端と、タンクレール 1 1 8 の後壁部は、球タンク 1 1 4 の後側壁と略同一面をなしている。言い換えると、球タンク 1 1 4 の後壁部に対しタンクレール 1 1 8 の後壁部が略同一面となる位置までタンクレール 1 1 8 が遊技盤 5 の後面より後方に離隔して配置されている。これによって、遊技盤 5 の後側とタンクレール 1 1 8 の前壁部 1 1 9 との間に装備品（例えば役物）の後部との干渉を避けるための第 1 空間部が設けられるようになっている。

【 0 1 5 0 】

また、タンクレール 1 1 8 の上方には、レール通路を流れる遊技球を上下に重なることなく整列させる整流体 1 2 3 がその上部において軸 1 2 4 を中心として揺動可能に装着されている。この整流体 1 2 3 には、その中央部から下部において錘が設けられている。

【 0 1 5 1 】

〔 払出装置装着部及び球払出装置の構成について 〕 図 7 及び図 8 に基づき説明する。

本体枠 3 の機構装着体 1 3 の片側寄りの上下方向には、次に述べる球払出装置（球払出ユニット）1 2 5 に対応する縦長の払出装置装着部 1 1 3 が形成されている。払出装置装着部 1 1 3 は、後方に開口部をもつ凹状に形成されている。また、払出装置装着部 1 1 3 の段差状をなす奥壁部（図示しない）の所定位置には、球払出装置 1 2 5 の払出用モータ 1 2 6（図 3 参照）が突出可能な開口部 1 2 7 が形成されている。

【 0 1 5 2 】

払出装置装着部 1 1 3 の凹部に球払出装置 1 2 5 が装着された状態において、遊技盤 5 との間には、第 1 空間部と前後方向に略同一レベルとなる第 2 空間部が設けられている。これによって、レール通路と球通路とが前後方向に略同一レベルで配置されている。また、本体枠 3 の後端、すなわち払出装置装着部 1 1 3 の周壁部後端、レール柵 1 2 0 の後端、球タンク 1 1 4、タンクレール 1 1 8 及び球払出装置 1 2 5 のそれぞれの後面は略同一面をなしている。

【 0 1 5 3 】

球払出装置 1 2 5 は、払出装置装着部 1 1 3 の凹部と略同じ大きさの縦長のボックス形状をなし、払い出しに関する各種部品が装着されることでユニット化されている。なお、球払出装置 1 2 5 は、払出装置装着部 1 1 3 の凹部の後方開口部から嵌込まれて適宜の取付手段（例えば、弾性クリップ、係止爪、ビス等の取付手段）によって装着されるように

なっている。

【 0 1 5 4 】

また、図示しないが、球払出装 1 2 5 は、タンクレール 1 1 8 におけるレール通路の出口にそれぞれ連通する流入口を有する球通路が前後複数列（例えば前後 2 列）に区画されて形成されている。また、その内部に形成された前後複数列の球通路の下流部が二股状に分岐されて前後複数列の賞球及び貸球用球通路と球抜き用球通路とがそれぞれ形成されている。そして賞球及び貸球用球通路と球抜き用球通路との分岐部には、遊技球をいずれかの通路に振り分けて払い出すための回転体よりなる払出部材（図示しない）が正逆回転可能に配設されている。

【 0 1 5 5 】

[本体枠の後側下部の装備について] 図 3 及び図 4 に基づき説明する。

本体枠 3 の前枠体 1 1 の後側において、遊技盤装着枠 1 2 よりも下方に位置する前枠体 1 1 の後下部領域の片側（図 4 に向かって左側）には、発射レール 1 9 の下傾端部の発射位置に送られた遊技球を発射するための発射ハンマー（図示しない）、その発射ハンマーを作動する発射モータ 1 2 8 等が取付基板 1 2 9 に組み付けられてユニット化された発射装置ユニット 1 3 0 が装着されている。また、前枠体 1 1 の後下部領域の略中央部には、電源基板 1 3 1 を収容する電源基板ボックス 1 3 2 が装着され、その電源基板ボックス 1 3 2 の後側に重ね合わされた状態で払出制御基板 1 3 3 を収容する払出制御基板ボックス 1 3 4 が装着されている。払出制御基板 1 3 3 は、遊技球を払い出す数を記憶する R A M を備え、主制御基板 9 4 から送信される払出用信号に従って遊技球を払い出す制御信号を中継用回路基板（図示しない）に伝達して払出用モータ 1 2 6 を作動制御するようになっている。

【 0 1 5 6 】

[後カバー体の構成について] 図 4 及び図 5 に基づき説明する。

図 5 はパチンコ機の後側全体を右上後方から示す斜視図である。

遊技盤 5 後面に配置された表示装置制御基板ボックス 1 3 5（図 9 参照）及び主制御基板ボックス 9 5 の後端部は機構装着体 1 3 の中央部に開口された窓開口部に向けて突出している。そして、機構装着体 1 3 の窓開口部の一側壁を構成する側壁部と他側壁を構成する払出装 1 1 3 の片側壁との間には、不透明な合成樹脂材によって略方形の箱形状に形成された後カバー体 1 3 6 がカバーヒンジ機構 1 3 7 によって開閉並びに着脱可能に装着されている。

【 0 1 5 7 】

後カバー体 1 3 6 は、略四角形状の後壁部 1 3 8 と、その後壁部 1 3 8 の外周縁から前方に向けて突出された周壁部 1 3 9 とから一体に構成されている。後カバー体 1 3 6 の周壁部 1 3 9 のうち、一側の壁部 1 3 9 a には、機構装着体 1 3 の側壁部の上下及び中間の計 3 箇所に形成されたヒンジ体 1 4 0 のヒンジ孔の上方からそれぞれ着脱可能に嵌込まれるヒンジピン 1 4 1 を下向きに有するヒンジ体 1 4 2 が一体に形成されている。また、後カバー体 1 3 6 の周壁部 1 3 9 のうち、他側の壁部 1 3 9 b には、払出装 1 1 3 の片側壁に形成された係止孔に弾性的に係合可能な係止爪を有する弾性閉止体 1 4 3 が一体に形成されている。

【 0 1 5 8 】

すなわち、後カバー体 1 3 6 は、その上下及び中間のヒンジ体 1 4 2 の各ヒンジピン 1 4 1 が機構装着体 1 3 の側壁部のヒンジ体 1 4 0 のヒンジ孔の上方からそれぞれ嵌込まれる。この状態で、ヒンジピン 1 4 1 を中心として後カバー体 1 3 6 が機構装着体 1 3 の他側に向けて回動されながら、その弾性閉止体 1 4 3 を払出装 1 1 3 の片側壁の係止孔に差し込んで弾性的に係合させることで、機構装着体 1 3 の後側に後カバー体 1 3 6 が閉じ状態で保持される。そして、後カバー体 1 3 6 によって、遊技盤 5 後面の表示装置制御基板ボックス 1 3 5（図 9 参照）全体及び主制御基板ボックス 9 5 の略中間部から上端にわたる部分が後カバー体 1 3 6 によって覆われるようになっている。これによって、主制御基板ボックス 9 5 の上部に露出された主制御基板 9 4 の基板コネクタ（主として表

10

20

30

40

50

示装置制御基板と接続するための基板コネクタ)が後方から視認不能に隠蔽されている。

【0159】

また、主制御基板ボックス95の略中間部から下端にわたる部分は後カバー体136によって覆われることなく露出されている。そして、主制御基板ボックス95の下部には、その主制御基板94上に配置された検査用コネクタ144が露出されており、後カバー体136が閉じられた状態で主制御基板94上の検査用コネクタ144に基板検査装置(図示しない)を接続して検査可能となっている。

【0160】

後カバー体136には、多数の放熱孔145、146、147、148が貫設されており、これら多数の放熱孔145、146、147、148から内部の熱が放出されるようになっている。この実施形態において、後カバー体136には、その周壁部139から後壁部138に延びる多数のスリット状の放熱孔145が貫設され、後壁部138の略中間高さ位置から上部においては多数の長円形、楕円形等の放熱孔146が貫設され、後壁部138の下部には多数の長円形、楕円形等の放熱孔147と所定数の横長四角形状の放熱孔148が貫設されている。

【0161】

また、横長四角形状の放熱孔148は、主制御基板ボックス95の封印ねじ(封印部材)によって封印される複数の並列状の封印部149の列の大きさ及び配設位置に対応する大きさ及び位置に貫設されている。これによって、不透明な後カバー体136が閉じられた状態であっても、主制御基板ボックス95の複数の並列状の封印部149が放熱孔148の部分において視認可能に露出される。このため、後カバー体136が閉じられた状態であっても、主制御基板ボックス95の封印部149の封印状態を容易に視認することができる。また、不透明な合成樹脂材は、透明な合成樹脂材と比べ、リサイクル使用される合成樹脂材を材料として用いることが容易であるため、後カバー体136を安価に製作することができる。

【0162】

後カバー体136の周壁部139のうち、上側壁部139cの所定位置(この実施形態では左右2箇所)には、電源コード(図示しない)を適宜に折り畳んだ状態で保持する略C字状でかつ弾性変形可能なコード保持体150が上方のタンクレール118の後壁面(レール構成部材117の後壁面)に向けて延出されている。このコード保持体150の先端部には、同コード保持体150を弾性変形させて電源コードを取り外すためのつまみが形成されている。

【0163】

電源コードは、その一端が分電基板151の基板コネクタ152に取り外し可能に接続され、他端の電源プラグが電源コンセントに差し込まれる。前記したように、後カバー体136にコード保持体150を一体に形成して電源コードを保持することで、パチンコ機1を運搬、保管する際に電源コードがぶらついて邪魔になったり、異物に引っ掛かる不具合を防止することができる。

【0164】

[本体枠の後側下部の下皿用球誘導体等の構成について] 図1及び図6に基づき説明する。

図6は、図5に示すパチンコ機の斜視図から後カバー体及び各種制御基板等を取り外した状態を示す斜視図である。

本体枠3の後下部領域の他側寄り部分(ヒンジ寄り部分)には、そのスピーカボックス部16の後段差部の凹み部分において下皿用球誘導体153が装着されている。この下皿用球誘導体153は、球払出装装置125の賞球及び貸球用球通路から上皿連絡路(図示しない)を経て上皿51に払い出された遊技球が満杯になったときに、上皿連絡路の遊技球を下皿31に導くためのものである。

【0165】

なお、この実施形態において、下皿用球誘導体153の後壁外面には、インタフェース

基板 1 5 4 を収納している基板ボックス 1 5 5 が装着されている。なお、インタフェース基板 1 5 4 は、パチンコ機 1 に隣接して設置される球貸機と払出制御基板 1 3 3 との間に介在され、球貸に関する信号を球貸機と払出制御基板 1 3 3 との間で送受信可能に電氣的に接続するようになっている。

【 0 1 6 6 】

[遊技盤の構成について]

図 1 0 は遊技領域を有した遊技盤の構成を示す拡大正面図である。図 1 1 は遊技盤を斜め前方から示す斜視図であり、図 1 2 は遊技盤を斜め後方から示す斜視図である。図 1 3 は図 1 2 における主制御基板ボックス、副制御基板ボックス等を外した状態で示す斜視図である。また、図 1 4 は遊技盤を分解して斜め前方から示す斜視図である。

10

【 0 1 6 7 】

図 1 0 乃至図 1 4 に示すように、遊技盤 5 は、略円形の開口 2 1 0 を有し開口 2 1 0 内に遊技球を案内する外レール 7 6 及び内レール 7 7 からなる案内レール 7 8 を備えた前構成部材 7 9 と、前面側に前構成部材 7 9 が取り付けられると共に適宜形状の貫通口 2 1 1 を複数有した板状の遊技盤ベース 2 1 2 と、遊技盤ベース 2 1 2 の貫通口 2 1 1 を覆うように、遊技盤ベース 2 1 2 の前面側に取り付けられる主役物 2 1 3、主入賞口ユニット 2 1 4、及び遊技領域内装飾体 2 1 5 と、主役物 2 1 3 と対応し遊技盤ベース 2 1 2 の後面側に取り付けられる後装飾体 2 1 6 と、後装飾体 2 1 6 の後方に配置される演出表示装置 2 1 7 と、遊技盤ベース 2 1 2 の後面側に取り付けられ主入賞口ユニット 2 1 4 に入賞した遊技球を排出誘導する排出誘導部材 2 1 8 とを主に備えている。

20

【 0 1 6 8 】

遊技盤 5 では、前構成部材 7 9 における開口 2 1 0 の内側で、遊技盤ベース 2 1 2 の前面側において、主に遊技領域 3 7 が区画形成されており、この遊技領域 3 7 内には、図 1 0 に示すように多数の障害釘が所定のゲージ配列をなして設けられているほか、その途中の適宜位置に風車 2 1 9 が設けられていると共に、上述の主役物 2 1 3、主入賞口ユニット 2 1 4、及び遊技領域内装飾体 2 1 5 が配置されている。なお、遊技領域 3 7 内の中央最下部には、入賞口等に入賞しなかった遊技球を遊技領域 3 7 内から排出するアウト口 2 2 0 が設けられている。

【 0 1 6 9 】

なお、本例の演出表示装置 2 1 7 が、本発明の演出表示手段に相当している。また、アウト口 2 2 0 が、本発明の「排出口」に相当している。

30

【 0 1 7 0 】

(主役物の構成について)

次に、遊技盤 5 における主役物 2 1 3 の具体的な構成について図 1 5 乃至図 2 4 に基づき詳細に説明する。図 1 5 は主役物の正面図であり、図 1 6 は主役物を斜め前方から示す斜視図であり、図 1 7 は主役物を斜め後方から示す斜視図である。図 1 8 は主役物を分解して斜め前方から示す分解斜視図である。また、図 1 9 は主役物のステージ付近を拡大して示す拡大正面図である。図 2 0 は左右の可動装飾体及び装飾体駆動ユニットを示す斜視図であり、図 2 1 の (A) は左可動装飾体を斜め後方から示す斜視図であり (B) は左可動装飾体を分解して斜め前方から示す分解斜視図である。図 2 2 の (A) は右可動装飾体を斜め後方から示す斜視図であり、(B) は右可動装飾体を分解して斜め前方から示す斜視図である。図 2 3 の (A) は左可動装飾体駆動ユニットの分解斜視図であり、(B) は右可動装飾体駆動ユニットの分解斜視図である。更に、図 2 4 は左右の可動装飾体の動きを示す説明図である。

40

【 0 1 7 1 】

遊技盤 5 における主役物 2 1 3 は、図 1 5 乃至図 1 8 に示すように、額縁状に形成された枠状装飾体 2 3 0 と、枠状装飾体 2 3 0 の前側の右下縁部に取り付けられるキャラクタ体 2 3 1 と、枠状装飾体 2 3 0 の前側の上縁部やや右寄りに取り付けられ自動車を模した装飾部材 2 3 2 と、枠状装飾体 2 3 0 の開口を閉鎖するように枠状装飾体 2 3 0 の後側に取り付けられる透明な板状の隔壁板 2 3 3 と、枠状装飾体 2 3 0 の上縁部の前面下側に配

50

置される右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 と、杵状装飾体 2 3 0 の後側に配置され右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 を夫々所定軸周りに回転させるための右可動装飾体駆動ユニット 2 3 6 及び左可動装飾体駆動ユニット 2 3 7 とを備えている。

【0172】

また、主役物 2 1 3 には、遊技領域 3 7 内の所定領域を通過する遊技球を検出可能なチャッカー 2 3 8 を更に備えている。このチャッカー 2 3 8 は、杵状装飾体 2 3 0 の左縁部に取り付けられ遊技球の通過を検出する通過検出センサ 2 3 9 と、通過検出センサ 2 3 9 を前方から覆うと共に上下方向に遊技球が通過可能な開口を有したチャッカーカバー 2 4 0 とを備えている。このチャッカー 2 3 8 は、チャッカーカバー 2 4 0 の上側から、遊技領域 3 7 内を流下する遊技球が進入すると、その遊技球を通過検出センサ 2 3 9 によって検出し、その後、検出した遊技球をチャッカーカバー 2 4 0 の下側から、再び遊技領域 3 7 内に戻すようになっている。

10

【0173】

この主役物 2 1 3 の杵状装飾体 2 3 0 には、通過検出センサ 2 3 8 が取り付けられる部位の下側に、ワープ入口 2 5 0 が設けられていると共に、ワープ入口 2 5 0 の下方には杵状装飾体 2 3 0 の内側に開口するワープ出口 2 5 1 が設けられており、杵状装飾体 2 3 0 内部にはワープ入口 2 5 0 とワープ出口 2 5 1 とを連通するワープ通路 2 5 2 が形成されている。このワープ通路 2 5 2 は、断面視コ字状に形成された杵状装飾体 2 3 0 の開放部が隔壁板 2 3 3 の一部によって閉鎖されることで形成されており、遊技盤面に沿って流下する遊技球を、杵状装飾体 2 3 0 の外側（外周）から内側へワープ通路 2 5 2 を介して取り込めるようになっている。

20

【0174】

主役物 2 1 3 の杵状装飾体 2 3 0 には、その下縁部における上面に、ワープ通路 2 5 2 のワープ出口 2 5 1 から連続し遊技球を左右方向に転動させることのできる転動面 2 5 3 と、転動面 2 5 3 の前側に設けられ左右に開放部 2 5 4 を有した所定高さの堰部 2 5 5 とからなるステージ 2 5 6 が備えられている。このステージ 2 5 6 は、ワープ通路 2 5 2 を介して取り込まれた遊技球を左右方向に転動させてその動きに様々な変化が付けられるようになっていると共に、ステージ 2 5 6 上を転動する遊技球が開放部 2 5 4 からステージ 2 5 6 の前方に流出するようになっている。なお、ステージ 2 5 6 上の遊技球は、杵状装飾体 2 3 0 の後側に取り付けられる隔壁板 2 3 3 によってステージ 2 5 6 の後方へ流出しないようになっている。また、ステージ 2 5 6 の左端側には、傾斜 2 8 4（図 1 1 参照）が設けられており、ワープ通路 2 5 2 を介して取り込まれた遊技球に適度な位置エネルギーを付加することが可能となっている。これにより、遊技球が適度に勢いのある状態でステージ 2 5 6 の中央側へと供給され、良好に転動させられるので、遊技者がより遊技球の転動演出を楽しめるよう構成されている。さらに、ステージ 2 5 6 の左端側には、ステージ 2 5 6 の前端側及び後端側から延出された段差状の部材の間に形成された溝 3 0 5 が形成されている。溝 3 0 5 は、遊技球一つ分と略等しい幅で形成されており、ワープ出口 2 5 1 から供給された遊技球のぶれ（ステージ 2 5 6 の前側または後側へと向かう力）を抑え、ステージ 2 5 6 上をより良好に転動させるための軌道修正手段としての作用効果を奏している。

30

40

【0175】

なお、ワープ出口 2 5 1 が、本発明の「供給口」に相当している。

【0176】

また、主役物 2 1 3 の杵状装飾体 2 3 0 には、ステージ 2 5 6 上の遊技球を、主入賞口ユニット 2 1 4 の略中央直上に流下するように誘導する球誘導路 2 5 7 を更に備えている。この球誘導路 2 5 7 は、ステージ 2 5 6 の左右の開放部 2 5 4 を挟むように略中央に配置され遊技球をステージ 2 5 6 の後側へ案内する球案内部 2 5 8 と、球案内部 2 5 8 の下方且つステージ 2 5 6 の後側に延出し上方から遊技球を受入可能とされた球受部 2 5 9 と、球受部 2 5 9 に受けられた遊技球を球案内部 2 5 8 の下方且つステージ 2 5 6 の前側に開口する球流出口 2 6 0 から流出するように誘導する球誘導部 2 6 1 とから構成されてい

50

る。なお、隔壁板 2 3 3 の略中央下部には、後方に突出する球誘導凹部 2 6 2 が形成されており、球案内部 2 5 8 によってステージ 2 5 6 の後側に案内された遊技球が、球誘導凹部 2 6 2 に誘導されて隔壁板 2 3 3 の後側に流出することなく、良好に球受部 2 5 9 に受けられるようになっている。また、ステージ 2 5 6 の後側には、ステージの前側に向かって突出して形成された凸条部材 3 0 2 が隔壁板 2 3 3 から一体的に形成されている。さらに、凸条部材 3 0 2 のエッジ部 3 0 3 は、ステージ 2 5 6 の左右方向に対して斜めに傾斜して形成されており、隔壁板 2 3 3 の開口部 3 0 4 の縁に衝突した遊技球を、ステージ 2 5 6 の前方側ではなく左右方向へと案内するよう構成されている。

【0177】

更に、主役物 2 1 3 の枠状装飾体 2 3 0 には、ステージ 2 5 6 を挟んでワープ通路 2 5 2 の反対側に、枠状装飾体 2 3 0 の左右方向中央側が僅かに低くなるような面とされ、ステージ 2 5 6 の転動面 2 5 3 と連続するような延長転動面 2 6 3 を更に備えている。この延長転動面 2 6 3 は、ワープ入口 2 5 0 から取り込まれワープ通路 2 5 2 を介して所定の初速度でステージ 2 5 6 上に供給された遊技球が、ステージ 2 5 6 の堰部 2 5 5 を乗越えてステージ 2 5 6 から流出するのを防止するためのものである。なお、この延長転動面 2 6 3 の前側には、図示するように、キャラクタ体 2 3 1 の一部である装飾部材 3 0 1 が配置されるようになっており、隔壁板 2 3 3 と協働して所定深さの溝が形成されるようになっており、延長転動面 2 6 3 において遊技球が弾んだりしても、延長転動面 2 6 3 から遊技球が脱落し難くなっている（図 1 9 参照）。また、装飾部材 3 0 1 は、その後方に配置される遊技媒体や各種の演出が視認可能な部材（透明性を有する部材 3 6 0：図 1 9 参照）で構成されているので、遊技者は、遊技媒体の転動演出や、演出表示装置 2 1 7 が表示する演出画像を部材 3 6 0 を通して視認することができ、邪魔にならないため好適である。

10

20

【0178】

なお、「球誘導路 2 5 7」が本発明の「誘導手段」に、「球受部 2 5 9」が「受部」に、夫々該当する。また、「凸条部材 3 0 2」が「開口部案内手段」に、「球誘導凹部 2 6 2」が本発明の「誘導凹部」に、夫々相当している。さらに、開放部 2 5 4 は、本発明の「前流下口」に、「開口部 3 0 4」は、本発明の「後流下口」に、「球流出口 2 6 0」が「流出口」に相当している。また、「傾斜 2 8 4」及び「溝 3 0 5」が、本発明の「エネルギー付与手段」に相当する。

30

【0179】

この延長転動面 2 6 3 の作用を詳述すると、ワープ通路 2 5 2 を介して所定の初速度で供給される遊技球は、ステージ 2 5 6 の左端から右端へと転動して延長転動面 2 6 3 上に供給され、その際に、ステージ 2 5 6 はその中央付近が低く左右両端が高くなるような形状とされているので、遊技球の速度はステージ 2 5 6 の右端に転動するのに従って低下するが、ワープ通路 2 5 2 内を流通する遊技球の速度は様々に異なるため、ステージ 2 5 6 へ供給される時の初速度も様々に異なり、例えば、ステージ 2 5 6 の右端に延長転動面 2 6 3 の代わりに球当接部を設けた場合、遊技球の速度によっては、球当接部への当接により弾んでしまいステージ 2 5 6 の堰部 2 5 5 を乗越えてステージ 2 5 6 から脱落し、ステージ 2 5 6 上で遊技球を良好に転動させることができなくなり、遊技球の動きを楽しませられなくなる虞がある。

40

【0180】

これに対して、本例では、ステージ 2 5 6 の右端に延長転動面 2 6 3 を設けており、所定の速度で転動する遊技球がステージ 2 5 6 の右端に到達しても、延長転動面 2 6 3 へと供給されてステージ 2 5 6 の右端で弾んでステージ 2 5 6 から脱落するのを防止することができるようになっている。また、延長転動面 2 6 3 では、キャラクタ体 2 3 1 の一部である装飾部材 3 0 1 及び隔壁板 2 3 3 と協働して所定深さの溝が形成されるので、延長転動面 2 6 3 上で遊技球が弾んでも、延長転動面 2 6 3 から遊技球が脱落するのを抑制することができるようになっている。更に、延長転動面 2 6 3 は、枠状装飾体 2 3 0 の中央側（左端）が僅かに下がった平坦面とされているので、延長転動面 2 6 3 からステージ 2 5

50

6へ転動する遊技球の速度上昇を抑制させることが可能となり、好適な速度で遊技球をステージ256に戻すことができ、ステージ256上で遊技球を良好に転動させることができるようになっている。

【0181】

なお、「装飾部材301」が、本発明の「壁状の衝突部材」に相当し、「延長転動面263」及び「装飾部材301」が、本発明の「エネルギー減衰手段」に相当する。

【0182】

また、本例では、図11及び図58に示すように、延長転動面263の右端側（突当たり）に、突壁部280、及び段差281が備えられている。なお、図58の一点鎖線円内は、ステージ256及び延長転動面263の一部を拡大したものであり、説明を簡略化するため、装飾部材301を省略して図示している。突壁部280は、枠状装飾体230から一体的に形成された部材であり、延長転動面263の右端側に、延長転動面263の中央側に向かって突出するように形成されている。段差281は、延長転動面263から一体的に形成された部材であり、延長転動面263の右端部に上方に突出するようにして形成されている。

【0183】

この突壁部280及び段差281の作用を詳述すると、ワープ通路252を介して所定の初速度で供給される遊技球は、ステージ256の左端から右端へと転動して延長転動面263上に供給される。ここで、ワープ通路252内を流通する遊技球の速度は様々に異なるため、ステージ256へ供給される時の初速度も様々に異なり、例えば、比較的ゆっくりとした速度で延長転動面263上に遊技球が供給された場合は、延長転動面263上で遊技球が転動を終了し、そのまま延長転動面263上に滞留する虞があった。特に、延長転動面263の終端部（すなわち右端部側）では、枠状装飾体230による立壁部282や装飾部材301に衝突することによって遊技球の転動エネルギーが減衰され、勢いを無くし易いから、ステージ256上へと戻ることなく球詰まりのような状態になることが考えられる。

【0184】

これに対し、本例では、延長転動面263の右端部側に突壁部280が設けられているから、突き当たりまで転動してきた遊技球が突壁部280に衝突し、ステージ256側へと押し戻される。また、段差281に衝突することによって、ステージ256側へと弾かれて押し戻されるから、遊技球が延長転動面263上に滞留する虞が一層軽減される。これにより、遊技球をステージ256上で良好に転動させることができる。

【0185】

なお、「突壁部280」及び「段差281」が、本発明の「滞留防止手段」に相当する。

【0186】

さらに、本例では、ステージ256と延長転動面263との境界部に、エッジ283が設けられている。

【0187】

ところで、ステージ256は、前述したように、その中央付近が低く左右両端が高くなるような形状をしている。また、延長転動面263は、枠状装飾体230の中央側（左端）が僅かに下がった平坦面として形成されており（つまりステージ256に向かって低くなるよう傾斜しており）、且つ突壁部280及び段差281が設けられている。従って、ステージ256から延長転動面263へと転動してきた遊技球の転動エネルギーが比較的低い場合であっても、ステージ256へと押し戻されて付勢され、良好な速度で転動させられるが、逆に、比較的高い転動エネルギーを有した状態、つまり必要以上に高い速度でステージ256から延長転動面263へと遊技球が供給された場合は、突壁部280等に弾き返され、勢い余って装飾部材301等乗り越え、延長転動面263上から脱落してしまう場合も考え得る。

【0188】

これに対し、本例では、ステージ 2 5 6 と延長転動面 2 6 3 との境界部にエッジ 2 8 3 が設けられているから、ステージ 2 5 6 から延長転動面 2 6 3 へと転動してきた遊技球は、その転動運動の進行方向が急激に変化させられ、適度に減速される。例えば、ステージ 2 5 6 と延長転動面 2 6 3 との境界部が一体的に滑らかに（エッジ 2 8 3 の無い状態で）形成された場合は、遊技球は、位置エネルギーの上昇による運動エネルギーの減少、及び延長転動面 2 6 3 を含むエネルギー減衰手段のみによりその転動速度が減速させられるが、本例では、エッジ 2 8 3 が形成されているから、ここを乗り越えることによる抵抗によって、さらに遊技球が減速される。従って、遊技球が適宜な速度で延長転動面 2 6 3 上へと侵入するため、勢い余って脱落する虞が軽減される。これにより、遊技者に、より遊技球の動きを楽しませることが可能となる。

10

【0189】

主役物 2 1 3 の杵状装飾体 2 3 0 は、図 1 6 及び図 1 7 に示すように、その左側外周に遊技球を外周に沿って下方に案内可能な球案内路 2 7 0 が備えられている。この球案内路 2 7 0 は、杵状装飾体 2 3 0 の外周面 2 7 1 と、遊技盤ベース 2 1 2 の前面側に当接し遊技盤ベース 2 1 2 の該当する貫通口 2 1 1 を閉鎖するように外方に延びるフランジ部 2 7 2 と、フランジ部 2 7 2 から前側に所定距離離反した位置で外方に延び前面に装飾の施された装飾フランジ部 2 7 3 とから構成されている。この球案内路 2 7 0 は、杵状装飾体 2 3 0 の外周面 2 7 1、フランジ部 2 7 2、及び装飾フランジ部 2 7 3 とにより、遊技盤 5 の盤面に沿った外方に開放された断面が略コ字形状に形成されており、その内部を遊技球が流通可能とされている。

20

【0190】

この球案内路 2 7 0 には、フランジ部 2 7 2 及び装飾フランジ部 2 7 3 の内面側（互いに対向する面側）に、複数の突起（突条）2 7 4 が設けられており、フランジ部 2 7 2 側の突起 2 7 4 と、装飾フランジ部 2 7 3 側の突起 2 7 4 は、互いに対向しない位置に交互に夫々形成されている。この球案内路 2 7 0 は、その複数の突起 2 7 4 によって、球案内路 2 7 0 を流下する遊技球が突起 2 7 4 と当接することで、遊技球の流下速度を減衰させて、遊技球の流下速度が上昇するのを抑制することができるようになっている。なお、この球案内路 2 7 0 は、主入賞口ユニット 2 1 4 の下側付近まで遊技球を案内するように形成されている。

【0191】

なお、本例の球案内路 2 7 0 が、本発明の「排出口案内手段」に、外周面 2 7 1 が「案内面」に、フランジ部 2 7 2 が「第一フランジ部」に、装飾フランジ部 2 7 3 が「第二フランジ部」に、突起 2 7 4 が「減速手段」に、夫々該当する。

30

【0192】

この球案内路 2 7 0 は、図 1 0 及び図 1 1 に示すように、遊技領域 3 7 の上部に打ち込まれた遊技球を、主入賞口ユニット 2 1 4 の下側付近まで案内しており、この球案内路 2 7 0 によって遊技球が案内されると、主入賞口ユニット 2 1 4 に入賞する可能性が低くなるので、球案内路 2 7 0 に遊技球が案内されないように、遊技球の打ち込み操作をさせることができ、打ち込み操作が単調となり興味が低下するのを防止することができるようになっている。また、球案内路 2 7 0 によって遊技球が案内された場合、その突起 2 7 4 によって遊技球の流下速度が抑制されるので、球案内路 2 7 0 から勢い良く遊技球が放出されるのを防止して、放出された遊技球が主入賞口ユニット 2 1 4 や遊技領域内装飾体 2 1 5 等と当接するのを防止したり、当接してもその速度を遅くして衝撃を可及的に小さくし、主入賞口ユニット 2 1 4 等が破損するのを防止することができるようになっている。

40

【0193】

次に、図 2 0 乃至図 2 4 に基づいて、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 と、右可動装飾体駆動ユニット 2 3 6 及び左可動装飾体駆動ユニット 2 3 7 の構成を詳細に説明する。まず、主役物 2 1 3 の右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 は、略水平方向に延びる水平状態と、略垂直方向に延びる垂直状態との間で回動可能とされている。これら右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 は、図 1 5 及び図 2 4 に示すように、夫

50

々水平状態となると、互いに連続した装飾体となるように構成されており、その前側には複数の文字（本例では、アルファベット）が立体的に造形され、それらの文字は右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 とが一体となることで所定の単語となるようになっている。

【0194】

これら右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 は、文字部 290 が透光性を有する部材とされた装飾部 291 と、装飾部 291 の後側に配置される枠状の本体部 292 と、本体部 292 内に配置され複数の LED 293 を備えた発光基板 294 と、発光基板 294 の後側に配置され本体部 292 の枠内の閉鎖する背板 295 と、所定位置から後側に延出する回転軸 296 とを備えている。この装飾部 291 の後側にはネジ孔を有した取付ボス 297 が形成されていると共に、背板 295 には装飾部 291 の取付ボス 297 に対応した位置に貫通孔 298 が穿設されており、装飾部 291 と背板 295 とで本体部 292 及び発光基板 294 を挟んだ状態で、背板 295 の後側から貫通孔 298 を貫通して取付ボス 297 にビス（図示しない）をねじ込むことで、それらが一体に組み付けられるようになっている（図 21 及び図 22 参照）。

10

【0195】

なお、回転軸 296 は、背板 295 に設けられた取付孔に圧入固定されていると共に、回転軸 296 は、右可動装飾体 234 では右端部付近に、左可動装飾体 235 では左端部付近に夫々配置固定されている。また、夫々の背板 295 には、その後面の回転軸 296 付近の所定位置に突起 299 が形成されており、詳細は後述するが、この突起 299 は右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 の夫々の回転位置を検出するためのものである。

20

【0196】

一方、右可動装飾体駆動ユニット 236 及び左可動装飾体駆動ユニット 237 は、右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 を夫々の回転軸 296 の軸芯周りに回転させるものである。これら右可動装飾体駆動ユニット 236 及び左可動装飾体駆動ユニット 237 は、右可動装飾体 234 又は左可動装飾体 235 を回転させるための可動装飾体駆動モータ 310 と、可動装飾体駆動モータ 310 の回転軸 311 に固定される駆動ギヤ 312 と、駆動ギヤ 312 と噛合し駆動ギヤ 312 の回転を伝達する伝達ギヤ 313 と、伝達ギヤ 313 と噛合し右可動装飾体 234 又は左可動装飾体 235 の回転軸 296 が固定される出力ギヤ 314 と、後面に可動装飾体駆動モータ 310 を取り付け可能とされ、駆動ギヤ 312、伝達ギヤ 313、及び出力ギヤ 314 を収容可能なギヤケーシング 315 と、ギヤケーシング 315 の前側開口を閉鎖すると共に右可動装飾体 234 又は左可動装飾体 235 の回転軸 296 が通過可能な通孔 316 を有した前板 317 とを備えている（図 20、図 23 及び図 24 参照）。

30

【0197】

これら右可動装飾体駆動ユニット 236 又は左可動装飾体駆動ユニット 237 は、可動装飾体駆動モータ 310 が回転駆動させられると、その回転軸 311 に固定された駆動ギヤ 312 が回転し、駆動ギヤ 312 の回転が伝達ギヤ 313 を介して出力ギヤ 314 に回転伝達され、出力ギヤ 314 に固定された右可動装飾体 234 又は左可動装飾体 235 の回転軸 296 が出力ギヤ 314 と共に回転することで、夫々の回転軸 296 周りに右可動装飾体 234 又は左可動装飾体 235 を回転させることができるようになっている。

40

【0198】

また、右可動装飾体駆動ユニット 236 及び左可動装飾体駆動ユニット 237 には、右可動装飾体 234 又は左可動装飾体 235 の回転に伴って回転する回転部材 318 と、回転部材 318 の回転位置を検出する回転位置検出センサ 319 とを更に備えている。この回転部材 318 は、一端に右可動装飾体 234 又は左可動装飾体 235 の突起 299 と当接可能な当接ピン 320 と、他端に回転位置検出センサ 319 に検出される被検出部 321 とを有しており、当接ピン 320 と被検出部 321 との間の所定位置において回転可能に前板 317 の裏側に軸支されている。また、前板 317 には、回転部材 318 の当接ピ

50

ン 3 2 0 が挿通可能な円弧状の長孔 3 2 2 が形成されており、右可動装飾体駆動ユニット 2 3 6 及び左可動装飾体駆動ユニット 2 3 7 が組み立てられた状態で、当接ピン 3 2 0 が長孔 3 2 2 を介して前板 3 1 7 の前側に突出するようになっていると共に、円弧状の長孔 3 2 2 により所定の回転角度の範囲内で回転するようになっている。

【 0 1 9 9 】

この回転部材 3 1 8 は、図示するようにその軸支される回転軸で折れ曲がったような形状とされていると共に、当接ピン 3 2 0 側よりも被検出部 3 2 1 側の方が重くなるように形成されており、その重量差によって当接ピン 3 2 0 が上方に回転するようになっている。この回転部材 3 1 8 の当接ピン 3 2 0 は、夫々右可動装飾体 2 3 4 又は左可動装飾体 2 3 5 の突起 2 9 9 の下側に当接するような位置に配置されており、当接ピン 3 2 0 と被検出部 3 2 1 との重量差によって上方に回転しようとする当接ピン 3 2 0 の回転移動が突起 2 9 9 によって阻止されるようになっている。つまり、突起 2 9 9 の回転移動に伴って当接ピン 3 2 0 が回転移動するようになっている、回転部材 3 1 8 の回転位置を検出することで突起 2 9 9、即ち、右可動装飾体 2 3 4 又は左可動装飾体 2 3 5 の回転位置を検出できるようになっている。

10

【 0 2 0 0 】

なお、本例では、回転位置検出センサ 3 1 9 は、フォトセンサとされており、被検出部 3 2 1 がフォトセンサ用の遮蔽板とされている。また、本例では、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 が水平状態の時に、夫々の回転部材 3 1 8 の被検出部 3 2 1 が、回転位置検出センサ 3 1 9 により検出される、つまり、被検出部 3 2 1 がフォトセンサを遮蔽するようになっている。

20

【 0 2 0 1 】

ここで、「右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5」が本発明の「前側可動体」に相当している。また、図 5 6 における、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 が略水平な状態をが、本発明の「第一配置状態」に、図 5 4 における、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 が略垂直な状態が、本発明の「第二配置状態」に夫々該当する。

【 0 2 0 2 】

(主入賞口ユニット、遊技領域内装飾体、及び排出誘導部材の構成について)

次に、主入賞口ユニット 2 1 4、遊技領域内装飾体 2 1 5、及び排出誘導部材 2 1 8 の構成について、図 2 5 乃至図 3 0 に基づいて詳細に説明する。図 2 5 は主入賞口ユニット、遊技領域内装飾体、及び排出誘導部材を斜め前方から示す斜視図である。図 2 6 の (A) は主入賞口ユニットにおける始動口の要部を拡大して示す斜視図であり、(B) はその側面図である。図 2 7 の (A) は主入賞口ユニットにおけるアタッカ装置の要部を示す斜視図であり、(B) はその側面図である。図 2 8 は主入賞口ユニットを斜め後方下側から示す斜視図であり、図 2 9 は遊技領域内装飾体を斜め後方から示す斜視図である。また、図 3 0 は主入賞口ユニット、遊技領域内装飾体、及び排出誘導部材における遊技球の流路を示す断面図である。

30

【 0 2 0 3 】

まず、主入賞口ユニット 2 1 4 は、図示するように、その前側の左右方向略中央上部に配置され上方に開口する第一始動口 3 3 0 と、第一始動口 3 3 0 の下方に配置され第一始動口 3 3 0 と一対の可動片 3 3 1 とで閉鎖又は開放可能な第二始動口 3 3 2 と、第二始動口 3 3 2 の下方に配置され左右方向に延びる矩形状の大入賞口 3 3 3 及び大入賞口 3 3 3 を閉鎖可能とし上辺が前方に回動する開閉扉 3 3 4 を有したアタッカ装置 3 3 5 と、アタッカ装置 3 3 5 の左右両側に配置され互いに離反するように斜め上方に開口する一般入賞口 3 3 6 とを備えている。なお、一対の可動片 3 3 1 は、夫々一端側が回転可能に軸支されていると共に、その回転軸とは偏芯した位置に後側に突出する突出ピンが夫々設けられている。

40

【 0 2 0 4 】

また、主入賞口ユニット 2 1 4 は、第二始動口 3 3 2 を開閉する一対の可動片 3 3 1 を開閉駆動させる始動口開閉駆動ユニット 3 5 0 を更に備えている (図 2 6 参照)。この始

50

動口開閉駆動ユニット 350 は、前後方向に進退可能なプランジャ 351 を有した始動口ソレノイド 352 と、始動口ソレノイド 352 におけるプランジャ 351 の前後方向の進退に伴って水平方向且つ左右方向（遊技盤面に沿った方向）に延びる軸周りに回動し、一对の可動片 331 から後側に延在された突出ピン 337 を上下方向に移動可能な伝達部材 353 とを備えている。また、この伝達部材 353 には、その回動軸 354 よりも上側且つ後側にプランジャ 351 先端の鏝部 355 を係止する係止部 356 が形成されていると共に、回動軸 354 よりも前側に可動片 331 の突出ピン 337 が挿通される側面視コ字形状の伝達部 357 が形成されている。

【0205】

この主入賞口ユニット 214 では、始動口開閉駆動ユニット 350 における始動口ソレノイド 352 のプランジャ 351 が前進すると、伝達部材 353 の係止部 356 が前方に押圧されて、伝達部材 353 が図中反時計回りに回転し伝達部 357 の高さ位置が相対的に低くなると共に、伝達部 357 の下降に伴って可動片 331 の突出ピン 337 が下降し、可動片 331 の自由端側が上昇するように回動することとなる。これにより、一对の可動片 331 が夫々直立したような状態となり、一对の可動片 331 と第一始動口 330 とにより第二始動口 332 が閉鎖されるようになっている。なお、プランジャ 351 を後退させると、上述とは逆の動作をして、図示するように一对の可動片 331 の自由端側が互いに離反するように下降し、第二始動口 332 が開放された状態となるようになっている。また、第二始動口 332 が開放された状態では、その開口幅が、第一始動口 330 の開口幅よりも広くなり、遊技球が入賞し易くなるようになっている。

【0206】

また、図示するように、始動口ソレノイド 352 の下側には第二始動口センサ 358 が備えられており、第二始動口 332 に入賞した遊技球が、第二始動口センサ 358 の貫通孔を通過することで第二始動口センサ 358 に検出されると共に、主入賞口ユニット 214 の下側に形成された排出口 359 から排出されるようになっている（図 28 参照）。

【0207】

また、主入賞口ユニット 214 のアタッカ装置 335 は、大入賞口 333 に入賞した遊技球を検出する大入賞口センサ 370 と、大入賞口 333 を閉鎖可能な左右方向に延びる矩形状とされ下辺側が軸支されると共に上辺側が直立状態から前方に回動可能とされた開閉扉 334 と、前後方向に進退可能なプランジャ 371 を有したアタッカソレノイド 372 と、アタッカソレノイド 372 におけるプランジャ 371 の前後方向の進退に伴って水平方向且つ左右方向（遊技盤面に沿った方向）に延びる軸周りに回動して開閉扉 334 を回動させる伝達部材 373 と、大入賞口センサ 370、開閉扉 334、アタッカソレノイド 372、及び伝達部材 373 を支持すると共に大入賞口 333 に入賞した遊技球を大入賞口センサ 370 に検出されるように誘導する誘導路 374 を有したケーシング 375 とを備えている（図 27 参照）。

【0208】

なお、本例では、図 27 に示すように、アタッカソレノイド 372 及び伝達部材 373 は、大入賞口 333 よりも左側且つ後側となる位置にケーシング 375 に収容支持されている。また、開閉扉 334 の左側下端には、伝達部材 373 と当接する当接突起 376 が形成されている。更に、アタッカ装置 335 の伝達部材 373 には、その回動軸 377 よりも上側に配置されプランジャ 371 先端の鏝部 378 と係合する係合部 379 と、回動軸 377 よりも前側に配置され開閉扉 334 の当接突起 376 に上側から当接する当接ピン 380 とを備えている。

【0209】

このアタッカ装置 335 では、アタッカソレノイド 372 のプランジャ 371 が前進すると、伝達部材 373 の係合部 379 が前方に押圧され、伝達部材 373 が図中反時計回りに回転して伝達部材 373 の回動軸 377 の前方に設けられた当接ピン 380 が回転下降し、当接ピン 380 の下降により当接ピン 380 と当接する開閉扉 334 の当接突起 376 が下降して開閉扉 334 がその支持軸芯に対して時計回りに回動する。つまり、図示

するような、開閉扉 3 3 4 の下辺を中心として上辺が前方に回転した開状態から、開閉扉 3 3 4 が略直立する閉状態へと回転し、大入賞口 3 3 3 が閉状態となるようになっている。なお、アタッカソレノイド 3 7 2 のプランジャ 3 7 1 が後退すると、上述とは逆の動作をして、開閉扉 3 3 4 の上辺が前方に回転して大入賞口 3 3 3 が開状態となるようになっている。

【 0 2 1 0 】

なお、このアタッカ装置 3 3 5 は、大入賞口 3 3 3 の左右方向の幅が、一对の可動片 3 3 1 が開状態となり第二始動口 3 3 2 が開放状態となった時の幅よりも、更に広い幅とされており、遊技球がより入賞し易いようになっている。また、大入賞口 3 3 3 から進入し大入賞口センサ 3 7 0 で検出された遊技球は、そのまま主入賞口ユニット 2 1 4 の下方へ排出されるようになっている（図 2 8 参照）。

10

【 0 2 1 1 】

この主入賞口ユニット 2 1 4 には、前側に第一始動口 3 3 0、大入賞口 3 3 3、及び一般入賞口 3 3 6 が形成され後側にアタッカ装置 3 3 5 及び始動口開閉駆動ユニット 3 5 0 等が取り付けられる主入賞口ユニットベース 3 8 1 を更に備えている。この主入賞口ユニットベースの後側には、第一始動口 3 3 0、第二始動口 3 3 2、及び一般入賞口 3 3 6 と対応する位置に、遊技球を後方へ所定距離案内する球樋 3 8 2 が形成されている（図 2 5 及び図 2 8 参照）。また、主入賞口ユニットベース 3 8 1 の外形は、遊技盤ベース 2 1 2 に形成された対応する貫通口 2 1 1 の外形よりも大きい形状とされていると共に、後側に取り付けられるアタッカ装置 3 3 5 及び始動口開閉駆動ユニット 3 5 0 は、該当する貫通口 2 1 1 を通過可能な大きさとされている。

20

【 0 2 1 2 】

また、主入賞口ユニット 2 1 4 は、図 1 0 に示すように、その第一始動口 3 3 0 が、主役物 2 1 3 の球誘導路 2 5 7 における球流出口 2 6 0 の直下に位置するように遊技盤ベース 2 1 2 に取付固定されており、主役物 2 1 3 の球流出口 2 6 0 から流出した遊技球が、主入賞口ユニット 2 1 4 の第一始動口 3 3 0 に入賞する可能性が高くなるように配置されている。

【 0 2 1 3 】

本例の主入賞口ユニット 2 1 4 は、遊技盤ベース 2 1 2 に、その前側から取り付けられるようになっており、詳述すると、遊技盤ベース 2 1 2 の前側から主入賞口ユニット 2 1 4 のアタッカ装置 3 3 5 及び始動口開閉駆動ユニット 3 5 0 を該当する貫通口 2 1 1 に挿通すると共に、主入賞口ユニットベース 3 8 1 の後面を遊技盤ベース 2 1 2 の前面と当接させ、図示しないビスにより主入賞口ユニットベース 3 8 1 を遊技盤ベース 2 1 2 に固定することで、主入賞口ユニット 2 1 4 が遊技盤ベース 2 1 2 に取り付けられるようになっている。この際に、遊技盤ベース 2 1 2 の該当する貫通口 2 1 1 は、主入賞口ユニットベース 3 8 1 によって前側からは見えないように隠蔽されるようになっている（図 1 1 及び図 1 4 参照）。

30

【 0 2 1 4 】

次に、遊技領域内装飾体 2 1 5 は、特別図柄表示器 3 9 0 と、保留ランプ 3 9 1 と、発光装飾部 3 9 3 と、二つの一般入賞口 3 9 4 とを主に備えている。この特別図柄表示器 3 9 0 は、本例では複数の色を発光することのできる 4 つの L E D から構成されており、第一始動口 3 3 0 及び第二始動口 3 3 2 への遊技球の入賞に応じて、夫々の L E D が消灯、点灯、点滅、変色などをして、各始動口に対応した特別図柄を表示するようになっている。

40

【 0 2 1 5 】

また、保留ランプ 3 9 1 は、4 つの L E D からなり、夫々の L E D が消灯、点滅、点灯、することができ、それら L E D の点滅、点灯の組合せにより、第一始動口 3 3 0 及び第二始動口 3 3 2 への遊技球の入賞による始動保留数を表示し、夫々 4 つまで始動保留を表示させることができるようになっている。

【 0 2 1 6 】

50

更に、発光装飾部 3 9 3 は、前側に配置された透光性を有するレンズ部 3 9 5 の後側に、種々の色を発光することのできる複数の L E D を有した発光基板 3 9 6 が配置されており、その L E D の発光により、光による装飾ができるようになっている。

【 0 2 1 7 】

また、遊技領域内装飾体 2 1 5 の正面視左側の一般入賞口 3 9 4 は、入賞した遊技球が遊技領域内装飾体 2 1 5 の内部を通して、遊技領域内装飾体 2 1 5 の後側下部に開口した排出口 3 9 7 から外部へ排出されるようになっている。また、正面視右側の一般入賞口 3 9 4 は、入賞した遊技球が排出口 3 9 7 の略上側に設けられた排出部 3 9 8 から排出されるようになっており、この排出部 3 9 8 から遊技球がやや右側に誘導されるように外部へ排出されるようになっている。なお、この遊技領域内装飾体 2 1 5 には、正面視左側の一般入賞口 3 9 4 に入賞した遊技球を検出することができるよう、センサ取付部 3 9 9 が備えられている（図 2 9 参照）。

10

【 0 2 1 8 】

この遊技領域内装飾体 2 1 5 は、その前後方向の略中間に、遊技盤ベース 2 1 2 の該当する貫通口 2 1 1 の外形よりも外方に延びるフランジ部 4 0 0 が備えられており、遊技盤ベース 2 1 2 の前側から、その後側を該当する貫通口 2 1 1 に挿入し、フランジ部 4 0 0 の後面側を遊技盤ベース 2 1 2 の前面側と当接させて貫通口 2 1 1 が前側から見えないように隠蔽すると共に、フランジ部 4 0 0 をその前側からビス（図示しない）により遊技盤ベース 2 1 2 に取り付けることで、遊技領域内装飾体 2 1 5 が遊技盤ベース 2 1 2 に固定されるようになっている（図 1 1 及び図 1 4 参照）。

20

【 0 2 1 9 】

次に、排出誘導部材 2 1 8 は、遊技盤ベース 2 1 2 を挟んで主入賞口ユニット 2 1 4 及び遊技領域内装飾体 2 1 5 の後側に配置され、遊技盤ベース 2 1 2 に固定された主入賞口ユニット 2 1 4 及び遊技領域内装飾体 2 1 5 の遊技盤ベース 2 1 2 の後面よりも後側に突出した部分の一部を覆うように形成され、主入賞口ユニット 2 1 4 及び遊技領域内装飾体 2 1 5 の入賞口に入賞した遊技球を誘導する各種誘導路を備えたものである（図 2 5 参照）。

【 0 2 2 0 】

この排出誘導部材 2 1 8 は、遊技盤ベース 2 1 2 の後面と当接し遊技盤ベース 2 1 2 に取付固定するためのビス（図示しない）を挿通する挿通孔 4 1 0 を有した取付固定部 4 1 1 と、主入賞口ユニット 2 1 4 の始動口開閉駆動ユニット 3 5 0 及びアタッカ装置 3 3 5 のケーシング 3 7 5 の一部を収容可能な収容凹部 4 1 2 と、主入賞口ユニット 2 1 4 の第一始動口 3 3 0 から続く球樋 3 8 2 と対応し第一始動口 3 3 0 に受入れられた遊技球を排出誘導部材 2 1 8 の下方へ誘導して排出する第一始動口排出誘導路 4 1 3 と、主入賞口ユニット 2 1 4 の正面視右側に配置された一般入賞口 3 3 6 から続く球樋 3 8 2 と対応し当該一般入賞口 3 3 6 に受入れられた遊技球を排出誘導部材 2 1 8 の下方から排出する右一般入賞口排出流路 4 1 4 と、主入賞口ユニット 2 1 4 の正面視左側に配置された一般入賞口 3 3 6 から続く球樋 3 8 2 と対応し当該一般入賞口 3 3 6 に受入れられた遊技球を排出誘導部材 2 1 8 の下方から排出する左一般入賞口排出流路 4 1 5 と、第一始動口排出流路 4 1 3 内を流通する遊技球を検出することで遊技球が第一始動口 3 3 0 に入賞したことを検出する第一始動口センサ 4 1 6 と、右一般入賞口排出流路 4 1 4 内の遊技球を検出することで右側の一般入賞口 3 3 6 に遊技球が入賞したことを検出する右一般入賞口センサ 4 1 7 a と、左一般入賞口排出流路 4 1 5 内の遊技球を検出することで左側の一般入賞口 3 3 6 に遊技球が入賞したことを検出する左一般入賞口センサ 4 1 7 b とを備えている。

30

40

【 0 2 2 1 】

この排出誘導部材 2 1 8 は、遊技領域内装飾体 2 1 5 の二つの一般入賞口 3 9 4 に受入れられた遊技球を、左一般入賞口排出流路 4 1 5 を介して排出誘導部材 2 1 8 の下方へ排出するようになっている。具体的には、左一般入賞口排出流路 4 1 5 には、遊技領域内装飾体 2 1 5 の排出口 3 9 7 から排出された遊技球を受けて左一般入賞口センサ 4 1 7 b へ導く第一誘導部 4 1 8 と、遊技領域内装飾体 2 1 5 の排出部 3 9 8 から排出された遊技球

50

を受けて左一般入賞口センサ 4 1 7 b へ導く第二誘導部 4 1 9 とを備えている。なお、第二誘導部 4 1 9 には、第二誘導部 4 1 9 内の遊技球を検出できるようにセンサ取付部 4 2 0 が形成されている。

【0222】

この排出誘導部材 2 1 8 は、上述のように、主入賞口ユニット 2 1 4 及び遊技領域内装飾体 2 1 5 における第一始動口 3 3 0、一般入賞口 3 3 6、3 9 4 に受入れられた遊技球を検出すると共に、排出誘導部材 2 1 8 の下方へ排出することができるようになっている（図 3 0 参照）。なお、左一般入賞口センサは、主入賞口ユニット 2 1 4 の左側の一般入賞口 3 3 6 に受入れられた遊技球だけでなく、遊技領域内装飾体 2 1 5 の二つの一般入賞口 3 9 4 に受入れられた遊技球も検出することができるようになっており、入賞口の数に 10 対して検出センサの数を少なくすることができるようになっている。また、遊技領域内装飾体 2 1 5 及び排出誘導部材 2 1 8 には、夫々センサ取付部 3 9 9 及びセンサ取付部 4 2 0 が設けられており、これらセンサ取付部 3 9 9、4 2 0 に遊技球の検出センサを取り付けることで、上記の何れの入賞口に遊技球が受入れられたのかを判別することができるようになり、各入賞口の差別化ができるようになっている。

【0223】

（後装飾体の構成について）

次に、後装飾体 2 1 6 の構成について、図 3 1 乃至図 5 2、及び図 5 9 に基づいて詳細に説明する。図 3 1 は後装飾体を斜め前方から示す斜視図であり、図 3 2 は後装飾体を分解して斜め前方から示す分解斜視図である。図 3 3 は後装飾体を分解して斜め後方から示す分解斜視図である。図 3 4 は後装飾体における第一装飾可動体ユニットを斜め前方から示す斜視図であり、図 3 5 は第一装飾可動体ユニットを主要部毎に分解して斜め前方から示す分解斜視図である。図 3 6 の（A）は第一装飾可動体ユニットにおける第一装飾可動体を分解して斜め前方から示す分解斜視図であり、（B）は第一装飾可動体におけるレンズ部を示す拡大正面図である。図 3 7 は第一装飾可動体ユニットにおける第一装飾可動体駆動ユニットを斜め前方から示す斜視図であり、図 3 8 は第一装飾可動体駆動ユニットを斜め後方から示す斜視図である。図 3 9 は第一装飾可動体駆動ユニットを主要部毎に分解して示す分解斜視図である。図 4 0 は図 3 9 よりも更に分解して示す分解斜視図である。図 4 1 の（A）は第一装飾可動体駆動ユニットにおける第一昇降部材を示す斜視図であり、（B）は第一昇降部材の分解斜視図である。図 4 2 は第一昇降部材における第一装飾可動体ソレノイドと回動伝達部材との関係を示す説明図である。図 4 3 は後装飾体における第二装飾可動体ユニットを斜め前方から示す斜視図であり、図 4 4 は第二装飾可動体ユニットを主要部毎に分解して斜め前方から示す分解斜視図である。図 4 5 は第二装飾可動体ユニットにおける第二装飾可動体を分解して示す分解斜視図である。図 4 6 は第二装飾可動体ユニットにおける第二装飾可動体駆動ユニットを斜め前方から示す斜視図である。図 4 7 は第二装飾可動体駆動ユニットを主要部毎に分解して示す分解斜視図である。図 4 8 は図 4 7 よりも更に分解して示す分解斜視図である。図 4 9 の（A）は第二装飾可動体駆動ユニットにおける第二昇降部材を示す斜視図であり、（B）は第二昇降部材の分解斜視図である。図 5 0 は第二昇降部材における第二装飾可動体ソレノイドとリンク機構との関係を示す説明図である。図 5 1 は装飾可動体ユニットカバーを斜め前方から示す斜視図であり、図 5 2 は装飾可動体ユニットカバーの要部を示す説明図である。図 5 9 は第一装飾可動体におけるレンズ部の別の形態を示す拡大正面図である。 30 40

【0224】

この後装飾体 2 1 6 は、遊技盤ベース 2 1 2 の後面側で正面視中央よりも右側に取付固定され主に上下方向に移動し所定のキャラクタの上顎を含む顔上部が造形された第一装飾可動体 4 3 0 を有した第一装飾可動体ユニット 4 3 1 と、第一装飾可動体ユニット 4 3 1 に対して左右方向反対側の遊技盤ベース 2 1 2 の後面側に取付固定され第一装飾可動体 4 3 0 の下側で上下方向に移動し第一装飾可動体 4 3 0 と対応する下顎が造形された第二装飾可動体 4 3 2 を有した第二装飾可動体ユニット 4 3 3 と、第一装飾可動体ユニット 4 3 1 及び第二装飾可動体ユニット 4 3 3 の外周側と後側を覆い中央に矩形状の開口 4 3 4 を 50

有すると共に後側に演出表示装置 2 1 7 が取付可能とされた装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 と、第一装飾可動体ユニット 4 3 1 と装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 との間に配置される第一装飾体 4 3 6 と、第二装飾可動体ユニット 4 3 3 と装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 との間に配置される第二装飾体 4 3 7 とを備えている。

【0225】

この後装飾体 2 1 6 は、第一装飾可動体ユニット 4 3 1 の第一装飾可動体 4 3 0 と、第二装飾可動体ユニット 4 3 3 の第二装飾可動体 4 3 2 とを、互いに接近させたり離反させたりするように夫々を上下方向に移動させることで、所定のキャラクタの口が開いたり閉じたりするような演出動作をさせることができるものである。

【0226】

この後装飾体 2 1 6 の第一装飾可動体ユニット 4 3 1 は、所定のキャラクタの上顎から眉毛までの間の顔上部を造形した第一装飾可動体 4 3 0 と、第一装飾可動体 4 3 0 を上下方向に移動させると共に遊技盤 5 の左右方向に延びる軸周りに回動させ、遊技盤ベース 2 1 2 の後面側に取付固定される第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 と、第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 に取り付けて装飾するユニット装飾体 4 5 1 とを備えている。

【0227】

この第一装飾可動体ユニット 4 3 1 の第一装飾可動体 4 3 0 は、略黒色のレンズ部 4 5 2 を有したサングラス 4 5 3 と、キャラクタの目に相当する位置に貫通する開口孔 4 5 4 を有した第一装飾可動体本体 4 5 5 と、第一装飾可動体本体 4 5 5 の後側に配置され第一装飾可動体本体 4 5 5 の開口孔 4 5 4 を介して前側に所定色の光を発光可能な複数の L E D 4 5 6 が取り付けられた発光基板 4 5 7 と、発光基板 4 5 7 の後側に配置され、サングラス 4 5 3、第一装飾可動体本体 4 5 5、及び発光基板 4 5 7 と一体に組み付けられるベース部材 4 5 8 とを備えている。なお、第一装飾可動体 4 3 0 が本発明の「光学表示装置」に、L E D 4 5 6 が「発光手段」に、夫々該当する。

【0228】

この第一装飾可動体 4 3 0 におけるサングラス 4 5 3 のレンズ部 4 5 2 は、図示するように、発光基板 4 5 7 の L E D 4 5 6 が発する光の色に応じて、その表面に模様が現れるようになっており、具体的には、L E D 4 5 6 から赤色の光が発せられると「三日月状の模様」が現れ、L E D 4 5 6 から青色の光が発せられるとキャラクタに関係する「所定の漢字」（ここでは、「所」）が現れるようになっている。このレンズ部 4 5 2 の構造は、上述の「三日月状の模様」と「所定の漢字」とが重なるように配置されていると共に、重なった部分が無色又は白色の透光性を有する白色部 4 5 9 とされ、「三日月状の模様」の重なっていない部分が赤色の透光性を有する赤色部 4 6 0 とされると共に、「所定の漢字」の重なっていない部分が青色の透光性を有する青色部 4 6 1 とされ、その他の部分が略黒色の黒色部 4 6 2 とされている。なお、赤色部 4 6 0 が本発明の「第一透過手段」に、青色部 4 6 1 が「第二透過手段」に、白色部 4 5 9 が「重複部」に、黒色部 4 6 2 が「遮光性の部材」に夫々該当する。これに伴って、赤色が本発明の「第一色」に、青色が「第二色」に対応している。

【0229】

本例ではレンズ部 4 5 2 が上述の構成となっているので、例えば、L E D 4 5 6 から赤色の光を照射すると、白色部 4 5 9 と赤色部 4 6 0 では、その赤色光が透過し、青色部 4 6 1 及び黒色部 4 6 2 では赤色光が透過しないので、白色部 4 5 9 と赤色部 4 6 0 とによる「三日月状の模様」が現れる。一方、L E D 4 5 6 から青色の光を照射すると、白色部 4 5 9 と青色部 4 6 1 では青色光が透過し、赤色部 4 6 0 と黒色部 4 6 2 では青色光が透過しないので、白色部 4 5 9 と青色部 4 6 1 とによる「所定の漢字」が現れることとなる。このように、有色光と透光性を有した有色部材とを適宜組み合わせることで、L C D 等の高価な表示装置を用いなくとも容易に所望の模様を表示することができるようになっている。

【0230】

ところで、図 3 6 における白色部 4 5 9、赤色部 4 6 0、及び青色部 4 6 1 を、図 5 9

10

20

30

40

50

に示す白色部 5 0 0、赤色部 5 0 1、及び青色部 5 0 2 とすることで、別途の新たな模様を用いた演出を行うことができる。白色部 5 0 0、赤色部 5 0 1、及び青色部 5 0 2 における光の透過状態は、白色部 4 5 9、赤色部 4 6 0、及び青色部 4 6 1 と同様であり、LED 4 5 6 から赤色の光を照射すると、白色部 5 0 0 と赤色部 5 0 1 とによる「三日月状の模様」（笑い顔の目の模様）が現れる。一方、LED 4 5 6 から青色の光を照射すると、白色部 5 0 0 と青色部 5 0 2 とによる「泣き顔の目の模様」が現れる。このように、例えば液晶表示装置のような比較的重い表示装置を用いなくとも、シート状部材であるレンズ部 4 5 2 と LED 4 5 6 のみでキャラクターの表情を変えることができるため、第一装飾可動体本体 4 5 5 のような可動する部材にも好適に表示装置を付加することができる。また、比較的簡単にキャラクターの表情を変えられるから、遊技者の目を強く惹き付ける面白味のある遊技機が提供できる。

10

【0231】

なお、本例では、LED 4 5 6 が取り付けられる発光基板 4 5 7 が、遮光性の高い部材（本発明の「遮光手段」に該当）に形成されている。具体的には、発光基板 4 5 7 の裏側に遮光性の高い黒色塗料や黒色フィルム等からなる遮光部材が備えられている。これにより、レンズ部 4 5 2 の後側から LED 4 5 6 以外の光が入光するのを防止して、LED 4 5 6 の消灯時に、黒色部 4 6 2 以外の白色部 4 5 9、赤色部 4 6 0、及び青色部 4 6 1 が見えるのを抑制するようになっている。また、光源として LED 4 5 6 を用いており、他の光源と比較して発光させる色の波長帯域が狭く他の色の成分の含有が少ないので、より確実に所望の色の模様を現すことができるようになっている。

20

【0232】

また、第一装飾可動体 4 3 0 には、そのベース部材 4 5 8 に第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 に固定支持されるための固定部 4 6 3 が備えられており、この固定部 4 6 3 により第一装飾可動体 4 3 0 が第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 に支持されるようになっている。

【0233】

次に、第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 は、第一装飾可動体 4 3 0 を支持し第一装飾可動体 4 3 0 と共に上下方向に昇降する第一昇降部材 4 7 0 と、第一昇降部材 4 7 0 を上下方向に案内する案内レール 4 7 1 と、案内レール 4 7 1 の上端部を支持する第一上部支持部材 4 7 2 と、案内レール 4 7 1 の下端部を支持する第一下部支持部材 4 7 3 と、第一上部支持部材 4 7 2 及び第一下部支持部材 4 7 3 を上下方向に所定距離離間して支持すると共に遊技盤ベース 2 1 2 の後面側と当接する取付当接面 4 7 4 を有し板金を屈曲形成した第一ベース 4 7 5 と、第一ベース 4 7 5 の第一上部支持部材 4 7 2 の反対側に配置された第一ベース 4 7 5 及び第一上部支持部材 4 7 2 を貫通してその回転する駆動軸 4 7 6 が突出する第一駆動モータ 4 7 7 と、第一駆動モータ 4 7 7 の駆動軸 4 7 6 の回転に伴って回転する駆動プーリ 4 7 8 と、駆動プーリ 4 7 8 と対となるように第一下部支持部材 4 7 3 の近傍に配置される従動プーリ 4 7 9 と、駆動プーリ 4 7 8 と従動プーリ 4 7 9 とに巻き掛けられる駆動ベルト 4 8 0 と、駆動ベルト 4 8 0 の一部を第一昇降部材 4 7 0 と連結固定するベルト固定部 4 8 1 とを備えている。

30

【0234】

なお、本例では、第一駆動モータ 4 7 7 による駆動プーリ 4 7 8 の回転駆動は、第一駆動モータ 4 7 7 の駆動軸 4 7 6 に固定された駆動ギヤ 4 8 2 の回転が、駆動ギヤ 4 8 2 の上側に配置され駆動ギヤ 4 8 2 と噛合し駆動プーリ 4 7 8 と一体に回転する伝達ギヤ 4 8 3 に伝達されることで駆動プーリ 4 7 8 が回転駆動するようになっている。この駆動ギヤ 4 8 2 と伝達ギヤ 4 8 3 を用いることで、第一駆動モータ 4 7 7 の駆動軸 4 7 6 よりも駆動プーリ 4 7 8 の位置をより高くして第一昇降部材 4 7 0 の上下方向の可動範囲が大きくなるようになっている。また、駆動ベルト 4 8 0 の内周面には全周に亘って所定間隔で係合歯 4 8 4 が設けられていると共に、駆動プーリ 4 7 8 には係合歯 4 8 4 と係合する被係合歯 4 8 5 が歯車状に設けられており（図 4 0 参照）、被係合歯 4 8 5 と係合歯 4 8 4 との係合により駆動プーリ 4 7 8 の回転駆動が確実に駆動ベルト 4 8 0 に伝達されるように

40

50

なっている。なお、従動プーリ４７９は、被係合歯のない平プーリとされている。

【０２３５】

この第一装飾可動体駆動ユニット４５０には、第一昇降部材４７０が案内レール４７１の延びる軸方向周りに回転するのを防止するための第一回転防止手段４９０が更に備えられている。この第一回転防止手段４９０は、第一上部支持部材４７２及び第一下部支持部材４７３にその上端及び下端が支持されると共に案内レール４７１と略平行に配置される案内ロッド４９１と、前後方向から案内ロッド４９１に当接可能とされ第一昇降部材４７０に取り付けられる案内部材４９２とを備えている。この第一回転防止手段４９０は、図示するように、案内ロッド４９１が案内レール４７１の右側に所定距離離れて配置されていると共に、断面が略コ字状とされた案内部材４９２が案内ロッド４９１の前後側の何れかに当接することで、第一昇降部材４７０が案内レール４７１の軸芯周りに回転するのを良好に防止することができるようになっている。

10

【０２３６】

なお、本例では、案内レール４７１及び案内ロッド４９１は、共に金属製の丸棒とされており、案内レール４７１の表面には摺動抵抗を低減させるための摩擦低減層が形成されている。この摩擦低減層は、例えば、フッ素系樹脂としてポリテトラフルオロエチレン（ＰＴＦＥ、（例えば、テフロン（登録商標）））が所定の厚さでコーティングされており、これにより、案内レール４７１により案内される第一昇降部材４７０の動摩擦抵抗の値と静摩擦抵抗の値とを可及的に近づけることができ、静止した第一昇降部材４７０が移動を開始する際に滑らかに移動開始させることができると共に、案内レール４７１等の摩擦を低減させて耐久性を向上させることができるようになっている。また、案内ロッド４９１の表面は、クロムメッキが施されており、錆び等の腐食を防止して耐久性を高めると共に、案内レール４７１よりは安価なものとなりコストが増加するのを防止することができるようになっている。

20

【０２３７】

また、第一装飾可動体駆動ユニット４５０には、駆動ベルト４８０に所定の張力を付与するテンション機構４９３を更に備えている。このテンション機構４９３は、案内レール４７１に案内されると共に従動プーリ４７９を回転可能に支持する移動体４９４と、一端が移動体４９４に他端が第一ベース４７５に取付けられ移動体４９４を下方に付勢するテンションバネ４９５とを備えている。

30

【０２３８】

このテンション機構４９３の移動体４９４は、案内レール４７１を挿通する案内孔４９６と、下方に開放され従動プーリ４７９の両端から突出する軸部４９７を係止するフック状の係止部４９８と、案内孔４９６と係止部４９８との間に配置されテンションバネ４９５の一端を取付けるバネ取付部４９９とを備えている。これにより、従動プーリ４７９に駆動ベルト４８０を巻き掛けた状態で、従動プーリ４７９を移動体４９４に支持させることができ、組立が容易にできるようになっている。また、案内孔４９６と従動プーリ４７９の軸部４９７を係止する係止部４９８との間でテンションバネ４９５により駆動ベルト４８０を引張るようにしているので、案内レール４７１の軸に対して案内孔４９６の軸が大きく傾くのを防止することができ、案内レール４７１における移動体４９４の摺動抵抗が増加するのを抑制し、移動体４９４がスムーズに移動できるようになっていると共に、移動体４９４の姿勢が大きく変化するのを防止して駆動ベルト４８０に良好にテンションがかかるようになっている。

40

【０２３９】

この第一装飾可動体駆動ユニット４５０は、図示するように、駆動プーリ４７８が上側に、従動プーリ４７９が下側に夫々配置されていると共に、駆動プーリ４７８と従動プーリ４７９とに巻き掛けられる駆動ベルト４８０が、従動プーリ４７９を介してテンション機構４９３により下方に付勢されるようになっている。また、駆動ベルト４８０に第一昇降部材４７０が固定されているので、第一昇降部材４７０及び第一装飾可動体４３０の重量が駆動ベルト４８０にかかり、駆動ベルト４８０の一方側のみに下方に引張る力が作用

50

するようになっており、第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量により駆動ベルト 480 が駆動プーリ 478 に強く巻き掛けられるようになっている。

【0240】

一方、上側の駆動プーリ 478 には、駆動ベルト 480 の係合歯 484 と係合する被係合歯 485 が備えられており、第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量によって駆動ベルト 480 が駆動プーリ 478 に強く巻き掛けられることで駆動ベルト 480 の係合歯 484 と駆動プーリ 478 の被係合歯 485 との係合がより強くなると共に、第一駆動モータ 477 による駆動プーリ 478 の回転が阻止されることで、駆動ベルト 480 の回転が阻止され、第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量が駆動ベルト 480 を介して駆動プーリ 478 に支持されることとなり、第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量が下側の従動プーリ 479 やテンション機構 493 にかからないようになっている。これにより、テンション機構 493 に余分な負荷をかけることなく良好に第一昇降部材 470 等を上下動させることができると共に、テンション機構 493 による付勢力を最小限のものとしてテンション機構 493 等にかかるコストを低減させることができるようになっている。

【0241】

ところで、駆動プーリ 478 と従動プーリ 479 及びテンション機構 493 の上下配置を逆にした場合、第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量が駆動ベルト 480 を介して従動プーリ 479 にかかるが、従動プーリ 479 には、駆動ベルト 480 の係合歯 484 と係合する被係合歯が備えられておらず、また、従動プーリ 479 は自由回転するようになっているので、従動プーリ 479 により第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量を支持することができず、第一昇降部材 470 が降下すると共に、駆動ベルト 480 が所定方向に回転することとなる。また、下側の駆動プーリ 478 では駆動ベルト 480 が第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量により下方に引張られるので、駆動プーリ 478 での駆動ベルト 480 の巻き掛け力が弱くなる。つまり、駆動ベルト 480 の係合歯 484 と駆動プーリ 478 の被係合歯 485 との係合が弱くなり、互いに滑り易くなる。

【0242】

そして、駆動プーリ 478 と駆動ベルト 480 との間で滑が発生すると、駆動ベルト 480 が第一駆動モータ 477 の回転に関係なく、第一昇降部材 470 及び第一装飾可動体 430 の重量によって回転してしまい、第一昇降部材 470 が下降することとなり、第一昇降部材 470 を良好に上下動させることができなくなる。そこで、テンション機構 493 による付勢力を大きくすることで、駆動プーリ 478 と駆動ベルト 480 との滑りを防止することが考えられるが、付勢力を大きくすると、テンション機構 493 だけでなく、駆動プーリ 478、従動プーリ 479、駆動ベルト 480、及び第一ベース 475 等の強度を高くする必要があり、第一装飾可動体駆動ユニット 450 のコストが高くなる問題が発生することとなり、本例のように、駆動プーリ 478 を上側に、従動プーリ 479 を下側に夫々配置することが望ましい。

【0243】

本例の第一装飾可動体駆動ユニット 450 では、また、第一ベース 475 に、第一上部支持部材 472 と第一下部支持部材 473 の取付位置を位置決めするための支持面 509 に位置決め孔 510 が穿設されていると共に、第一上部支持部材 472 及び第一下部支持部材 473 の第一ベース 475 との当接部には、位置決め孔 510 と嵌合する位置決め突起 511 が夫々形成されている。これにより、第一ベース 475 の位置決め孔 510 に、対応する第一上部支持部材 472 及び第一下部支持部材 473 の位置決め突起 511 を嵌合させた上で、夫々を第一ベース 475 に固定することで、第一上部支持部材 472 及び第一下部支持部材 473 を所定位置に正確に位置させることができ、案内レール 471、駆動プーリ 478、及び従動プーリ 479 等の組立精度を高精度且つ容易に組み立てられるようになっている。なお、第一ベース 475 の取付当接面 474 には、遊技盤ベース 212 に取付固定するための取付孔 512 が穿設されている。

【 0 2 4 4 】

この第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 では、図示するように、その第一ベース 4 7 5 の取付当接面 4 7 4 が、第一ベース 4 7 5 の上部に備えられており、遊技盤ベース 2 1 2 に対して、第一ベース 4 7 5 の上部のみが取付固定されるようになっている。これにより、遊技盤ベース 2 1 2 への取付箇所を少なくすることができ、組立コストを低減させることができるようになっている。また、第一ベース 4 7 5 の上部で遊技盤ベース 2 1 2 に固定するようにしている、つまり、第一ベース 4 7 5 にかかる重量の重心よりも上側で固定しているので、仮に第一ベース 4 7 5 がその取付当接面 4 7 4 を中心として左右に振れても、その重心にかかる重力により元の位置に復帰しようとするので第一ベース 4 7 5 をその上部のみで固定しても、第一ベース 4 7 5 を良好な状態で固定することができるようになっている。即ち、第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 を、遊技盤ベース 2 1 2 に良好に取付固定できるようになっている。

10

【 0 2 4 5 】

次に、第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 の第一昇降部材 4 7 0 は、第一装飾可動体 4 3 0 が取付支持される棒状の支持シャフト 5 3 0 と、支持シャフト 5 3 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 1 と、案内レール 4 7 1 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 2 と、案内レール 4 7 1 を挿通可能な挿通孔 5 3 3 を有し案内レール 4 7 1 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 2 を上下方向に所定間隔離れて位置させると共に、支持シャフト 5 3 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 1 を左右方向に所定間隔離れて位置させることの可能な本体部 5 3 4 と、本体部 5 3 4 の後側に配置され本体部 5 3 4 と協働して案内レール 4 7 1 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 2 及び支持シャフト 5 3 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 1 の位置を固定するブッシュ固定部材 5 3 5 とを備えている。

20

【 0 2 4 6 】

この第一昇降部材 4 7 0 の本体部 5 3 4 には、その挿通孔 5 3 3 の両端に案内レール 4 7 1 に挿通される支持ブッシュ 5 3 2 を嵌合可能な段付凹部 5 3 6 が形成されていると共に、挿通孔 5 3 3 の内径は案内レール 4 7 1 が接触しない径とされ、挿通孔 5 3 3 と案内レール 4 7 1 との間には所定寸法のクリアランスが形成されるようになっている。また、本体部 5 3 4 には、支持シャフト 5 3 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 1 を嵌合可能な半円筒状の嵌合凹部 5 3 7 が、左右方向に所定距離離れて対向するように形成されていると共に、対向する二つの嵌合凹部 5 3 7 の間には、半円筒状の収容部 5 3 8 が形成されており、支持ブッシュ 5 3 1 に挿通支持された支持シャフト 5 3 0 が本体部 5 3 4 と接触しないようになっている。

30

【 0 2 4 7 】

一方、第一昇降部材 4 7 0 のブッシュ固定部材 5 3 5 には、前側に延在された平面視略 U 字状の抜止片 5 3 9 が二つ形成されていると共に、これら抜止片 5 3 9 の距離が本体部 5 3 4 の挿通孔 5 3 3 の長さに対応した距離とされており、本体部 5 3 4 にブッシュ固定部材 5 3 5 を組み付けることで、二つの抜止片 5 3 9 によって挿通孔 5 3 3 の段付凹部 5 3 6 に嵌合された支持ブッシュ 5 3 2 が、段付凹部 5 3 6 から抜けるのを防止するようになっている。

【 0 2 4 8 】

また、ブッシュ固定部材 5 3 5 には、その前側の本体部 5 3 4 の二つの嵌合凹部 5 3 7 と対応する位置に、支持シャフト 5 3 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 5 3 1 を嵌合可能な半円筒状の嵌合凹部 5 4 0 が形成されていると共に、二つの嵌合凹部 5 4 0 の間には半円筒状の収容部 5 4 1 が形成されている。このブッシュ固定部材 5 3 5 の嵌合凹部 5 4 0 と本体部 5 3 4 の嵌合凹部 5 3 7 に夫々支持シャフト 5 3 0 に挿通される支持ブッシュ 5 3 1 を嵌合させ上で、本体部 5 3 4 にブッシュ固定部材 5 3 5 を組付固定することで、二つの支持ブッシュ 5 3 1 が所定距離離反した位置に固定支持されるようになっている。また、本体部 5 3 4 の収容部 5 3 8 とブッシュ固定部材 5 3 5 の収容部 5 4 1 とにより、二つの支持ブッシュ 5 3 1 の間では支持シャフト 5 3 0 との間に所定寸法のクリアランスが形成されるようになっている。

40

50

【 0 2 4 9 】

更に、ブッシュ固定部材 5 3 5 には、その後側に、下側の抜止片 5 3 9 よりも下方に延び、上下方向に延びる溝を有した延出部 5 4 2 が形成されている。この延出部 5 4 2 は、第一装飾可動体 4 3 0 の発光基板 4 5 7 に接続される複数の配線コードを保持するものである。

【 0 2 5 0 】

上述のように、本体部 5 3 4 にブッシュ固定部材 5 3 5 を組み付けることで、各支持ブッシュ 5 3 1 , 5 3 2 が所定の位置に固定支持されると共に、夫々二つの支持ブッシュ 5 3 2 及び支持ブッシュ 5 3 1 によって、案内レール 4 7 1 及び支持シャフト 5 3 1 が相対回転可能且つそれらの軸方向に相対摺動可能に支持されるようになっている。なお、本体部 5 3 4 の挿通孔 5 3 3 の長さは、案内レール 4 7 1 に案内される第一昇降部材 4 7 0 が他の部材に支障を来たさない最大の長さとしてされており、これによって、二つの支持ブッシュ 5 3 2 の距離を可及的に長くすることができ、案内レール 4 7 1 に対する第一昇降部材 4 7 0 のガタツキを小さくすることができるようになっている。

【 0 2 5 1 】

本例の第一昇降部材 4 7 0 には、本体部 5 3 4 に取付けられ前後方向に進退可能なプランジャ 5 5 0 を有した第一装飾可動体ソレノイド 5 5 1 と、一端が第一装飾可動体ソレノイド 5 5 1 におけるプランジャ 5 5 0 先端の鏝部 5 5 2 に係止され他端が支持シャフト 5 3 1 に一体回転可能に固定される回動伝達部材 5 5 3 とを更に備えている。この第一装飾可動体ソレノイド 5 5 1 は、支持シャフト 5 3 0 の下方で支持シャフト 5 3 0 とプランジャ 5 5 0 とが交差するような位置に配置されており、プランジャ 5 5 0 を進退させることで回動伝達部材 5 5 3 を介して支持シャフト 5 3 0 をその軸周りに所定角度範囲内で回動させることができるようになっている。なお、本体部 5 3 4 及びブッシュ固定部材 5 3 5 には、回動伝達部材 5 5 3 の一部を収容可能な収容窪部 5 5 4 が夫々形成されており、この収容窪部 5 5 4 に回動伝達部材 5 5 3 を収容させることで、回動伝達部材 5 5 3 の左右方向の移動を規制することができる、つまり、支持シャフト 5 3 0 の左右方向（その軸方向）の移動が規制されるようになっており、支持シャフト 5 3 0 が本体部 5 3 4 及びブッシュ固定部材 5 3 5 により固定支持された支持ブッシュ 5 3 1 から抜けなくなっている。

【 0 2 5 2 】

なお、第一昇降部材 4 7 0 の本体部 5 3 4 には、挿通孔 5 3 3 の前面側に駆動ベルト 4 8 0 を固定するベルト固定部 4 8 1 が取付けられていると共に、第一装飾可動体ソレノイド 5 5 1 が取付けられる取付部 5 5 5 の下側に第一回転防止手段 4 9 0 の案内部材 4 9 2 が取付けられている。また、図中符号 5 5 6 は、本体部 5 3 4 の前側に取付けられる装飾体である。

【 0 2 5 3 】

また、第一昇降部材 4 7 0 には、そのブッシュ固定部材 5 3 5 の後側に位置検出片 5 5 7 が設けられている。この位置検出片 5 5 7 は、装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 の所定位置に取付けられる第一装飾可動体位置検出センサ 5 5 8 に検出されるようになっており、本例では、第一昇降部材 4 7 0 が上側端に位置した時に、第一装飾可動体位置検出センサ 5 5 8 によって検出されるようになっている。

【 0 2 5 4 】

この第一昇降部材 4 7 0 は、図示するように、案内レール 4 7 1 を挿通する挿通孔 5 3 3 の左側に支持シャフト 5 3 0 を大きく延びださせて第一装飾可動体 4 3 0 を支持すると共に、挿通孔 5 3 3 の右側に第一装飾可動体ソレノイド 5 5 1 を配置して、挿通孔 5 3 3 を挟んで、第一昇降部材 4 7 0 の左右の重量バランスのアンバランスが少なくなるようになっており、案内レール 4 7 1 や支持ブッシュ 5 3 2 が偏摩耗するのを抑制するようにしている。

【 0 2 5 5 】

次に、第一装飾可動体ユニット 4 3 1 のユニット装飾体 4 5 1 は、図示するように、第

10

20

30

40

50

一装飾可動体駆動ユニット４５０の左側面に取付けられ、第一装飾可動体駆動ユニット４５０の案内レール４７１、従動プーリ４７９、駆動ベルト４８０、及びテンション機構４９３等が遊技盤５の前側から視認し難くなるように、それらを覆うと共に、表面の装飾により第一装飾可動体ユニット４３１を装飾するものである。このユニット装飾体４５１には、第一装飾可動体駆動ユニット４５０から延びる支持シャフト５３０が通過可能とされていると共に、支持シャフト５３０が上下方向に移動できるように、上下方向に延びた開口部５７０を備えている。

【０２５６】

本例の第一装飾可動体ユニット４３１は、第一駆動モータ４７７の回転駆動により、第一昇降部材４７０、つまり、第一装飾可動体４３０を上下方向に移動させることができると共に、第一装飾可動体ソレノイド５５１により第一装飾可動体４３０を前後方向に回転させることができるようになっている。

【０２５７】

また、本例の第一装飾可動体ユニット４３１は、第一昇降部材４７０の支持シャフト５３０に支持された第一装飾可動体４３０を、第一駆動モータ４７７の回転駆動により遊技盤５の面に略沿うように上下方向に移動させても、第一回転防止手段４９０により案内レール４７１の軸芯周りへの回転が防止されているので、第一装飾可動体４３０が不要に揺れるのを防止することができ、意図しない振れを抑制して所望の演出動作を確実に行わせることができ、興味が低下するのを防止することができると共に、第一装飾可動体４３０をより大きなものとするのが可能となり、第一装飾可動体４３０をより目立たせることができ、第一装飾可動体４３０による演出効果をより高められるようになっている。

【０２５８】

また、本例の第一装飾可動体ユニット４３１は、これにより、第一装飾可動体４３０が、第一駆動モータ４７７の回転駆動により案内レール４７１の延在する上下方向に移動すると共に、第一装飾可動体ソレノイド５５１により支持シャフト５３０の軸芯周りに回転することができ、第一装飾可動体４３０により複雑な動きをさせることができるので、可動体の動きを飽き難くすることができ、飽きにより興味が低下するのを防止することができるようになっていると共に、第一装飾可動体ソレノイド５５１におけるブランジャ５５０の進退方向を略水平方向（前後方向）としているので、ブランジャ５５０の進退にかかる重力の影響を可及的に少なくすることができ、ブランジャ５５０の進退を確実に行わせることで、第一装飾可動体４３０を確実に動かして所望の演出動作をさせることが可能となり、動きによる演出効果を充分に発揮させて、遊技者の興味が低下するのを防止することができるようになっている。

【０２５９】

更に、本例の第一装飾可動体ユニット４３１では、第一上部支持部材４７２及び第一下部支持部材４７３の素材が夫々樹脂とされていると共に、第一ベース４７５の素材が板金とされている。そして、樹脂からなる第一上部支持部材４７２及び第一下部支持部材４７３の大きさを可及的に小さくすることができるので、樹脂成形による歪を相対的に小さくすることができると共に、精度の高い板金からなる第一ベース４７５により第一上部支持部材４７２及び第一下部支持部材４７３を所定位置に位置決め支持しているので、案内レール４７１の支持精度を良好に維持することができる。つまり、案内レール４７１を長くしても案内レール４７１を所望の位置に支持して、案内レール４７１により第一昇降部材４７０を介して第一装飾可動体４３０を良好に誘導案内させることが可能となるので、第一装飾可動体４３０がより大きく動くようにすることができ、第一装飾可動体４３０の演出動作を認識し易くして、その演出動作により興味が低下するのを防止することができるようになっている。

【０２６０】

続いて、後装飾体２１６の第二装飾可動体ユニット４３３は、第一装飾可動体４３０の所定のキャラクタの下顎部分を造形した第二装飾可動体４３２と、第二装飾可動体を上下方向に移動させると共に遊技盤５の左右方向に延びる軸周りに回転させ、遊技盤ベース２

12の後面側に取り付固定される第二装飾可動体駆動ユニット610と、第二装飾可動体駆動ユニット610に取り付けて装飾するユニット装飾体611とを備えている。

【0261】

この第二装飾可動体ユニット433の第二装飾可動体432は、所定のキャラクタの唇と下歯が造形された第二装飾可動体本体612と、第二装飾可動体本体612の顎内に配置されると共に所定のキャラクタの舌として造形され透光性を有した舌部材613と、舌部材613と第二装飾可動体本体612との間に配置され舌部材613に向かって光を照射するように複数のLED614を有した発光基板615と、発光基板615と舌部材613との間に配置され第二装飾可動体駆動ユニット610に支持されると共に発光基板615からの光を拡散させるレンズ部616を有したベース部材617とを備えている。

10

【0262】

この第二装飾可動体432は、発光基板615のLED614が発光することで、その舌部材613が光るようになっている。

【0263】

また、第二装飾可動体432には、そのベース部材617に第二装飾可動体駆動ユニット610に固定支持されるための固定部618が備えられており、この固定部618により第二装飾可動体432が第二装飾可動体駆動ユニット610に支持されるようになっている。

【0264】

次に、第二装飾可動体駆動ユニット610は、第二装飾可動体432を支持し第二装飾可動体432と共に上下方向に昇降する第二昇降部材630と、第二昇降部材630を上下方向に案内する案内レール631と、案内レール631の上端部を支持する第二上部支持部材632と、案内レール631の下端部を支持する第二下部支持部材633と、第二上部支持部材632及び第二下部支持部材633を上下方向に所定距離離間して支持すると共に遊技盤ベース212の後面側と当接する取付当接面634を有し板金を屈曲形成した第二ベース635と、第二ベース635の第二上部支持部材632の反対側に配置され第二ベース635及び第二上部支持部材632を貫通してその回転する駆動軸636が突出する第二駆動モータ637と、第二駆動モータ637の駆動軸636の回転に伴って回転する駆動プーリ638と、駆動プーリ638と対となるように第二下部支持部材633の近傍に配置される従動プーリ639と、駆動プーリ638と従動プーリ639とに巻き掛けられる駆動ベルト640と、駆動ベルト640の一部を第二昇降部材630と連結固定するベルト固定部641とを備えている。

20

30

【0265】

なお、本例では、第二駆動モータ637による駆動プーリ638の回転駆動は、第二駆動モータ637の駆動軸636に固定された駆動ギヤ642の回転が、駆動ギヤ642の略下側に配置され駆動ギヤ642と噛合し駆動プーリ638と一体に回転する伝達ギヤ643に伝達されることで駆動プーリ638が回転駆動するようになっている。また、駆動ベルト640の内周面には全周に亘って所定間隔で係合歯644が設けられていると共に、駆動プーリ638には係合歯644と係合する被係合歯645が歯車状に設けられており、被係合歯645と係合歯644との係合により駆動プーリ638の回転駆動が確実に駆動ベルト640に伝達されるようになっている。なお、従動プーリ639は、被係合歯のない平プーリとされている。

40

【0266】

この第二装飾可動体駆動ユニット610には、第二昇降部材630が案内レール631の延びる軸方向周りに回転するのを防止するための第二回転防止手段650が更に備えられている。この第二回転防止手段650は、第二上部支持部材632及び第二下部支持部材633にその上端及び下端が支持されると共に案内レール631と略平行に配置される案内ロッド651と、左右方向から案内ロッド651に当接可能とされ第二昇降部材630に取り付けられる案内部材652とを備えている。この第二回転防止手段650は、図示するように、案内ロッド651が案内レール631の後側に所定距離離れて配置されて

50

いると共に、断面が略コ字状とされた案内部材 6 5 2 が案内ロッド 6 5 1 の左右側の何れかに当接することで、第二昇降部材 6 3 0 が案内レール 6 3 1 の軸芯周りに回転するのを良好に防止することができるようになっている。

【0267】

なお、本例では、案内レール 6 3 1 及び案内ロッド 6 5 1 は、共に金属製の丸棒とされており、案内レール 6 3 1 の表面には摺動抵抗を低減させるための摩擦低減層が形成されている。この摩擦低減層は、例えば、フッ素系樹脂としてポリテトラフルオロエチレン (P T F E , (例 えば、テフロン (登 録 商 標))) が所定の厚さでコーティングされており、これにより、案内レール 6 3 1 により案内される第二昇降部材 6 3 0 の動摩擦抵抗の値と静摩擦抵抗の値とを可及的に近づけることができ、静止した第二昇降部材 6 3 0 が移動を開始する際に滑らかに移動開始させることができると共に、案内レール 6 3 1 等の摩擦を低減させて耐久性を向上させることができるようになっている。また、案内ロッド 6 5 1 の表面は、クロムメッキが施されており、錆び等の腐食を防止して耐久性を高めると共に、案内レール 6 3 1 よりは安価なものとなりコストが増加するのを防止することができるようになっている。

【0268】

また、第二装飾可動体駆動ユニット 6 1 0 には、駆動ベルト 6 4 0 に所定の張力を付与するテンション機構 6 5 3 を更に備えている。このテンション機構 6 5 3 は、第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 に備えられたテンション機構 4 9 3 と同じ機構であり、案内レール 6 3 1 に案内されると共に従動プーリ 6 3 9 を回転可能に支持する移動体 6 5 4 と、一端が移動体 6 5 4 に他端が第二ベース 6 3 5 に取付けられ移動体 6 5 4 を下方に付勢するテンションバネ 6 5 5 とを備えている。

【0269】

このテンション機構 6 5 3 の移動体 6 5 4 は、案内レール 6 3 1 を挿通する案内孔 6 5 6 と、下方に開放され従動プーリ 6 3 9 の両端から突出する軸部 6 5 7 を係止するフック状の係止部 6 5 8 と、案内孔 6 5 6 と係止部 6 5 8 との間に配置されテンションバネ 6 5 5 の一端を取付けるバネ取付部 6 5 9 とを備えている。これにより、従動プーリ 6 3 9 に駆動ベルト 6 4 0 を巻き掛けた状態で、従動プーリ 6 3 9 を移動体 6 5 4 に支持させることができ、組立が容易にできるようになっている。また、案内孔 6 5 6 と従動プーリ 6 3 9 の軸部 6 5 7 を係止する係止部 6 5 8 との間でテンションバネ 6 5 5 により駆動ベルト 6 4 0 を引張るようにしているので、案内レール 6 3 1 の軸に対して案内孔 6 5 6 の軸が大きく傾くのを防止ことができ、案内レール 6 3 1 における移動体 6 5 4 の摺動抵抗が増加するのを抑制し、移動体 6 5 4 がスムーズに移動できるようになっていると共に、移動体 6 5 4 の姿勢が大きく変化するのを防止して駆動ベルト 4 8 0 に良好にテンションがかかるようになっている。

【0270】

この第二装飾可動体駆動ユニット 6 1 0 は、図示するように、駆動プーリ 6 3 8 が上側に、従動プーリ 6 3 9 が下側に夫々配置されていると共に、駆動プーリ 6 3 8 と従動プーリ 6 3 9 とに巻き掛けられる駆動ベルト 6 4 0 が、従動プーリ 6 3 9 を介してテンション機構 6 5 3 により下方に付勢されるようになっている。また、駆動ベルト 6 4 0 に第二昇降部材 6 3 0 が固定されているので、第二昇降部材 6 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 の重量が駆動ベルト 6 4 0 にかかり、駆動ベルト 6 4 0 の一方側のみに下方に引張る力が作用するようになっていると共に、第二昇降部材 6 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 の重量により駆動ベルト 6 4 0 が駆動プーリ 6 3 8 に強く巻き掛けられるようになっている。

【0271】

一方、上側の駆動プーリ 6 3 8 には、駆動ベルト 6 4 0 の係合歯 6 4 4 と係合する被係合歯 6 4 5 が備えられており、第二昇降部材 6 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 の重量によって駆動ベルト 6 4 0 が駆動プーリ 6 3 8 に強く巻き掛けられることで駆動ベルト 6 4 0 の係合歯 6 4 4 と駆動プーリ 6 3 8 の被係合歯 6 4 5 との係合がより強くなると共に、第二駆動モータ 6 3 7 による駆動プーリ 6 3 8 の回転が阻止されることで、駆動ベルト 6 4

0の回転が阻止され、第二昇降部材630及び第二装飾可動体432の重量が駆動ベルト640を介して駆動プーリ638に支持されることとなり、第二昇降部材630及び第二装飾可動体432の重量が下側の従動プーリ639やテンション機構653にかからないようになっている。これにより、テンション機構653に余分な負荷をかけることなく良好に第二昇降部材630等を上下動させることができると共に、テンション機構653による付勢力を最小限のものとしてテンション機構653等にかかるコストを低減させることができるようになっている。

【0272】

ところで、駆動プーリ638と従動プーリ639及びテンション機構653の上下配置を逆にした場合、第二昇降部材630及び第二装飾可動体432の重量が駆動ベルト640を介して従動プーリ639にかかるが、従動プーリ639には、駆動ベルト640の係合歯644と係合する被係合歯645が備えられておらず、また、従動プーリ639は自由回転するようになっているので、従動プーリ639により第二昇降部材630及び第二装飾可動体432の重量を支持することができず、第二昇降部材630が降下すると共に、駆動ベルト640が所定方向に回転することとなる。また、下側の駆動プーリ638では駆動ベルト640が第二昇降部材630及び第二装飾可動体432の重量により下方に引張られるので、駆動プーリ638での駆動ベルト640の巻き掛け力が弱くなる。つまり、駆動ベルト640の係合歯644と駆動プーリ638の被係合歯645との係合が弱くなり、互いに滑り易くなる。

【0273】

そして、駆動プーリ638と駆動ベルト640との間で滑が発生すると、駆動ベルト64が第二駆動モータ637の回転に関係なく、第二昇降部材630及び第二装飾可動体432の重量によって回転してしまい、第二昇降部材630が下降することとなり、第二昇降部材630を良好に上下動させることができなくなる。そこで、テンション機構653による付勢力を大きくすることで、駆動プーリ638と駆動ベルト640との滑りを防止することが考えられるが、付勢力を大きくすると、テンション機構653だけでなく、駆動プーリ638、従動プーリ639、駆動ベルト640、及び第二ベース635等の強度を高くする必要があり、第二装飾可動体駆動ユニット433のコストが高くなる問題が発生することとなり、本例のように、駆動プーリ638を上側に、従動プーリ639を下側に夫々配置することが望ましい。

【0274】

本例の第二装飾可動体駆動ユニット610では、また、第二ベース635に、第二上部支持部材632と第二下部支持部材633の取付位置を位置決めするための支持面669位置決め孔670が穿設されていると共に、第二上部支持部材632及び第二下部支持部材633の第二ベース635との当接部には、位置決め孔670と嵌合する位置決め突起671が夫々形成されている。これにより、第二ベース635の位置決め孔670に、対応する第二上部支持部材632及び第二下部支持部材633の位置決め突起671を嵌合させた上で、夫々を第二ベース635に固定することで、第二上部支持部材632及び第二下部支持部材633を所定位置に正確に位置させることができ、案内レール631、駆動プーリ638、及び従動プーリ639等の組立精度を高精度且つ容易に組み立てられるようになっている。なお、第二ベース635の取付当接面634には、遊技盤ベース212に取付固定するための取付孔672が穿設されている。

【0275】

この第二装飾可動体駆動ユニット610では、図示するように、その第二ベース635の取付当接面634が、第二ベース635の上部に備えられており、遊技盤ベース212に対して、第二ベース635の上部のみが取付固定されるようになっている。これにより、遊技盤ベース212への取付箇所を少なくすることができ、組立コストを低減させることができるようになっている。また、第二ベース635の上部で遊技盤ベース212に固定するようにしている、つまり、第二ベース635にかかる重量の重心よりも上側で固定しているので、仮に第二ベース635がその取付当接面634を中心として左右に振れて

も、その重心にかかる重力により元の位置に復帰しようとするので、第二ベース 6 3 5 をその上部のみで固定しても、第二ベース 6 3 5 を良好な状態で固定することができるようになっている。即ち、第二装飾可動体駆動ユニット 6 1 0 を、遊技盤ベース 2 1 2 に良好に取付固定できるようになっている。

【0276】

次に、第二装飾可動体駆動ユニット 6 1 0 の第二昇降部材 6 3 0 は、第二装飾可動体 4 3 2 が取付支持される棒状の支持シャフト 6 9 0 と、支持シャフト 6 9 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 1 と、案内レール 6 3 1 に挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 2 と、案内レール 6 3 1 を挿通可能な挿通孔 6 9 3 を有し案内レールに挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 2 を上下方向に所定間隔離れて位置させると共に、支持シャフト 6 9 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 1 を左右方向に所定間隔離れて位置させることの可能な本体部 6 9 4 と、本体部 6 9 4 の後側に配置され本体部 6 9 4 と協働して案内レール 6 3 1 に挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 2 及び支持シャフト 6 9 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 1 の位置を固定するブッシュ固定部材 6 9 5 とを備えている。

【0277】

この第二昇降部材 6 3 0 の本体部 6 9 4 には、その挿通孔 6 9 3 の両端に案内レール 6 3 1 に挿通される支持ブッシュ 6 9 2 を嵌合可能な段付凹部 6 9 6 が形成されていると共に、挿通孔 6 9 3 の内径は案内レール 6 3 1 が接触しない径とされ、挿通孔 6 9 3 と案内レール 6 3 1 との間には所定寸法のクリアランスが形成されるようになっている。また、本体部 6 9 4 には、支持シャフト 6 9 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 1 を嵌合可能な半円筒状の嵌合凹部 6 9 7 が、左右方向に所定距離離れて対向するように形成されていると共に、対向する二つの嵌合凹部 6 9 7 の間には、半円筒状の収容部 6 9 8 が形成されており、支持ブッシュ 6 9 1 に挿通支持された支持シャフト 6 9 0 が本体部 6 9 4 と接触しないようになっている。

【0278】

一方、第二昇降部材 6 3 0 のブッシュ固定部材 6 9 5 には、前側に延在された平面視略 U 字状の抜止片 6 9 9 が二つ形成されていると共に、これら抜止片 6 9 9 の距離が本体部 6 9 4 の挿通孔 6 9 3 の長さに対応した距離とされており、本体部 6 9 4 にブッシュ固定部材 6 9 5 を組み付けることで、二つの抜止片 6 9 9 によって挿通孔 6 9 3 の段付凹部 6 9 6 に嵌合された支持ブッシュ 6 9 2 が、段付凹部 6 9 6 から抜けるのを防止するようになっている。

【0279】

また、ブッシュ固定部材 6 9 5 には、その前側の本体部 6 9 4 の二つの嵌合凹部 6 9 7 と対応する位置に、支持シャフト 6 9 0 に挿通される二つの支持ブッシュ 6 9 1 を嵌合可能な半円筒状の嵌合凹部 7 0 0 が形成されていると共に、二つの嵌合凹部 7 0 0 の間には半円筒状の収容部 7 0 1 が形成されている。このブッシュ固定部材 6 9 5 の嵌合凹部 7 0 0 と本体部 6 9 4 の嵌合凹部 6 9 7 に夫々支持シャフト 6 9 0 に挿通される支持ブッシュ 6 9 1 を嵌合させ上で、本体部 6 9 4 にブッシュ固定部材 6 9 5 を組付固定することで、二つの支持ブッシュ 6 9 1 が左右方向に所定距離離反した位置に固定支持されるようになっている。また、本体部 6 9 4 の収容部 6 9 8 とブッシュ固定部材 6 9 5 の収容部 7 0 1 とにより、二つの支持ブッシュ 6 9 1 の間では支持シャフト 6 9 0 との間に所定寸法のクリアランスが形成されるようになっている。

【0280】

上述のように、本体部 6 9 4 にブッシュ固定部材 6 9 5 を組み付けることで、各支持ブッシュ 6 9 2 , 6 9 1 が所定の位置に固定支持されると共に、夫々二つの支持ブッシュ 6 9 2 及び支持ブッシュ 6 9 1 によって、案内レール 6 3 1 及び支持シャフト 6 9 0 が相対回転可能且つそれらの軸方向に相対摺動可能に支持されるようになっている。なお、本体部 6 9 4 の挿通孔 6 9 3 の長さは、案内レール 6 3 1 に案内される第二昇降部材 6 3 0 が他の部材に支障を来たさない最大の長さとしてされており、これによって、二つの支持ブッシュ 6 9 2 の距離を可及的に長くすることができ、案内レール 6 3 1 に対する第二昇降部材

630のガタツキを小さくすることができるようになっている。

【0281】

本例の第二昇降部材630には、ブッシュ固定部材695に取付けられ上下方向に進退可能なプランジャ710を有した第二装飾可動体ソレノイド711と、第二装飾可動体ソレノイド711におけるプランジャ710の進退により支持シャフト690を回動させるリンク機構712とを更に備えている。この第二装飾可動体ソレノイド711は、プランジャ710の先端に鍔部713が形成されていると共に、プランジャ710を前進させる方向に付勢するバネ714が備えられており、本例では、プランジャ710が第二装飾可動体ソレノイド711の下側から上下方向に進退するようになっている。

【0282】

また、リンク機構712は、前後方向に延びるように配置され一端側（後側）がブッシュ固定部材695に回転可能に支持され、一端側と他端側との間に第二装飾可動体ソレノイド711におけるプランジャ710先端の鍔部713に係止する係止部715を有すると共に、他端側に長孔からなる連結部716を有した第一棹部材717と、第一棹部材717の連結部716と連結する被連結部718が一端側に形成され他端側が支持シャフト690に固定される第二棹部材719とから構成されている。この第一棹部材717は、その一端側が、支持シャフト690の後側に配置された第二装飾可動体ソレノイド711のプランジャ710よりも更に後側の位置でブッシュ固定部材695に軸支されると共に、他端側が支持シャフト690よりも前側に位置するように配置されている。なお、支持シャフト690は、その端部にリンク機構712の第二棹部材719が固定されることで、軸方向への移動が阻止されて、支持ブッシュ691から抜けなくなっている。

【0283】

この第二装飾可動体ユニット433では、リンク機構712によって、第二装飾可動体ソレノイド711のプランジャ710を前進（突出）させると、リンク機構712及び支持シャフト690を介して第二装飾可動体432の先端（前側）が上がるように回動し、プランジャ710を後退（没入）させると、リンク機構712及び支持シャフト690を介して第二装飾可動体の先端が下がるように回動するようになっている。

【0284】

なお、第二昇降部材630の本体部694には、挿通孔693の前面側に駆動ベルト640を固定するベルト固定部641が取付けられていると共に、挿通孔693の後面側にブッシュ固定部材695を挟んで第二回転防止手段650の案内部材652が取付けられている。また、図中符号730は、本体部694の前側に取付けられる装飾体である。

【0285】

また、第二昇降部材630には、そのブッシュ固定部材695の正面視左側に位置検出片731が設けられていると共に、第二下部支持部材633の所定位置には位置検出片731を検出可能な第二装飾可動体位置検出センサ732が取付けられている。本例では、第二昇降部材630が下側端に位置した時に、第二装飾可動体位置検出センサ732によって第二昇降部材630の位置検出片731が検出されるようになっている。

【0286】

この第二昇降部材630は、図示するように、案内レール631を挿通する挿通孔693の正面視右側に支持シャフト690を大きく延びださせて第二装飾可動体432を支持すると共に、挿通孔693の左側に第二装飾可動体ソレノイド711を配置して、挿通孔693を挟んで、第二昇降部材630の左右の重量バランスのアンバランスが少なくなるようになっており、案内レール631や支持ブッシュ692が偏摩耗するのを抑制するようにしている。

【0287】

次に、第二装飾可動体ユニット433のユニット装飾体611は、図示するように、第二装飾可動体駆動ユニット610の正面視右側面に取り付けられ、第二装飾可動体駆動ユニット610の案内レール631、駆動プーリ638、従動プーリ639、駆動ベルト640、及びテンション機構653等が遊技盤5の前側から視認し難くなるように、それらを

10

20

30

40

50

覆うと共に、表面の装飾により第二装飾可動体ユニット４３３を装飾するものである。このユニット装飾体６１１には、第二装飾可動体駆動ユニット６１０から延びる支持シャフト６９０が通過可能とされていると共に、支持シャフト５９０が上下方向に移動できるように、上下方向に延びた開口部７３３を備えている。

【０２８８】

本例の第二装飾可動体ユニット４３３は、第二駆動モータ６３７の回転駆動により、第二昇降部材６３０、つまり、第二装飾可動体４３２を上下方向に移動させることができると共に、第二装飾可動体ソレノイド７１１により第二装飾可動体４３２の先端を上下方向に回転させることができるようになっている。

【０２８９】

また、本例の第二装飾可動体ユニット４３３は、第二昇降部材６３０の支持シャフト６９０に支持された第二装飾可動体４３２を、第二駆動モータ６３７の回転駆動により遊技盤５の面に略沿うように上下方向に移動させても、第二回転防止手段６５０により案内レール６３１の軸芯周りへの回転が防止されているので、第二装飾可動体４３２が不要に揺れるのを防止することができ、意図しない振れを抑制して所望の演出動作を確実に行わせることができ、興味が低下するのを防止することができると共に、第二装飾可動体４３２をより大きなものとするのが可能となり、第二装飾可動体４３２をより目立たせることができ、第二装飾可動体４３２による演出効果をより高められるようになっている。

【０２９０】

また、本例の第二装飾可動体ユニット４３３は、第二装飾可動体４３２が、第二駆動モータ６３７の回転駆動により案内レール６３１の延在する上下方向に移動すると共に、第二装飾可動体ソレノイド７１１により支持シャフト６９０の軸芯周りに回転することができ、第二装飾可動体４３２により複雑な動きをさせることができるので、第二装飾可動体４３２の動きを飽き難くすることができ、飽きにより興味が低下するのを防止することができるようになっている。

【０２９１】

また、第二装飾可動体ソレノイド７１１におけるブランジャ７１０の進退方向を略上下方向としているので、支持シャフト６９０の延出方向の寸法が全体的に長くなったり、支持シャフト６９０と第二装飾可動体ソレノイド７１１との重なりが大きくなったりして、パチンコ機１に備える際に支持シャフト６９０に支持される第二装飾可動体４３２の大きさが相対的に小さくなり、第二装飾可動体４３２が目立ち難くなるのを防止することが可能となり、第二装飾可動体４３２を可及的に大型化することができ、第二装飾可動体４３２によるインパクトを高めて、興を高められる効果を期待することができるようになっている。また、支持シャフト６９０の軸直角方向の寸法が大きくなるのを抑制することができるので、他の部材と緩衝し難くすることが可能となり、容易にパチンコ機１に備えることができるようになっている。

【０２９２】

更に、本例の第二装飾可動体ユニット４３３では、第二上部支持部材６３２及び第二下部支持部材６３３の素材が夫々樹脂とされていると共に、第二ベース６３５の素材が板金とされている。そして、樹脂からなる第二上部支持部材６３２及び第二下部支持部材６３３の大きさを可及的に小さくすることができるので、樹脂成形による歪を相対的に小さくすることができると共に、精度の高い板金からなる第二ベース６３５により第二上部支持部材６３２及び第二下部支持部材６３３を所定位置に位置決め支持しているので、案内レール６３１の支持精度を良好に維持することができる。つまり、案内レール６３１を長くしても案内レール６３１を所望の位置に支持して、案内レール６３１により第二昇降部材６３０を介して第二装飾可動体４３２を良好に誘導案内させることが可能となるので、第二装飾可動体４３２がより大きく動くようにすることができ、第二装飾可動体４３２の演出動作を認識し易くして、その演出動作により興味が低下するのを防止することができるようになっている。

【０２９３】

また、本例の第二装飾可動体ユニット４３３では、案内レール６３１と案内ロッド６５１との内側の位置で第二昇降部材６３０に第二装飾可動体４３２を支持シャフト６９０を介して保持するようにしているので、これにより、第二昇降部材６３０が案内レール６３１と案内ロッド６５１との外側で第二装飾可動体４３２を保持する場合と比較して、案内レール６３１と案内ロッド６５１とが並んだ方向の幅が長くなるのを抑制することが可能となり、全体として小型化することができ、パチンコ機１に備え易くして、より興趣の高められるパチンコ機１とすることができるようになっている。

【０２９４】

なお、本例の第一装飾可動体４３０及び第二装飾可動体４３２が本発明の第一可動体及び第二可動体に、本例の第一装飾可動体駆動ユニット４５０及び第二装飾可動体駆動ユニット６１０が本発明の第一駆動ユニット及び第二駆動ユニットに夫々相当している。また、本例の第一昇降部材４７０及び第二昇降部材６３０が本発明の被誘導部材に、また、本例の案内レール４９１及び案内レール６３１が本発明の誘導部材に夫々相当している。また、本例の第一上部支持部材４７２及び第二上部支持部材６３２が本発明の第一支持部材に、本例の第一下部支持部材４７３及び第二下部支持部材６３３が本発明の第二支持部材に、本例の第一ベース４７５及び第二ベース６３５が本発明のベースに夫々相当している。更に、本例の第一駆動モータ４７７及び第二駆動モータ６３７が本発明の回転駆動手段に、本例のテンションパネ４９５，６５５が本発明の付勢手段に夫々相当している。

【０２９５】

また、本例の第一回転防止手段４９０及び第二回転防止手段６５０が本発明の回転防止手段に、本例の案内ロッド４９１，６５１が本発明のガイド部材に、本例の案内部材４９２，６５２が本発明の被ガイド部材に夫々相当している。また、本例の支持ブッシュ５３２，６９２が本発明の摺動部材に、本例の第一装飾可動体ソレノイド５５１及び第二装飾可動体ソレノイド７１１が本発明のソレノイドに、本例の回動伝達部材５５３及びリンク機構７１２が本発明の伝達手段に夫々相当している。

【０２９６】

続いて、装飾可動体ユニットカバー４３５は、第一装飾可動体ユニット４３１及び第二装飾可動体ユニット４３３を取付固定するための取付部７５０が複数備えられており、この取付部７５０は、夫々ビス孔と位置決めボスとから構成されている。一方、第一装飾可動体ユニット４３１の第一ベース４７５、及び第二装飾可動体ユニット４３３の第二ベース６３５の対応する位置には、ビス挿通孔と位置決め孔とが夫々形成されており、取付部７５０の位置決めボスを、第一ベース４７５又は第二ベース６３５の対応する位置決め孔に嵌合させることで、取付部７５０のビス孔と第一ベース４７５又は第二ベース６３５のビス挿通孔とが略一致するようになり、第一ベース４７５又は第二ベース６３５のビス挿通孔を貫通するように前側からビスをビス孔にねじ込むことで、装飾可動体ユニットカバー４３５の所定位置に第一装飾可動体ユニット４３１及び第二装飾可動体ユニット４３３が取付けられるようになっている。

【０２９７】

また、装飾可動体ユニットカバー４３５には、遊技盤ベース２１２の後面と当接し、ビスを挿通可能なビス孔７５１を有した当接面７５２が複数形成されており、この当接面７５２を遊技盤ベース２１２の後面に当接させた上で、図示しないビスを当接面７５２の後側からビス孔７５１を介して遊技盤ベース２１２にねじ込むことで装飾可動体ユニットカバー４３５を遊技盤ベース２１２に取付けられるようになっている。

【０２９８】

なお、本例の装飾可動体ユニットカバー４３５は、第一装飾可動体ユニット４３１及び第二装飾可動体ユニット４３３を取付けた状態では、それらの第一ベース４７５及び第二ベース６３５における取付当接面４７４，６３４の取付孔５１２，６７２が、装飾可動体ユニットカバー４３５の外周よりも外側に位置するようになっている。これにより、第一装飾可動体ユニット４３１及び第二装飾可動体ユニット４３３は、装飾可動体ユニットカバー４３５に取付けられた状態で、それらの第一ベース４７５及び第二ベース６３５の取

付孔 5 1 2 , 6 7 2 を介して図示しないビスにより直接遊技盤ベース 2 1 2 の後面側に取り付けられるようになっている。

【 0 2 9 9 】

また、装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 には、第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 及び第二装飾可動体駆動ユニット 6 1 0 の後側と対向する所定の位置に、配線保持手段 7 7 0 が夫々備えられている。この配線保持手段 7 7 0 は、第一昇降部材 4 7 0 に支持される発光基板 4 5 7、及び第二昇降部材 6 3 0 に支持される発光基板 6 1 5 と接続される複数の配線コード 7 7 1 の所定位置に固定された配線バンド 7 7 2 を保持して、第一昇降部材 4 7 0 や第二昇降部材 6 3 0 が上下動する際に、それらの発光基板 4 5 7 , 6 1 5 に接続された配線コード 7 7 1 が他の部材に絡まったり、挟まったりしないようにするためのものである。

10

【 0 3 0 0 】

この配線保持手段 7 7 0 は、具体的には、配線コード 7 7 1 の端部（先端部）に取付けられる接続コネクタが通過可能な貫通口からなるコネクタ通過部 7 7 3 と、コネクタ通過部 7 7 3 に隣接して設けられ配線コード 7 7 1 に固定された配線バンド 7 7 2 が通過不能且つ配線コード 7 7 1 のみが通過可能とされた第一通過部 7 7 4 と、第一通過部 7 7 4 に隣接して設けられ配線コード 7 7 1 に固定された配線バンド 7 7 2 が通過不能且つ配線コード 7 7 1 のみが通過可能とされた第二通過部 7 7 5 とから構成されている。これら第一通過部 7 7 4、及び第二通過部 7 7 5 は、細長いスリット状に形成されていると共に、互いに略平行となるように配置されている。

20

【 0 3 0 1 】

また、配線保持手段 7 7 0 には、第一通過部 7 7 4 と、第二通過部 7 7 5 とを連通すると共に、配線コード 7 7 1 が通過可能とされた連通部 7 7 6 と、連通部 7 7 6 に臨み第一通過部 7 7 4 と第二通過部 7 7 5 との間に配置され第一通過部 7 7 4 及び第二通過部 7 7 5 の開口面に対して略直角方向に突出する突出部 7 7 7 とを更に備えている。なお、本例では、連通部 7 7 6 は、配線コード 7 7 1 に固定された配線バンド 7 7 2 が通過可能な大きさとされていると共に、突出部 7 7 7 は、装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 の前側と後側の両側に、夫々突出するように備えられている。

【 0 3 0 2 】

この配線保持手段 7 7 0 は、所定の位置に配線バンド 7 7 2 が固定された配線コード 7 7 1 を、第一装飾可動体ユニット 4 3 1 及び第二装飾可動体ユニット 4 3 3 の配置される前側から、後側へそのコネクタ通過部 7 7 3 を通過するように挿通させる。続いて、挿通した配線コード 7 7 1 の配線バンド 7 7 2 よりも基端側を、連通部 7 7 6 を介して第一通過部 7 7 4 に、装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 の後側から前側へ通過させ、更に配線バンド 7 7 2 の先端側を、同じく連通部 7 7 6 を介して第二通過部 7 7 5 に、装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 の前側から後側に通過させる。そして、配線コード 7 7 1 に固定された配線バンド 7 7 2 を第一通過部 7 7 4 の開口部と当接（装飾可動体ユニットカバー 4 3 5 の前側と当接）させると共に、第一通過部 7 7 4 と第二通過部 7 7 5 との間で配線コード 7 7 1 が弛まないようにすることで、配線コード 7 7 1 をその基端側から引張っても、配線バンド 7 7 2 から先端側が動かないように保持することができるようになっている。

30

40

【 0 3 0 3 】

なお、配線保持手段 7 7 0 には、突出部 7 7 7 が備えられているので、スリット状の第一通過部 7 7 4 及び第二通過部 7 7 5 に沿って配線コード 7 7 1 が移動しても、突出部 7 7 7 によりその移動が規制されるので、配線コード 7 7 1 が連通部 7 7 6 を介して第一通過部 7 7 4 及び第二通過部 7 7 5 から外れるのを防止することができるようになっている。

【 0 3 0 4 】

[主基板及び周辺基板の機能的な構成について] 図 5 3 に基づき説明する。

図 5 3 は、制御構成を概略的に示すブロック図である。本例のパチンコ機 1 の制御は、大きく分けて主基板 8 1 0 のグループと周辺基板 8 1 1 のグループとで分担されており、

50

このうち主基板 8 1 0 のグループが遊技動作（入賞検出や当り判定、特別図柄表示、賞球払出等）を制御しており、周辺基板 8 1 1 のグループが演出動作（発光装飾や音響出力、液晶表示等）を制御している。

【0305】

主基板 8 1 0 は、主制御基板 9 4 と払出制御基板 1 3 3 とから構成されている。主制御基板 9 4 は、中央演算装置としての CPU 8 1 2、読み出し専用メモリとしての ROM 8 1 3、読み書き可能メモリとしての RAM 8 1 4 を備えている。CPU 8 1 2 は、ROM 8 1 3 に格納されている制御プログラムを実行することによりパチンコ機 1 で行われる各種遊技を制御したり、周辺基板 8 1 1 や払出制御基板 1 3 3 に出力するコマンド信号を作成したりする。RAM 8 1 4 には、主制御基板 9 4 で実行される種々の処理において生成される各種データや入力信号等の情報が一時的に記憶される。

10

【0306】

この主制御基板 9 4 には、通過検出センサ 2 3 9、第一始動口センサ 4 1 6、第二始動口センサ 3 5 8、大入賞口センサ 3 7 0、一般入賞口センサ 4 1 7（右一般入賞口センサ 4 1 7 a、左一般入賞口センサ 4 1 7 b）等からの検出信号が入力される。一方、主制御基板 9 4 は、始動口ソレノイド 3 5 2、アタッカソレノイド 3 7 2、特別図柄表示器 3 9 0、保留ランプ 3 9 1 等へ駆動信号を出力する。また、払出制御基板 1 3 3 は、中央演算装置としての CPU 8 1 5、読み出し専用メモリとしての ROM 8 1 6、読み書き可能メモリとしての RAM 8 1 7 を備えている。そして、払出制御基板 1 3 3 は、主制御基板 9 4 から入力したコマンド信号を処理し、球払出装置 1 2 5 に駆動信号を出力する。これにより、球払出装置 1 2 5 は、駆動信号に従って遊技球を払い出す。

20

【0307】

主制御基板 9 4 と払出制御基板 1 3 3 との間では、それぞれの入出力インタフェースを介して双方向通信が実施されており、例えば主制御基板 9 4 が賞球コマンドを送信すると、これに応じて払出制御基板 1 3 3 から主制御基板 9 4 に ACK 信号が返される。

【0308】

一方、周辺基板 8 1 1 には、副制御基板 9 2 を含むサブ統合基板 8 3 0 のほかに例えば複数の電飾制御基板 8 3 1、8 3 2 や波形制御基板 8 3 3 等が含まれる。上記の主制御基板 9 4 とサブ統合基板 8 3 0 との間では、それぞれの入出力インタフェースと入力インタフェースとの間で一方向だけの通信が行われており、主制御基板 9 4 からサブ統合基板 8 3 0 へのコマンドの送信はあっても、その逆は行われない。

30

【0309】

サブ統合基板 8 3 0 もまた、CPU 8 3 4 をはじめ ROM 8 3 5 や RAM 8 3 6 等の電子部品を有しており、これら電子部品によって所定の演出制御プログラムを実行することができる。サブ統合基板 8 3 0 とその他の電飾制御基板 8 3 1、8 3 2 や波形制御基板 8 3 3 との間では、それぞれの入出力インタフェースとの間で双方向に通信が行われる。

【0310】

1 つ目の電飾制御基板 8 3 1 には主にサイド装飾装置 5 2、主役物 2 1 3、遊技領域内装飾体 2 1 5、後装飾体 2 1 6 等に含まれる装飾ランプ 8 3 7 が接続されており、サブ統合基板 8 3 1 から電飾制御基板 8 3 1 に対して装飾ランプ 8 3 7 の点灯信号が送信されると、これを受けて電飾制御基板 8 3 1 が装飾ランプ 8 3 7 を点灯させる処理を行う。

40

【0311】

また、電飾制御基板 8 3 1 には、回転位置検出センサ 3 1 9、第一装飾可動体位置検出センサ 5 5 8、第二装飾可動体位置検出センサ 7 3 2 等からの検出信号が入力される。一方、電飾制御基板 8 3 1 は、可動装飾体駆動モータ 3 1 0、第一駆動モータ 4 7 7、第一装飾可動体ソレノイド 5 5 1、第二駆動モータ 6 3 7、第二装飾可動体ソレノイド 7 1 1 等へ駆動信号を出力する。この電飾制御基板 8 3 1 では、各検出センサ 3 1 9、5 5 8、7 3 2 からの検出信号に基づいて、各駆動モータ 3 1 0、4 7 7、6 3 7 の回転制御が行われる。

【0312】

50

一方、２つ目の電飾制御基板 ８３２には演出表示装置 ２１７とともに演出ランプ ８３８が接続されている。例えばサブ統合基板 ８３０から演出表示装置 ２１７に対する表示コマンドが電飾制御基板 ８３２に送信されると、これを受けて電飾制御基板 ８３２は実際に演出表示装置 ２１７を作動させる処理を行う。

【０３１３】

波形制御基板 ８３３は、音響出力としての可聴音波のほか、不可聴である超音波等の波形信号を生成・送受信する処理を実行している。例えば、サブ統合基板 ８３０から音響出力コマンドが波形制御基板 ８３３に送信されると、これを受けて波形制御基板 ８３３は上記のスピーカ １８，５７を駆動する処理を行う。このほかにも、波形制御基板 ８３３には超音波送受信装置 ８３９が接続されており、この超音波送受信装置 ８３９は、複数の台間で超音波による通信を可能とする。通常、ホールの島設備には複数台のパチンコ機 １が並べて設置されるが、超音波送受信装置 ８３９を装備しているパチンコ機 １同士の間では、相互に超音波通信が可能となる。この通信機能を用いて、複数のパチンコ機 １で演出動作をシンクロナイズさせたり、特定の台間で遊技情報の交換を行ったりすることができる。

【０３１４】

なお、電飾制御基板 ８３１，８３２、及び波形制御基板 ８３３にも、それぞれ中央演算装置としての CPU ８５０，８５１，８５２、読み出し専用メモリとしての ROM ８５３，８５４，８５５、及び読み書き可能メモリとしての RAM ８５６，８５７，８５８を備えている。

【０３１５】

[主役物及び後装飾体の動作について] 図 ５４乃至図 ５７、及び図 ６０、図 ６１に基づき説明する。

図 ５４は、主役物における可動装飾体が略垂直方向に回動した状態を示す遊技領域の正面図である。図 ５５は、図 ５４の状態から更に後装飾体の第一装飾可動体及び第二装飾可動体を可動させた状態を示す遊技領域の正面図である。図 ５６は、主役物における可動装飾体が略水平方向に回動した状態において、後装飾体の第一装飾可動体及び第二装飾可動体を可動させた状態を示す遊技領域の正面図である。図 ５７は、第一装飾可動体及び第二装飾可動体の可動範囲を示す説明図である。図 ６０は、主役物における可動装飾体が略水平方向に回動した後装飾体の第一装飾可動体及び第二装飾可動体を可動させた状態の別の状態を示す正面図である。

【０３１６】

まず、電飾制御基板 ８３１では、パチンコ機 １の電源投入時や、リセット時において、右可動装飾体 ２３４及び左可動装飾体 ２３５の回転位置を検出する左右の回転位置検出センサ ３１９の検出信号の受信の有無を確認し、回転位置検出センサ ３１９からの検出信号がなければ、右可動装飾体 ２３４及び左可動装飾体 ２３５が夫々水平状態となるような方向に左右の可動装飾体駆動モータ ３１０を回転駆動させて、各回転位置検出センサ ３１９から検出信号を受信すると、可動装飾体駆動モータ ３１０の回転を停止させる。これにより、右可動装飾体 ２３４及び左可動装飾体 ２３５は図 １０に示すような、略水平状態となる。

【０３１７】

その後、遊技状態の変化に伴って、サブ統合基板 ８３０から電飾制御基板 ８３１へ、可動装飾体 ２３４，２３５を駆動制御する所定の制御コマンドが送信されると、電飾制御基板 ８３１では、可動装飾体駆動モータ ３１０を回転駆動させて、図 ５４に示すように右可動装飾体 ２３４及び左可動装飾体 ２３５が夫々垂直状態となるように回転させる。図示するように、この状態では、主役物 ２１３における枠状装飾体 ２３０の上縁部下側に、後装飾体 ２１６の第一装飾可動体 ４３０の一部が見える状態となる。

【０３１８】

なお、サブ統合基板 ８３０からの制御コマンドによっては、可動装飾体駆動モータ ３１０を短周期で正転、逆転を繰り返させて、可動装飾体 ２３４，２３５がブルブル振動するように駆動することもできるようになっている。

【0319】

この状態で、サブ統合基板830から電飾制御基板831へ、後装飾体216の第一装飾可動体430及び第二装飾可動体432を駆動制御する所定の制御コマンドが送信されると、電飾制御基板831では、第一装飾可動体430及び第二装飾可動体432が互いに接近する方向に第一駆動モータ477及び第二駆動モータ637を回転駆動させて、演出表示装置217の前面に第一装飾可動体430及び第二装飾可動体431が位置するように移動させる(図55参照)。なお、これら第一装飾可動体430及び第二装飾可動体431は、サブ統合基板830からの制御コマンドに応じて、適宜、互いに接近したり、離反したりするように駆動され、第一装飾可動体430と第二装飾可動体431とで表現される所定のキャラクタの口がパクパクと開閉するような動作をさせることができるようになっている。

10

【0320】

例えば、図60に示すように、右可動装飾体234と左可動装飾体235が夫々水平な状態において、第一装飾可動体430及び第二装飾可動体431が離反するように駆動されると、第一装飾可動体430は右可動装飾体234及び左可動装飾体235の後に配置され、遊技者からは見えない位置で遮蔽され得る。また、第二装飾可動体432は主役物213の下部の後側に配置され、同様にして遊技者からは見えない位置で遮蔽され得る。その後、サブ統合基板830からの制御コマンドに応じて、第一装飾可動体430及び第二装飾可動体431が接近するように駆動されると、図56に示すように、主役物213の後方から突然第一装飾可動体430及び第二装飾可動体431が出現し、所謂「いないいないばあ」のような状態で、遊技者を驚かせるような新規な演出動作が可能となる。

20

【0321】

また、サブ統合基板830からの制御コマンドに応じて、電飾制御基板831では、第一装飾可動体ソレノイド551及び第二装飾可動体ソレノイド711を駆動させて、第一装飾可動体430及び第二装飾可動体431を夫々左右方向に延びる軸周りに回転させることで、第一装飾可動体430においてはその顔を前後に回動させると共に、第二装飾可動体432においてはその下顎を前後に回動させ、キャラクタの口の動作をよりリアルな動作となるようにしている。

【0322】

なお、図55に示すように、下方に移動した第一装飾可動体430は、その左右両端が右可動装飾体234及び左可動装飾体235によって遮られるので、あたかも第一装飾可動体430が宙に浮いているように見せることができるようになっている。また、第二装飾可動体430では、第二装飾可動体ユニット433の第二昇降部材630に取付けられた装飾体730によって、第二装飾可動体432を支持する支持シャフト690が隠蔽されている。

30

【0323】

また、サブ統合基板830からの制御コマンドによっては、図56に示すように、第一装飾可動体430及び第二装飾可動体431のみを駆動することもできるようになっている。なお、第一装飾可動体430を備えた第一装飾可動体ユニット431の第一昇降部材470に取付けられた装飾体556によって、第一装飾可動体430を支持する支持シャフト530が隠蔽されており、見栄えを良くして意匠性が高められるようになっている。

40

【0324】

なお、第一装飾可動体430及び第二装飾可動体432の可動範囲は、図57に示すように、夫々RL3及びLL3の範囲内で上下方向に移動するようになっている。また、第一昇降部材470及び第二昇降部材630における上下方向の寸法RL1及びLL1は、夫々案内レール471、631の有効長RL2及びLL2から、上述の第一装飾可動体430及び第二装飾可動体432の移動距離RL3及びLL3を夫々減算した値とおおよそ同じ値とされており、第一昇降部材470及び第二昇降部材630における上下方向の寸法つまり夫々に保持される二つの支持ブッシュ532、692の間隔を、第一昇降部材470及び第二昇降部材630の移動距離に対して可及的に大きい距離とされており、第一

50

昇降部材 4 7 0 及び第二昇降部材 6 3 0 のガタツキを可及的に少なくして第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 を安定した状態で移動させることができるようになっている。

【0325】

このように、本実施形態のパチンコ機 1 によると、ステージ 2 5 6 を有し杵状の主役物 2 1 3 を遊技盤ベース 2 1 2 の貫通口 2 1 1 を前方から覆うように配置すると共に、遊技盤ベース 2 1 2 の後方に第一ベース 4 7 5 , 第二ベース 6 3 5 を介して備えられた第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 が主役物 2 1 3 の杵状の内側を通して視認可能としているので、これにより、第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 の演出動作だけでなく、主役物 2 1 3 のステージ 2 5 6 上を転動する遊技球の動きによっても、遊技者の興趣を高めることができると共に、前側に主役物 2 1 3 が後側に第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 が配置されることとなり、奥行きのあるパチンコ機 1 とすることができ、他のパチンコ機との差別化を図ることが可能となり、遊技者に注目させて、より興趣の高められるものとすることができる。

【0326】

更に、演出表示装置 2 1 7 の前面側で第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 が移動するようにしているので、これにより、演出表示装置 2 1 7 に表示させる演出態様と第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 とを可及的に近づけることが可能となり、演出態様と第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 の演出動作とをより関連付けたものにし易くすることができ、演出態様と第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 の演出動作によるコラボレーションによって、これまでにないインパクトの高い演出を提供して、遊技者の興趣を高められるものとすることができる。

【0327】

また、第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 の前側に右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 が備えられているから、例えば上下に可動する第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 とは違う動きをさせることにより、より可動体に注目させることができ、第一装飾可動体 4 3 0 、第二装飾可動体 4 3 2 及び右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 による演出動作を楽しませて、興趣が低下するのを防止することができる。

【0328】

また、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 が略水平な第一配置状態に配置された場合において、その後側に第一装飾可動体 4 3 0 が配置され、遊技者から視認困難に遮蔽される。これにより、第一装飾可動体 4 3 0 を視認可能に露出させたり、視認困難に遮蔽させたりする演出を切り替えることが可能となり、遊技者をどっきりさせ、注目を惹きつける演出が可能となる。

【0329】

また、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 は、略垂直に配置される第二配置状態において、第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 と第一装飾可動体 4 3 0 との間を遮蔽可能である。これにより、可動体と駆動ユニットとの間、つまり連結部が遮蔽され得るので、支持シャフト 5 3 0 等を隠蔽し、見栄えを向上させることができる。さらに、第一装飾可動体 4 3 0 とは別の動きをする右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 によって当該連結部を遮蔽できるので、夫々の駆動ユニットと第一装飾可動体 4 3 0 との関係を分かり難くすることが、どうやって第一装飾可動体 4 3 0 が動かされているのかが分かり難いことから、まるで宙に浮いているかのような意外性のある演出を行えるので、遊技者の注目を惹きつけ、興趣を高めることができる。

【0330】

更に、第一装飾可動体 4 3 0 や第二装飾可動体 4 3 2 の上下方向の動きとは異なる別途の動き（回転する）を用いて右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 を可動させることができるので、遊技領域内における動きのバリエーションを増加させ、より演出効果の高め遊技者の興趣の高められるものとするすることができる。

【 0 3 3 1 】

また、略長尺状の本体部 2 9 2 を持つ右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 のうち、第一装飾可動体 4 3 0 や第二装飾可動体 4 3 2 が片持ち支持されている側と同じ端部側を中心に回動させることにより、略垂直な第二配置状態時において、その他端側に向かって延設されている本体部 2 9 2 が不可避免的に第一装飾可動体 4 3 0 と第一装飾可動体駆動ユニット 4 5 0 との間を遮蔽する。これにより、ごく自然に第一装飾可動体 4 3 0 や第二装飾可動体 4 3 2 と夫々の駆動ユニットとの連結部分（支持シャフト 5 3 0 等）であるを遮蔽できるので、よりスムーズ且つ巧みに見栄えを向上させることができる。

【 0 3 3 2 】

また、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 の端部側が回動可能に支持されているから、略中央付近側で支持されている場合等に比べ、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 を回動している回動手段（第一装飾可動体ソレノイド 5 5 1，第二装飾可動体ソレノイド 7 1 1）を遊技領域 3 7 の端部側に配置しやすい。これにより、当該回動手段によって第一装飾可動体 4 3 0 や第二装飾可動体 4 3 2、または演出表示手段 2 1 7 などを遮蔽し難いので、これらが表現する演出態様を見易くでき、興趣の低下を防止することができる。

【 0 3 3 3 】

また、左右同じ高さに二つ一組で配置されており、換言すれば、一つの可動装飾体を二分割して配置する構成であるため、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 の一つ当りの左右方向の長さを、約半分程度に短くできる。これにより、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 一つあたりのサイズを小さくすることができるので、各駆動ユニットが負担する駆動負荷が軽くなり、より速い速度で右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 を駆動することが可能となる。従って、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 によりスピーディでダイナミックな演出を行わせることが可能となり、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 の演出動作を楽しませて、興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 3 3 4 】

さらに、左右略同じ高さに配置された二つの右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 が一組セットで、つまり一体感を連想させる形状や模様形成されていることにより、略垂直な第二配置状態から略水平状態に移行した際に、一つの統一された観念を引き起こさせる一体的な形状へと合体させる演出が可能となる。例えば、右側に配置された右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 と左側に配置された右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 とに夫々文字を象った装飾部材を取り付け、第一配置状態に移行して二つの右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 が同じ高さに配置されると、二つあわせて一つの連続した意味のある単語となるような演出が可能となる。このように、意外性のある演出を行うことができることにより、遊技者や、その他の見物者などの注意を惹き、集客力の強い面白味のあるパチンコ機 1 が提供できる。

【 0 3 3 5 】

また、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 を主役物 2 1 3 の枠状の内側に備えていることにより、当該内側で右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 を回動させた場合は、主役物の構成部材と右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 とが干渉しないためスムーズに回動させることができ、より好適である。

【 0 3 3 6 】

更に、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 の本体部 2 9 2 は、ステージ 2 5 6 上に供給された遊技球に接触しない大きさを形成されている。つまり、装飾可動体として配置されているため、ステージ 2 5 6 上で繰り広げられる遊技球の転動演出を妨げる虞がない。これにより、右可動装飾体 2 3 4 及び左可動装飾体 2 3 5 による動きの演出に加え、ステージ 2 5 6 上を転動する遊技球の転動演出も十分に提供することができ、遊技者の目を楽しませることができる。また、遊技球の動きを妨げないことから、接触によって遊技球を所定の開放部 2 5 4 や開口部 3 0 4 以外の場所へと流下させることで遊技者の興趣

を低下させる懸念も払拭される。従って、より面白味の持続する魅力的なパチンコ機 1 を提供できる。

【0337】

また、右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 を発光可能な装飾可動体としたことから、右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 は、第一配置状態と第二配置状態との間を移動するだけでなく、発光することもできるので、発光によって遊技者に右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 に気付かせ注目を惹くことが可能となり、右可動装飾体 234 及び左可動装飾体 235 の動きを楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

【0338】

また、第一装飾可動体 430 には、LED 456、レンズ部 452、及び遮光性の高い部材からなる発光基板 457 より主に構成される比較的シンプルな構成の発光装飾表示手段が具備され、LED 456 から投光される光の色を変化させるだけで、様々な表示態様（「三日月状の模様」、「所定の漢字」等）を表示することが可能である。さらに、レンズ部 452 を構成する赤色部 460 及び青色部 461 は、互いに同一面上に重複して配置される重複部が、白色部 459 として構成され、赤色及び青色を夫々透過可能である。従って、比較的簡易な構造を用いて赤色及び青色に対応する夫々の表示態様（「三日月状の模様」及び「所定の漢字」）を明瞭に表示することが可能となっている。

【0339】

さらに、本実施形態のパチンコ機 1 によると、第一装飾可動体 430 の発光装飾表示手段に発光基板 457 の裏側に遮光性の高い黒色塗料や黒色フィルム等からなる遮光部材が備えられている。従って、演出表示装置 217 から照射される光がレンズ部 452 に投光されることを防ぐことができ、所望の表示態様を所望の表示タイミングで明瞭に表示することができる。加えて、色の三原色を発光させる発光手段が LED 456 から構成されていることにより、比較的他の色の波長成分を低減させることが容易で、表示内容を直感的に伝達させやすい第一装飾可動体 430 とすることができる。これにより、遊技者がストレスを感じ難く、遊技内容に関する興味が注目度を低減させないばかりか一層向上させることが可能なパチンコ機 1 を提供することができる。

【0340】

一方、後装飾体 216 がキャラクタ体で構成されているから、遊技内容とキャラクタ体とが関連付けやすく、コミカルで親しみやすいパチンコ機 1 を提供できる。また、赤色部 460 及び青色部 461 が、黒色部 462 を背景とする同一面上に形成されていることにより、レンズ部 452 の背面にある部材（例えば LED 456 や発光基板 457）を見え難くすることができる。

【0341】

さらに、白色の部材を背景とする場合に比べて、光が透過することによって表示される表示態様、つまり発光によって表示される表示態様を効果的に浮かび上がらせることができ、よりインパクトの強い華やかな第一装飾可動体 430 を提供することができる。特に、第一装飾可動体 430 をキャラクタ体の一部に備え、サングラス 453 の中に適用していることで、黒色部 462 を生かした面白味の強いコミカルな演出を実現している。

【0342】

また、可動部材である第一装飾可動体 430 として構成していることにより、サングラス 453 内の表示領域に囚われずに自由度の高い演出を行うことが可能となる。特に、本実施形態のパチンコ機 1 によれば、第一装飾可動体 430 は、LED 456、レンズ部 452、及び遮光性の高い部材からなる発光基板 457 より主に構成される比較的シンプルな構成を呈し、さらに赤色部 460 及び青色部 461 が同一面上にコンパクトに形成されている。従って、可動体に好適に配置可能であるため、バラエティに富む演出を提供でき、広い年代層に受け入れられ易いパチンコ機 1 が提供できる。

【0343】

また、本実施形態のパチンコ機 1 によると、突起（突条）274 が備えられているので

10

20

30

40

50

、球案内路 270 内を流下する遊技球の流下方向が変えられたり、運動エネルギーの一部が吸収または消費されたりし、適度に減速されながらアウト口 220 へと流下していく。従って、流下途中で勢いがつきすぎて、アウト口 220 以外の場所へと跳ね飛んでいったり、他の配置物に衝突して破損させるようなトラブルを起こしにくく、好適にアウト口 220 へと案内される。さらに、好適にアウト口 220 へと案内されることから、遊技者に対して適度な緊張感（球案内路 270 へと遊技球を打ち込ませないよう集中する、といったような）を与えることが可能であり、遊技をよりスリリングなものとすることができる。

【0344】

また、突起（突条）274 によって適度に減速され、スムーズにアウト口 220 へと案内できることにより、球案内路 270 に遊技球が受取られないように、ステージ 256 や他の遊技領域へと集中して遊技球を打ち込ませることができ、遊技球の打ち込み方に変化や工夫を生じさせることができる。従って、ステージ 256 に供給されなかった遊技球を用いて、遊技を飽きさせ難いものと感じさせる演出が可能となり、遊技者の集中力と興味を惹きつけ、興趣を効果的に高めることができる。

【0345】

また、遊技球を、主役物の外周面 271 に沿って転動させ、遊技領域 37 の上方から下方へと流下させてアウト口 220 へと案内することができる。従って、主役物 213 の前方を横切ることなく、且つ遊技盤 5 の前方側（遊技者に視認可能な位置）に球案内路 270 を配置することができるため、遊技球が排出されるか否かでドキドキハラハラさせることができると共に、見えやすくすることで遊技者の目を疲弊させ難くでき、興趣を高められるものとすることができる。

【0346】

これにより、案内レール 78 によって案内された遊技球が、勢い良く遊技領域 37 へと放出された際に、より流下しやすい場所に球案内路 270 を配置しているので、遊技球がアウト口 220 へと案内されやすくなる。従って、遊技者は、注意深く力加減して遊技球を打ち込み、アウト口 220 へと遊技球が案内されないように集中して打ち込む必要が生じるため、より飽きさせない、スリリングなパチンコ機 1 を提供できる。

【0347】

さらに、球案内路 270 が、水平断面が略コの字形、つまり一部が開放された形状をしているので、遊技球が球案内路 270 内で詰まったり、ゴミが付着して流れが悪くなった場合でも、遊技盤 5 の前面から比較的簡易にメンテナンスすることができる。これにより、遊技を中断させる虞が低いので、より遊技者の集中力を低下させることなく快適に遊技を続行させることが可能なパチンコ機 1 が提供できる。

【0348】

また、外周面 271 と遊技盤ベース 212 の貫通孔 211 の内周面とが略並行に配置されていることにより、外周面 271 と貫通孔 211 の内周面との協働で挟み込むようにして遊技球を案内することが可能となる。つまり、遊技領域 37 の上方から下方までスムーズに遊技球を案内することができるので、球案内路 270 を配置することによる緊張感を効果的に高めることができ、より遊技者の興趣を惹きつける事が可能となる。

【0349】

また、複数の突起 274 は、互いに対向する位置に交互に夫々形成されているから、例えばフランジ部 272 に形成された突起 274 は、譬え遊技球が装飾フランジ部 273 に沿って流下した場合でも、装飾フランジ部 273 の内壁の突起 274 に衝突させることができ、遊技球をフランジ部 272 へと押しやることができる。このように、対向して配置された複数の突起 274 に次々と衝突されることにより、遊技球が適度に減速されてアウト口 220 へと案内される。また、球案内路 270 の配置方法が、湾曲している場合に限らずストレートであっても減速できることにより、球案内路 270 の配置方法に自由度があり、主役物 213 の形状や球案内路 270 の配置方法に制限を受けないためより好適である。

10

20

30

40

50

【0350】

また、ステージ256の後方に遊技球を流下させ遊技盤5の前面へと誘導する球誘導路257が備えられている。これにより、ステージ256の前方からのみから遊技球が流下する場合に比べて、より遊技者の注目を惹く事ができるパチンコ機1を提供できる。さらに、球誘導路257には、球受部259以外の場所から遊技球が脱落するのを防止する隔壁板233と凸条部材302、及び遊技球が球受部259から脱落しないよう防止する球誘導凹部262がさらに具備されているから、遊技球を確実に遊技領域37へと復帰させることができるので、遊技者の目を楽しませることができ、効果的である。また、球誘導凹部262が透明な隔壁板233に設けられているので、遊技球が流下する位置を遊技者の視線に対して対向する位置に設けられる。従って、遊技者が流下位置を認識しやすく、注目を集めやすいため好適である。

10

【0351】

また、隔壁板233及び凸条部材302が設けられているから、開放部254や開口部304以外の場所から遊技球が脱落するのが防止される。さらに、球誘導凹部262が備えられているから、所望の位置、つまりステージ256の後側且つ下方の球受部259へと遊技球が確実に誘導され、遊技領域37へと復帰させることができる。これにより、遊技者の目を十分に楽しませると共に、遊技球の脱落によって遊技に対する興味が低下するのを防止できる。

【0352】

さらに、球誘導路257が透明な隔壁板233に設けられているので、遊技球が流下する位置を遊技者の視線に対して対向する位置に設けられる。従って、遊技者が流下位置を認識しやすく、遊技球の動きに注目を集められるためより好適である。

20

【0353】

また、凸条部材302のエッジ部303、つまり開口部304との境界部に遊技球が衝突し、ステージ256の前方側へと跳ね飛んで脱落するのを防止できると共に、ステージ256の左右方向に案内することで良好な転動演出を促進させることができる。さらに、エッジ部303を左右方向に斜めに傾斜させて形成したり、エッジ部303の角部を丸めて(所謂面取りをして)形成した場合は、遊技球の衝突による応力の集中を防止し、衝撃に強い構造とすることができる。すなわち、凸条部材302を壊れ難くすることができ、遊技を中断させてしまうことによる遊技者の集中力低下を防止できるから、より長い時間ストレス無く遊技を続行できるパチンコ機1を提供できる。

30

【0354】

さらに、傾斜284によってステージ256に供給された遊技球に運動エネルギーが付与されるので、球詰まりや滞留を起こしにくく、ステージ256上で躍動感に溢れる転動演出を行わせることが可能となる。また、延長転動面263などのエネルギー減衰手段によって、ステージ256上を転動する遊技球の余剰な転動エネルギーが適度に減衰されるので、譬え必要以上に転動速度が高くなってしまった場合であっても、遊技球が跳ね飛んで脱落したり、開口部304や開放部254以外の場所で落ちる虞が軽減される。これにより、遊技球をステージ256上で良好に転動させることができるので、遊技者の目を楽しませることができ好適である。

40

【0355】

また、軌道修正手段としての溝305が備えられているから、遊技球の転動する軌道がステージ256の前側または後側へと逸れにくく、ステージ256の前後略中央付近で良好に転動させることができる。

【0356】

また、延長転動面263が備えられているから、遊技球の転動距離が延長されるため、摩擦力として転動エネルギーが効果的に消費され、転動速度が減速される。また、延長転動面263がステージ256に向かって傾斜していることにより、ステージ256から遠ざかって延長転動面263上へと進入する遊技球の転動速度を効率的に減速させることができる。一方、延長転動面263上からステージ256上へと向かう遊技球は、当該傾斜

50

を下ることによって加速され、元気良くステージ 2 5 6 上へと押し戻される。これにより、遊技球に躍動感のある良好な転動演出を行わせることができるため、より遊技者の目を楽しませることができ好適である。

【0357】

さらに、延長転動面 2 6 3 の前面に、隔壁板 2 3 3 との協働で溝を形成する装飾部材 3 0 1 が備えられている。これにより、溝内に遊技球が衝突することでより減速できることに加え、延長転動面 2 6 3 上から逸れて脱落しそうになる遊技球を延長転動面 2 6 3 上へと押し戻すことができる。従って、より安定してステージ 2 5 6 上で好適に遊技球を転動させることができるので、遊技者の興趣を惹き付け、魅力あるパチンコ機 1 を提供することができる。

10

【0358】

また、演出表示手段 2 1 7 を遊技盤 5 の後方に配置していることにより、ステージ 2 5 6 上で転動する遊技球の動きを遮蔽することがなく、遊技球の動きをより楽しみやすいため好適である。また、延長転動面 2 6 3 の前方に位置するキャラクタ体 2 3 1 の一部が透明なので、その後方に位置する遊技球の転動演出や、さらに後方に位置する演出画像を遮ることがなく、各種演出を楽しむやすく好適である。さらに、ステージ 2 5 6 が、演出表示手段 2 1 7 の下側に備えられていることによりステージ 2 5 6 で遮蔽して邪魔する虞も少なく、双方の演出をより簡易に楽しむことができる。従って、遊技者が、より多様な演出を容易に楽しむことができるため、飽きさせ難いパチンコ機 1 を提供できる。

【0359】

20

また、ステージ 2 5 6 の後方且つ演出表示手段 2 1 7 の前方に、透明な板状の隔壁板 2 3 3 が備えられている。これにより、ステージ 2 5 6 の後方から遊技球が脱落せず、より良好に転動演出を行えるようになる。さらに、隔壁板 2 3 3 が透明であるから、後方に位置する演出表示手段 2 1 7 によって表示される演出画像を遮蔽することが無い。従って、より遊技者の目を楽しませることができ好適である。

【0360】

また、本実施形態のパチンコ機 1 によると、延長転動面 2 6 3 を、ステージ 2 5 6 上の何れかの場所に設けたり、ステージ上以外の場所に設ける（つまり、所定値以上の速度で転動する遊技球を誘導して減速させる）のではなく、ステージ 2 5 6 の一端側に形成する構成である。これにより、主役物 2 1 3 内に進入した遊技球に余すことなく転動演出を行わせることができ、遊技者の目を楽しませることができる。また、遊技球がステージ 2 5 6 上に供給される速度を制限しないため、元気良くステージ 2 5 6 上を転動させることができ、転動状態を躍動的に楽しませることが可能となる。これにより、遊技者の興趣の低減を効果的に防止することができる。

30

【0361】

また、第一ベース 4 7 5，第二ベース 6 3 5 の全長に対してその一部である取付当接面 4 7 4，6 3 4 のみを遊技盤ベース 2 1 2 と当接させて取付固定するようにしているので、遊技盤ベース 2 1 2 や第一ベース 4 7 5，第二ベース 6 3 5 等の寸法誤差等があっても、その誤差による影響を可及的に少なくすることが可能となり、遊技盤ベース 2 1 2 に第一ベース 4 7 5，第二ベース 6 3 5 を取付固定してもそれらに歪等の不具合が発生するのを防止することができ、遊技盤ベース 2 1 2（遊技盤 5）に第一ベース 4 7 5，第二ベース 6 3 5 を良好に取付けることができる。そのため、第一装飾可動体 4 3 0，第二装飾可動体 4 3 2 を誘導案内する案内レール 4 7 1，6 3 1 の長さを長くすることで案内レール 4 7 1，6 3 1 を支持する第一ベース 4 7 5，第二ベース 6 3 5 が長くなっても、遊技盤 5 に第一ベース 4 7 5，第二ベース 6 3 5 を良好に取付固定することができるので、案内レール 4 7 1，6 3 1 の長さを長くして第一装飾可動体 4 3 0，第二装飾可動体 4 3 2 が大きく移動するようにさせることが可能となり、第一装飾可動体 4 3 0，第二装飾可動体 4 3 2 の演出動作を認識し易くして、その演出動作により遊技者の興趣が低下するのを防止することのできるものとするることができる。

40

【0362】

50

また、第一ベース４７５，第二ベース６３５の上側に配置された取付当接面４７４，６３４で遊技盤ベース２１２に取付固定するようにしている。つまり、第一ベース４７５，第二ベース６３５の一方の側でのみ取付固定するようにしているので、遊技盤ベース２１２への取付けが第一ベース４７５，第二ベース６３５の上側だけで済み、取付けにかかる手間を簡略化することができると共に、例えば、遊技盤５の面に対して左右方向の力が作用して取付当接面４７４，６３４の垂直線上から第一ベース４７５，第二ベース６３５の重心が左右の何れかにずれても、その重心にかかる回転モーメントが、第一ベース４７５，第二ベース６３５の重心を取付当接面４７４，６３４の垂直線上に戻すように作用し、第一ベース４７５，第二ベース６３５が元の位置に復帰するので、取付当接面４７４，６３４やビス等に第一ベース４７５，第二ベース６３５にかかる重量以外の力が作用するのを抑制することができ、第一ベース４７５，第二ベース６３５を良好に取付固定することができると共に、第一ベース４７５，第二ベース６３５等が変形して不具合が発生するのを防止することができる。

10

20

30

40

50

【０３６３】

更に、第一ベース４７５，第二ベース６３５の取付当接面４７４，６３４の上部にビスを挿通する取付孔５１２，６７２を穿設しており、これにより、第一ベース４７５，第二ベース６３５の上部のみで取付けているので、ビスの数を可及的に少なくすることができ、取付けにかかる手間を簡略化することができると共に、上述と同様の理由により、ビスや取付当接面４７４，６３４にかかる回転モーメントを可及的にかかり難くすることができ、第一ベース４７５，第二ベース６３５を良好に遊技盤ベース２１２に取付固定することができる。

【０３６４】

また、遊技盤ベース２１２へ取付固定するための第一ベース４７５，第二ベース６３５の取付当接面４７４，６３４が配置された側と同じ上側に、移動手段の駆動プーリ４７８，６３８が配置されている。つまり、駆動プーリ４７８，６３８を回転駆動する第一駆動モータ４７７，第二駆動モータ６３７が取付当接面４７４，６３４に近い第一ベース４７５，第二ベース６３５の上側で支持されるので、振動や駆動反力の発生源である第一駆動モータ４７７，第二駆動モータ６３７に可及的に近い位置で取付当接面４７４，６３４を介して遊技盤ベース２１２に取付固定することとなり、第一駆動モータ４７７，第二駆動モータ６３７からの振動等が第一ベース４７５，第二ベース６３５全体に伝わるのを防止することができると共に、第一ベース４７５，第二ベース６３５の振動により第一ベース４７５，第二ベース６３５に支持された案内レール４７１，６３１等の各部材が振動し、他の部材と当接して破損したり、各部材同士の組付けが緩んだりして第一昇降部材４７０，第二昇降部材６３０を良好に誘導案内させることができなくなるのを防止することができる。

【０３６５】

更に、第一装飾可動体４３０，第二装飾可動体４３２を保持する第一昇降部材４７０，第二昇降部材６３０は、二つの支持ブッシュ５３２，６９２を介して案内レール４７１，６３１に摺動案内されるので、摺動部分の接触面積を可及的に少なくすることが可能となり、摺動抵抗を低減させることができ、第一装飾可動体４３０，第二装飾可動体４３２と共に第一昇降部材４７０，第二昇降部材６３０を上下方向に良好に誘導案内させることができると共に、第一装飾可動体４３０，第二装飾可動体４３２を大型化することが可能となり、第一装飾可動体４３０，第二装飾可動体４３２をより目立たせてより演出効果の高いものとすることができ、興趣が低下するのを防止することができる。また、第一装飾可動体４３０，第二装飾可動体４３２を大型化しても摺動抵抗が増加するのを抑制することができるので、駆動力の大きい大型の第一駆動モータ４７７，第二駆動モータ６３７等からなる移動手段を用いなくても、第一装飾可動体４３０，第二装飾可動体４３２を保持する第一昇降部材４７０，第二昇降部材６３０を良好に誘導案内させることが可能となり、所望の大きさの第一装飾可動体４３０，第二装飾可動体４３２を遊技機に備えることができ、より興趣の高められるものとするすることができる。

【0366】

また、摺動抵抗を低減させることができるので、静止状態の第一昇降部材470、第二昇降部材630を移動させるために必要な駆動力が少なく済み、容易に第一昇降部材470、第二昇降部材630を移動開始させることができる。つまり、第一昇降部材470、第二昇降部材630の移動レスポンスを高くすることができるので、第一昇降部材470、第二昇降部材630すなわち第一装飾可動体430、第二装飾可動体432を機敏に移動させることが可能となり、第一装飾可動体430、第二装飾可動体432の動きによるインパクトをより高めることができ、興味が低下するのを抑制することができる。

【0367】

また、案内レール471、631の表面に摩擦低減層が形成されており、案内レール471、631と支持ブッシュ532、692との摺動抵抗を低減させることができるので、支持ブッシュ532、692を介して第一昇降部材470、第二昇降部材630を良好に誘導案内させることができると共に、摺動部における摩擦が低減されて摩耗し難くすることが可能となり、案内レール471、631や支持ブッシュ532、692が早期に摩耗して第一昇降部材470、第二昇降部材630すなわち第一装飾可動体430、第二装飾可動体432の動作不良を招くのを防止することができる。

【0368】

更に、二つの支持ブッシュ531、691を介して支持シャフト530、690を第一昇降部材470、第二昇降部材630に回転可能に保持するようにしているので、これにより、支持シャフト530、690を第一昇降部材470、第二昇降部材630がかかる部分全体で回転可能に保持する場合と比較して、支持シャフト530、690との接触部分が可及的に少なくなり、支持シャフト530、690にかかる摩擦抵抗を低減させることが可能となり、支持シャフト530、690を良好に回転させることができ、支持シャフト530、690に支持された第一装飾可動体430、第二装飾可動体432をスムーズに演出動作させて、興味の高められるものとすることができる。

【0369】

また、第一昇降部材470、第二昇降部材630の本体部534、694とブッシュ固定部材535、695とで各支持ブッシュ532、692、及び531、691を所定の位置に保持するようにしているので、これにより、これら支持ブッシュ532、692、及び531、691を本体部534、694とブッシュ固定部材535、695とで簡単に保持することができ、容易に組み立てられるものとすることができる。

【0370】

更に、第一装飾可動体430、第二装飾可動体432を駆動ベルト480、640の回転駆動により移動させるようにしており、ネジ部材等の移動手段を用いた場合と比較して、第一装飾可動体430、第二装飾可動体432の移動速度をより速く移動させることができ、速く移動する第一装飾可動体430、第二装飾可動体432により遊技者に強く印象付けることができるので、第一装飾可動体430、第二装飾可動体432に注目させてその演出動作を楽しませることが可能となり、遊技に対する興味が低下するのを防止することができる。また、同じ移動量をソレノイドやシリンダを用いて移動させる場合と比較してより小型化することが可能となり、遊技機に設置し易いものとすることができると共に、第一装飾可動体430、第二装飾可動体432の移動量をより大きくしても遊技機に設置することができるので、第一装飾可動体430、第二装飾可動体432をより大きく移動させることができ、第一装飾可動体430、第二装飾可動体432の演出動作を認識し易くして、その演出動作により興味が低下するのを防止することのできる。

【0371】

また、第一昇降部材470、第二昇降部材630を案内レール471、631により誘導案内するようにしているので、撓み易い駆動ベルト480、640を用いて第一昇降部材470、第二昇降部材630を移動させても、案内レール471、631により第一昇降部材470、第二昇降部材630を真直ぐ誘導案内させることができ、移動の際に第一昇降部材470、第二昇降部材630、つまり、第一装飾可動体430、第二装飾可動体

4 3 2 を所望の姿勢で良好に移動させることができる。

【0 3 7 2】

更に、駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 と駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 の係合歯 4 8 4 , 6 4 4 と被係合歯 4 8 5 , 6 4 5 とを互いに係合させることで、駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 が駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 の外周面上を滑り難くすることができ、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 から回転駆動を確実に駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 に伝達させることができると共に、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 の回転速度を速くしても、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 と駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 との間で滑りが発生しないので、より速い速度で駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 を駆動させることが可能となり、第一昇降部材 4 7 0 , 第二昇降部材 6 3 0 を介して第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 をより速い速度で移動させることができ、よりインパクトの強い動きを第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 にさせて、興趣の高められるものとすることができる。

10

【0 3 7 3】

また、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 を上側に、従動プーリ 4 7 9 , 6 3 9 を下側に配置しているので、駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 は、これに固定された第一昇降部材 4 7 0 , 第二昇降部材 6 3 0 等の重さにより下方、つまり、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 とは離反する方向に引張られる力が作用し、その力により駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 への駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 の巻き掛け力が強くなり、それらの間で摩擦力が大きくなって互いに滑り難くすることができ、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 により確実に駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 を駆動させることができると共に、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 と駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 とが滑って第一昇降部材 4 7 0 , 第二昇降部材 6 3 0 が降下するのを防止することができ、第一昇降部材 4 7 0 , 第二昇降部材 6 3 0 を介して第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 に所望の動きをさせることが可能となり、第一装飾可動体 4 3 0 , 第二装飾可動体 4 3 2 に所定の演出動作をさせて、興趣の高められるものとすることができる。

20

【0 3 7 4】

また、従動プーリ 4 7 9 , 6 3 9 を駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 と離反する方向に付勢するテンションバネ 4 9 5 , 6 5 5 を備えているので、駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 に所定のテンションを付与することができ、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 と従動プーリ 4 7 9 , 6 3 9 とに巻き掛けられる駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 の張力を適宜なものとして、駆動ベルト 4 8 0 , 6 4 0 を良好に回転駆動させることができる。

30

【0 3 7 5】

更に、駆動プーリ 4 7 8 , 6 3 8 と従動プーリ 4 7 9 , 6 3 9 とを上下方向に配置し、案内レール 4 7 1 , 6 3 1 が遊技盤 5 (遊技盤ベース 2 1 2) の面に略沿うように上下方向に配置されている。つまり、第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 を、パチンコ機 1 における遊技盤 5 の面に直角方向 (前後方向) の寸法に対して、相対的に大きい寸法とされている上下方向 (遊技盤の面に沿った方向) に移動するようにしているので、第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 の移動量を可及的に大きくすることが可能となり、第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 の動きをより認識し易いようにして、その演出動作を楽しませて興趣が低下するのを防止することができる。また、第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 を上下方向に移動させることができるので、遊技領域 3 7 を流下する遊技球の流れ方向と略同じ上下方向に第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 が移動し、遊技球と第一装飾可動体 4 3 0 及び第二装飾可動体 4 3 2 との間での遊技者の視線移動がし易く早期に遊技者が疲労するのを抑制することができ興趣が低下するのを防止することができる。

40

【0 3 7 6】

また、板金からなる第一ベース 4 7 5 及び第二ベース 6 3 5 により、樹脂からなる第一上部支持部材 4 7 2 , 第二上部支持部材 6 3 2 、及び第一下部支持部材 4 7 3 , 第二下部支持部材 6 3 3 を支持すると共に、それら第一上部支持部材 4 7 2 , 第二上部支持部材 6 3 2 、及び第一下部支持部材 4 7 3 , 第二下部支持部材 6 3 3 により案内レール 4 7 1 , 6 3 1 を支持するようにしているので、大型化すると歪みの大きくなる樹脂部材を可及的

50

に小さくすることが可能となり、案内レール 471, 631 を長くしても案内レール 471, 631 を所望の位置に正確に支持することができ、案内レール 471, 631 により第一昇降部材 470 及び第二昇降部材 630 を介して第一装飾可動体 430 及び第二装飾可動体 432 を良好に誘導案内させることが可能となるので、第一装飾可動体 430 及び第二装飾可動体 432 がより大きく動くようにすることができ、第一装飾可動体 430 及び第二装飾可動体 432 の演出動作を認識し易くして、その演出動作により興趣が低下するのを防止することができる。

【0377】

また、第一上部支持部材 472, 第二上部支持部材 632、及び第一下部支持部材 473, 第二下部支持部材 633 とにより第一ベース 475, 第二ベース 635、案内レール 471, 631、及び案内ロッド 491, 651 が一体的に組み付けられ、夫々の剛性の相乗効果によって全体的な強度剛性が高められているので、第一ベース 475, 第二ベース 635 や案内レール 471, 631 を長くして第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 の移動量を大きくしても、第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 の移動によって発生する反力や振動等により第一ベース 475, 第二ベース 635 や案内レール 471, 631 が変形するのを防止して、第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 を介して第一装飾可動体 430, 第二装飾可動体 432 を良好に移動させることができると共に、第一装飾可動体 430, 第二装飾可動体 432 がより大きく動くようにして第一装飾可動体 430, 第二装飾可動体 432 の演出動作を認識し易くし、その演出動作により興趣が低下するのを防止することができる。

【0378】

また、第一上部支持部材 472, 第二上部支持部材 632、及び第一下部支持部材 473, 第二下部支持部材 633 と、第一ベース 475 及び第二ベース 635 とを組付ける際に、位置決め突起 511, 671 を位置決め孔 510, 670 に嵌合させるだけで、第一上部支持部材 472 と第一下部支持部材 473、或いは、第二上部支持部材 632 と第二下部支持部材 633 を所定距離離れた所定位置に容易に位置決め支持することができ、案内レール 471, 631 を所望の位置に容易に配置支持することができる。

【0379】

更に、第一装飾可動体 430 及び第二装飾可動体 432 を支持する支持シャフト 530, 690 を回動させる第一装飾可動体ソレノイド 551, 第二装飾可動体ソレノイド 711 等の回動手段を備えているので、第一装飾可動体 430 及び第二装飾可動体 432 を支持シャフト 530, 690 の軸芯周りに回動させることができ、第一装飾可動体 430 及び第二装飾可動体 432 を案内レール 471, 631 の延在する上下方向だけでなく、支持シャフト 530, 690 の軸芯周りの方向にも動かすことが可能となり、第一装飾可動体 430 及び第二装飾可動体 432 の動きをより複雑な動きとすることができ、より演出効果の高い動きをさせることで興趣の高められるものとする事ができる。

【0380】

また、支持シャフト 530, 690 を回動させる第一装飾可動体ソレノイド 551, 第二装飾可動体ソレノイド 711 等の回動手段を、第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 の第一装飾可動体 430, 第二装飾可動体 432 が保持される側とは案内レール 471, 631 を挟んで反対側に配置したものである。これにより、第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 は、案内レール 471, 631 を挟んで一方の側に第一装飾可動体 430, 第二装飾可動体 432 を、他方の側に第一装飾可動体ソレノイド 551, 第二装飾可動体ソレノイド 711 等の回動手段を夫々保持することとなり、案内レール 471, 631 を挟んで両側に夫々所定の荷重がかかることとなるので、第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 にかかる偏荷重が緩和され、第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 と、案内レール 471, 631 との間で偏摩擦や偏摩耗が発生するのを抑制し、偏荷重により案内レール 471, 631 に誘導案内される第一昇降部材 470, 第二昇降部材 630 が滑らかに誘導されずぎこちない動きとなったり、誘導案内することができなくなったりするのを防止することができる。

【0381】

また、回動手段の駆動源として第一装飾可動体ソレノイド551，第二装飾可動体ソレノイド711を用いているので、モータを用いた場合と比較して、レスポンスの良い速い動きをさせることが可能となり、第一装飾可動体430，第二装飾可動体432によりインパクトの強い演出動作をさせることができ、より興趣の高められるものとすることができる。

【0382】

また、第一回転防止手段490，第二回転防止手段650により第一昇降部材470，第二昇降部材630が案内レール471，631の軸芯周りに回転するのを防止することができるので、特に、振動の多い駆動ベルト480，640により第一昇降部材470，第二昇降部材630を移動させても、第一昇降部材470，第二昇降部材630に保持された第一装飾可動体430，第二装飾可動体432が案内レール471，631の軸芯周りに回転、つまり、軸芯周りに振れるのを良好に防止することが可能となり、意図しない振れを抑制して所望の演出動作を確実に行わせることができ、興趣が低下するのを防止することができると共に、第一装飾可動体430，第二装飾可動体432をより大きなものとする 것이可能となり、第一装飾可動体430，第二装飾可動体432をより目立たせて、第一装飾可動体430，第二装飾可動体432による演出効果をより高めることができる。

【0383】

更に、第一回転防止手段490，第二回転防止手段650における案内ロッド491，651の両端を第一上部支持部材472，第二上部支持部材632と、第一下部支持部材473，第二下部支持部材633とで支持するようにしているので、案内ロッド491，651を支持するための支持部材を別途備える必要がなく、案内ロッド491，651を支持するための構成を簡略化することができ、コストが増加するのを抑制することができる。また、案内レール471，631と同様に案内ロッド491，651の支持精度も向上させることができるので、案内レール471，631の長大化に伴って案内ロッド491，651を長くしても、案内レール471，631と案内ロッド491，651との関係を良好な状態で維持することが可能となり、第一昇降部材470，第二昇降部材630の振れを良好に防止することができ、第一装飾可動体430，第二装飾可動体432をより目立つように大型化して第一装飾可動体430，第二装飾可動体432の演出動作によって興趣を高められるものとすることができる。

【0384】

また、遊技盤ベース212に対して第一ベース475，第二ベース635を、後面側に取付固定すると共に、遊技盤ベース212に前後方向に貫通する貫通口211を設けて、その貫通口211を通して第一ベース475，第二ベース635に支持された第一装飾可動体430，第二装飾可動体432が遊技者側から視認可能としているので、これにより、遊技盤ベース212の後面側に第一ベース475，第二ベース635を取付けても、貫通口211を通して第一ベース475，第二ベース635に支持された案内レール471，631に誘導案内される第一装飾可動体430，第二装飾可動体432を遊技者に視認させることができ、第一装飾可動体430，第二装飾可動体432の動きを楽しませて興趣が低下するのを抑制することができるものとすることができる。

【0385】

以上、本発明について好適な実施形態を挙げて説明したが、本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく、以下に示すように、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、種々の改良及び設計の変更が可能である。

【0386】

すなわち、上記実施形態では、延長転動面263を用いて遊技球の転動エネルギーを減衰する構成を例示したが、これに限定するものではなく、例えば低反発性の部材を用いたり、多数の突起部（所謂減速帯）を設けたり、これらを組み合わせたものであっても良い。この場合でも、上記と同様の作用効果を奏することができる。

【 0 3 8 7 】

また、上記実施形態では、遊技機としてパチンコ機 1 に適用したものを示したが、これに限定するものではなく、パチスロ機や、パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなる遊技機に、適用しても良く、この場合でも、上記と同様の作用効果を奏することができる。

【 符号の説明 】

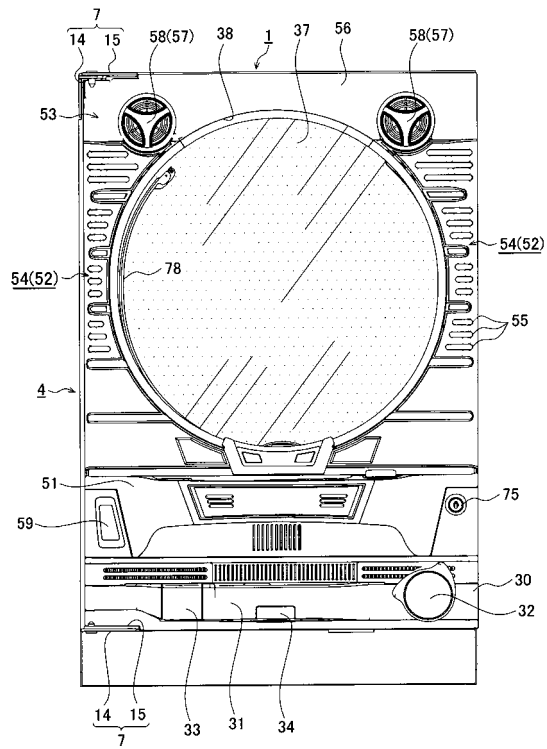
【 0 3 8 8 】

1	パチンコ機	
5	遊技盤	
3 7	遊技領域	
7 8	案内レール	10
7 9	前構成部材	
2 1 0	開口	
2 1 1	貫通口	
2 1 2	遊技盤ベース	
2 1 3	主役物	
2 1 4	主入賞口ユニット	
2 1 5	遊技領域内装飾体	
2 1 6	後装飾体	
2 1 7	演出表示装置（演出表示手段）	
2 1 8	排出誘導部材	20
2 1 9	風車	
2 2 0	アウト口	
2 3 0	枠状装飾体	
2 3 1	キャラクタ体	
2 3 2	装飾部材	
2 3 3	隔壁板	
2 3 4	右可動装飾体（前側可動体）	
2 3 5	左可動装飾体（前側可動体）	
2 3 6	右可動装飾体駆動ユニット	
2 3 7	左可動装飾体駆動ユニット	30
2 3 8	チャッカー	
2 3 9	通過検出センサ	
2 4 0	チャッカーカバー	
2 5 0	ワープ入口	
2 5 1	ワープ出口	
2 5 2	ワープ通路	
2 5 3	転動面	
2 5 4	開放部（前流下口）	
2 5 5	堰部	
2 5 6	ステージ	40
2 5 7	球誘導路（誘導手段）	
2 5 8	球案内部	
2 5 9	球受部（受部）	
2 6 0	球流出口（流出口）	
2 6 1	球誘導部	
2 6 2	球誘導凹部（誘導凹部）	
2 6 3	延長転動面（エネルギー減衰手段）	
2 7 0	球案内路（排出口案内手段）	
2 7 1	外周面（案内面）	
2 7 2	フランジ部（第一フランジ部）	50

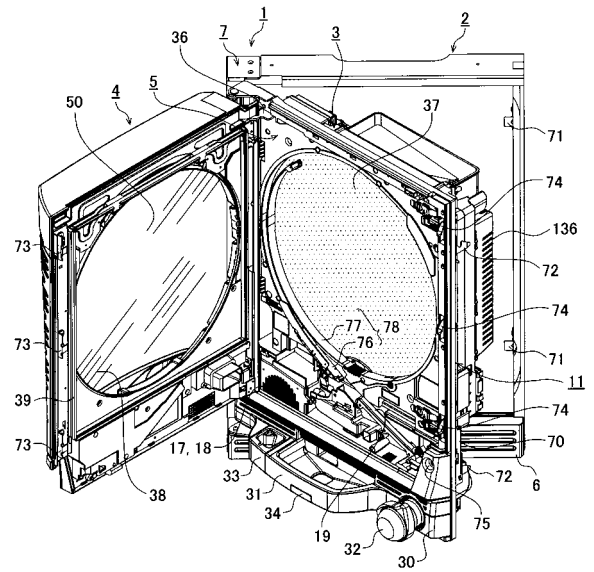
2 7 3	装飾フランジ部（第二フランジ部）	
2 7 4	突起（減速手段）	
2 8 0	突壁部	
2 8 1	段差	
2 8 4	傾斜（エネルギー付与手段）	
2 9 2	本体部	
3 0 1	装飾部材 3 0 1（エネルギー減衰手段、壁状の衝突部材）	
3 0 2	凸条部材（開口部案内手段）	
3 0 4	開口部（後流下口）	
3 0 5	溝（エネルギー付与手段）	10
3 1 0	可動装飾体駆動モータ	
4 3 0	第一装飾可動体（第一可動体）	
4 3 2	第二装飾可動体（第二可動体）	
4 5 0	第一装飾可動体駆動ユニット（第一駆動ユニット）	
4 7 0	第一昇降部材	
4 7 1	案内レール	
4 7 2	第一上部支持部材	
4 7 3	第一下部支持部材	
4 7 4	取付当接面	
4 7 5	第一ベース	20
4 7 7	第一駆動モータ	
4 7 8	駆動プーリ	
4 7 9	従動プーリ	
4 8 0	駆動ベルト	
4 8 1	ベルト固定部	
4 8 2	駆動ギヤ	
4 8 3	伝達ギヤ	
4 8 4	係合歯	
4 8 5	被係合歯	
4 9 0	第一回転防止手段	30
4 9 1	案内ロッド	
4 9 2	案内部材	
4 9 3	テンション機構	
4 9 5	テンションバネ	
5 0 9	支持面	
5 1 0	位置決め孔	
5 1 1	位置決め突起	
5 1 2	取付孔	
5 3 0	支持シャフト	
5 3 1	支持ブッシュ	40
5 3 2	支持ブッシュ	
5 3 3	挿通孔	
5 3 4	本体部	
5 3 5	ブッシュ固定部材	
5 3 6	段付凹部	
5 3 7	嵌合凹部	
5 3 8	収容部	
5 3 9	抜止片	
5 4 0	嵌合凹部	
5 4 1	収容部	50

5 5 0	ブランジャ	
5 5 1	第一装飾可動体ソレノイド（回動手段）	
5 5 3	回動伝達部材	
6 1 0	第二装飾可動体駆動ユニット（第二駆動ユニット）	
6 3 0	第二昇降部材	
6 3 1	案内レール	
6 3 2	第二上部支持部材	
6 3 3	第二下部支持部材	
6 3 4	取付当接面	
6 3 5	第二ベース	10
6 3 7	第二駆動モータ	
6 3 8	駆動プーリ	
6 3 9	従動プーリ	
6 4 0	駆動ベルト	
6 4 1	ベルト固定部	
6 4 2	駆動ギヤ	
6 4 3	伝達ギヤ	
6 4 4	係合歯	
6 4 5	被係合歯	
6 5 0	第二回転防止手段	20
6 5 1	案内ロッド	
6 5 2	案内部材	
6 5 3	テンション機構	
6 5 5	テンションバネ	
6 6 9	支持面	
6 7 0	位置決め孔	
6 7 1	位置決め突起	
6 7 2	取付孔	
6 9 0	支持シャフト	
6 9 1	支持ブッシュ	30
6 9 2	支持ブッシュ	
6 9 3	挿通孔	
6 9 4	本体部	
6 9 5	ブッシュ固定部材	
6 9 6	段付凹部	
6 9 7	嵌合凹部	
6 9 8	収容部	
6 9 9	抜止片	
7 0 0	嵌合凹部	
7 0 1	収容部	40
7 1 0	ブランジャ	
7 1 1	第二装飾可動体ソレノイド（回動手段）	
7 1 2	リンク機構	

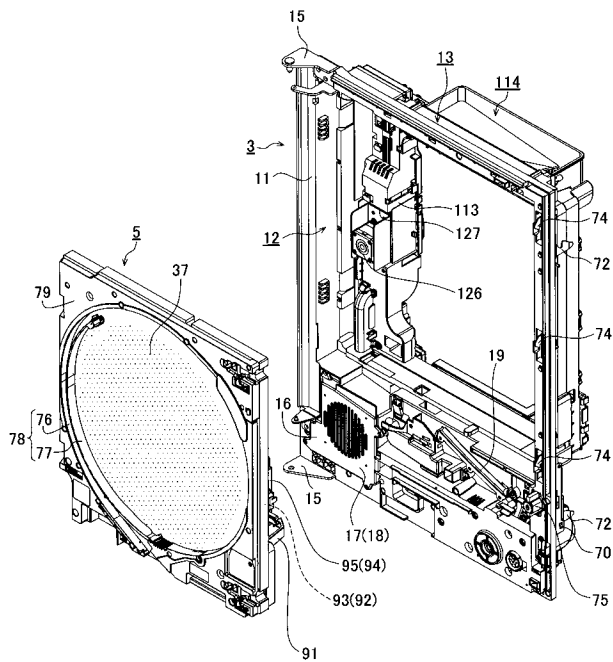
【図 1】



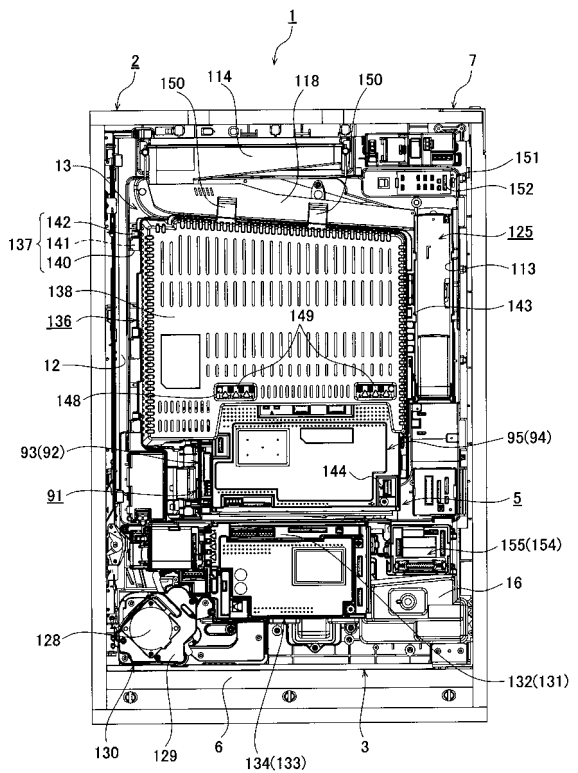
【図 2】



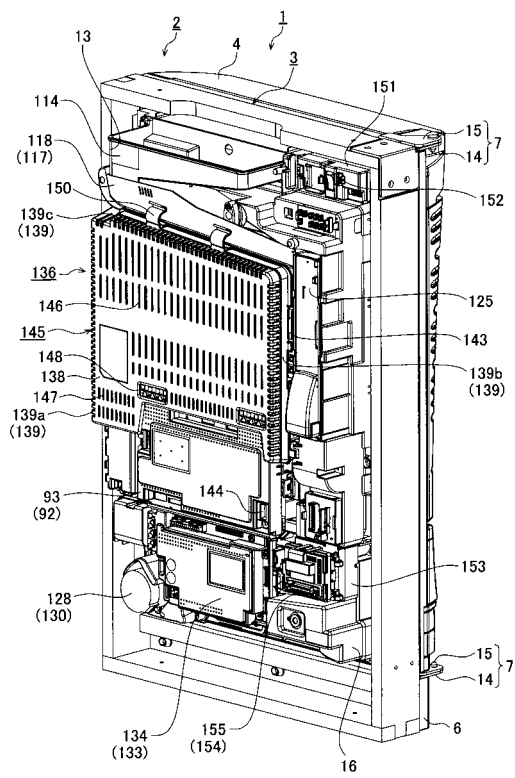
【図 3】



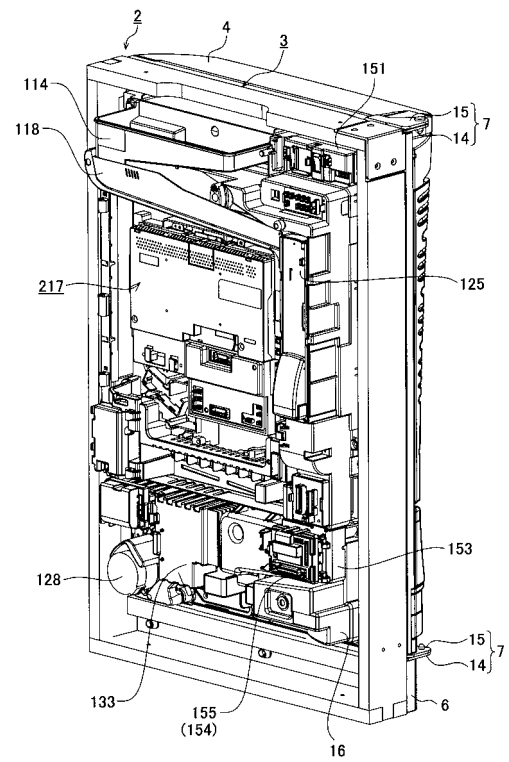
【図 4】



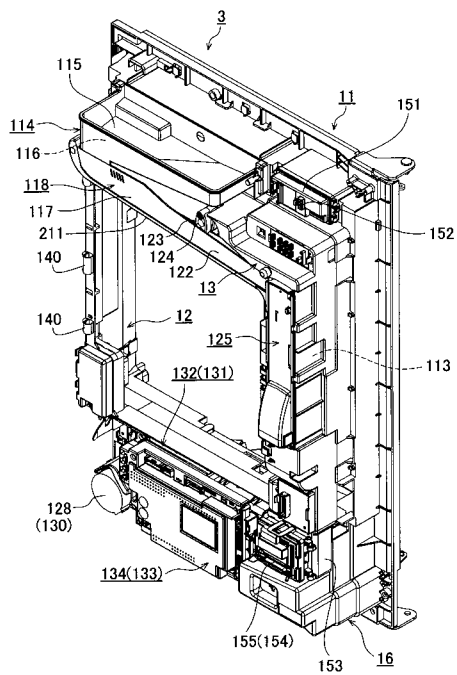
【図 5】



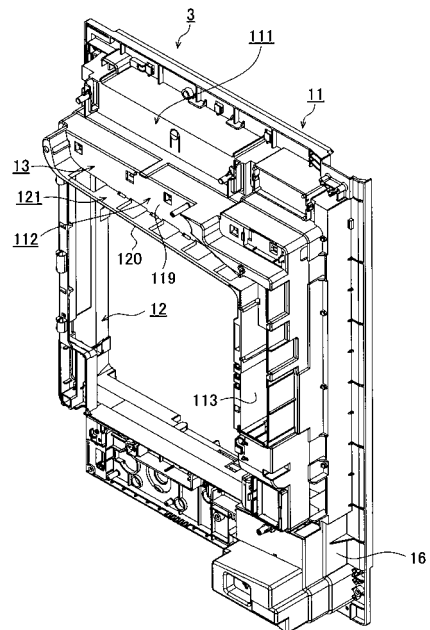
【図 6】



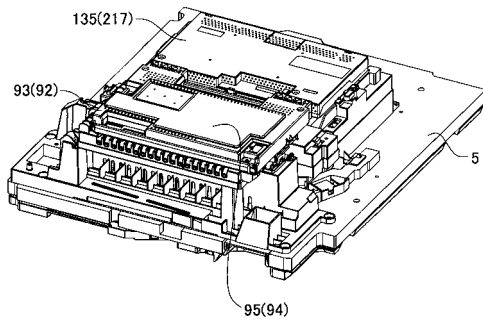
【図 7】



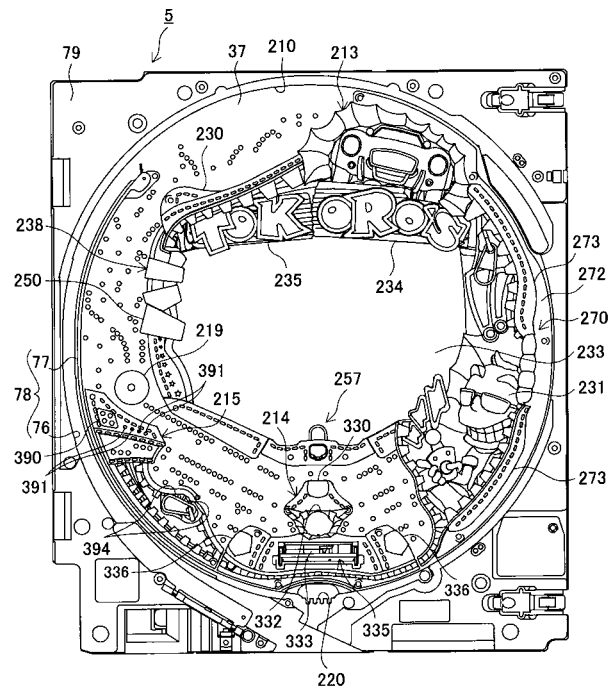
【図 8】



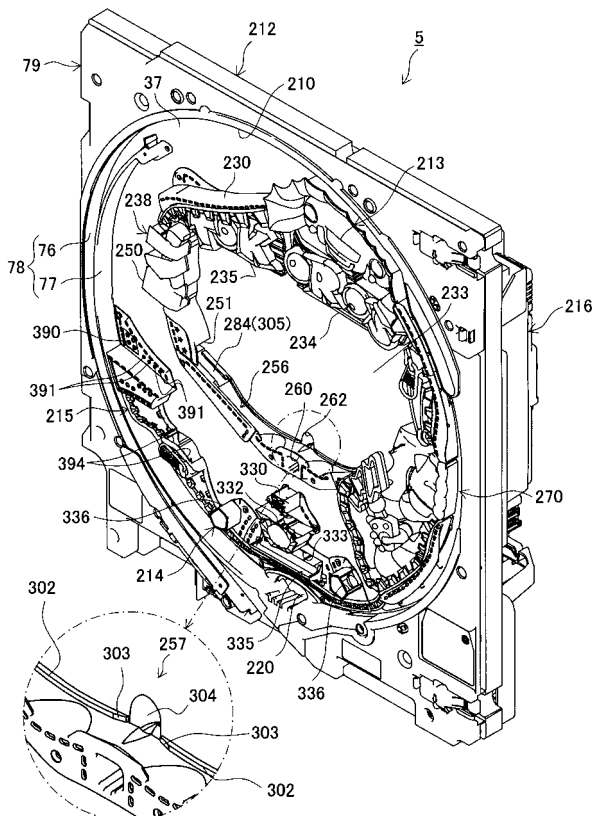
【図 9】



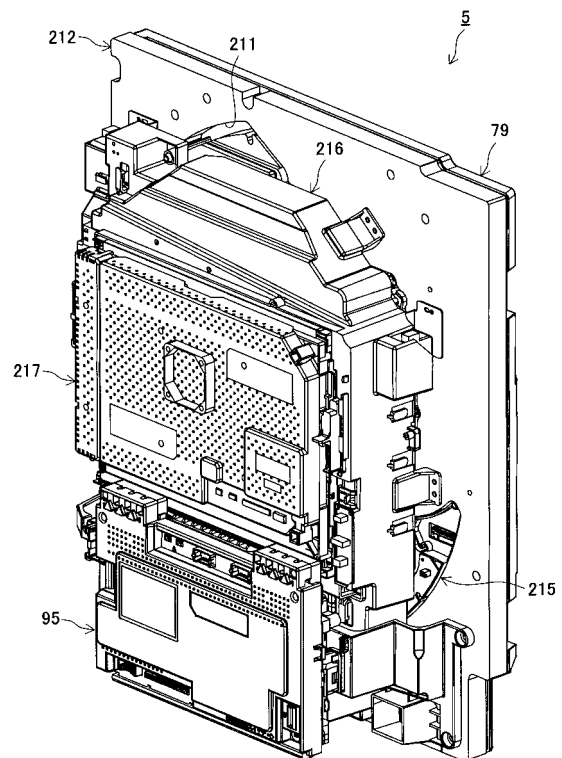
【図 10】



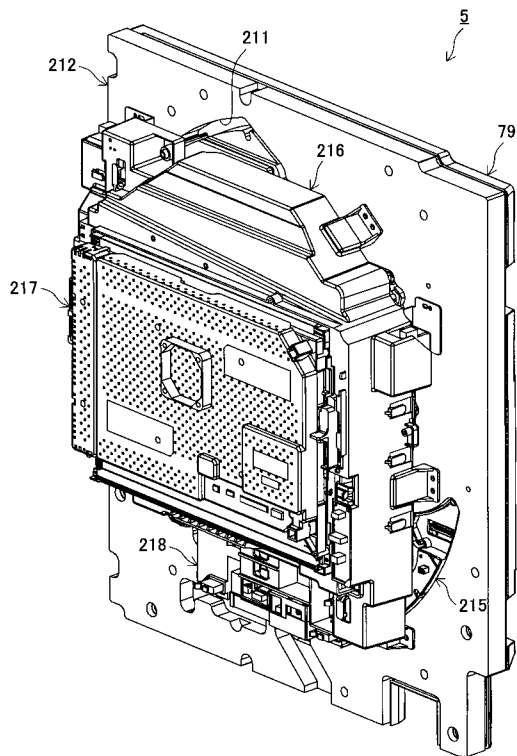
【図 11】



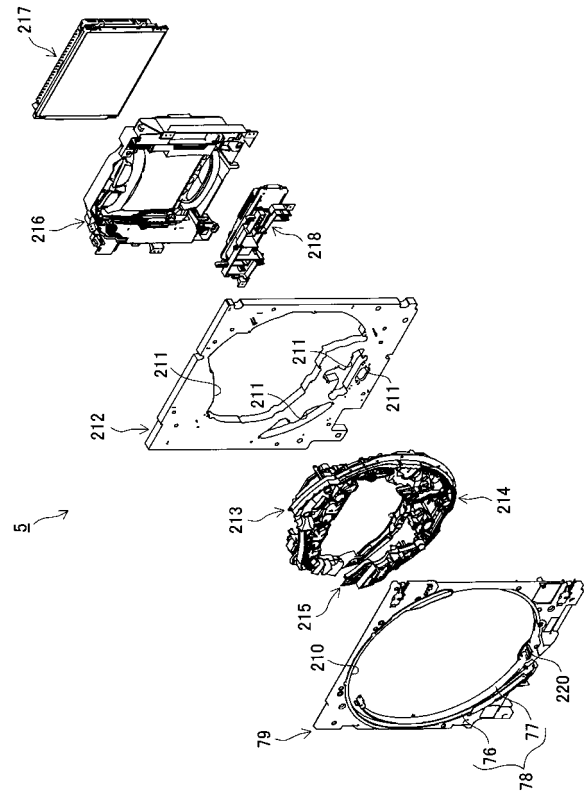
【図 12】



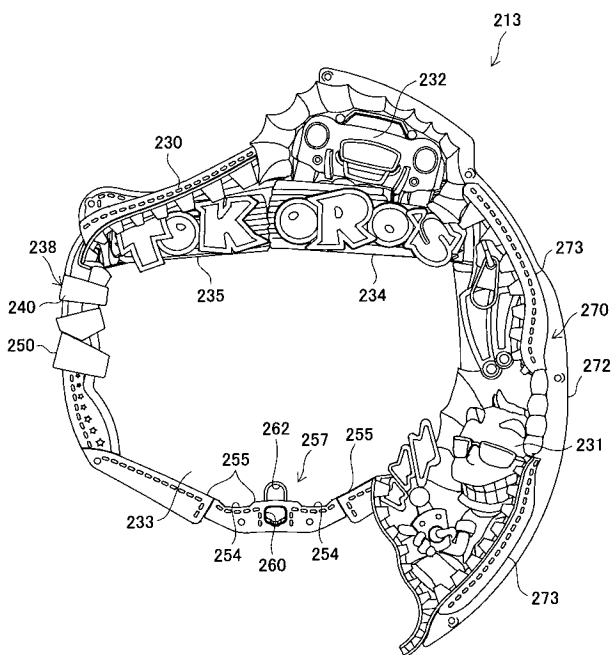
【図 13】



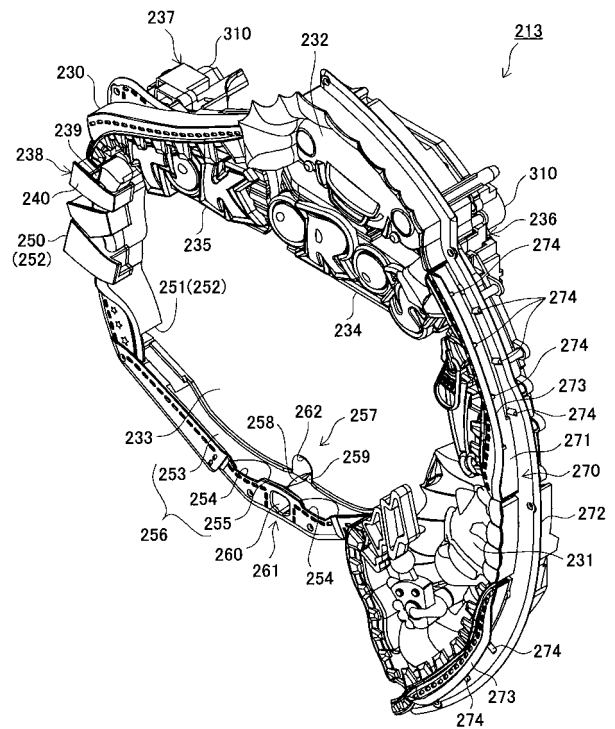
【図 14】



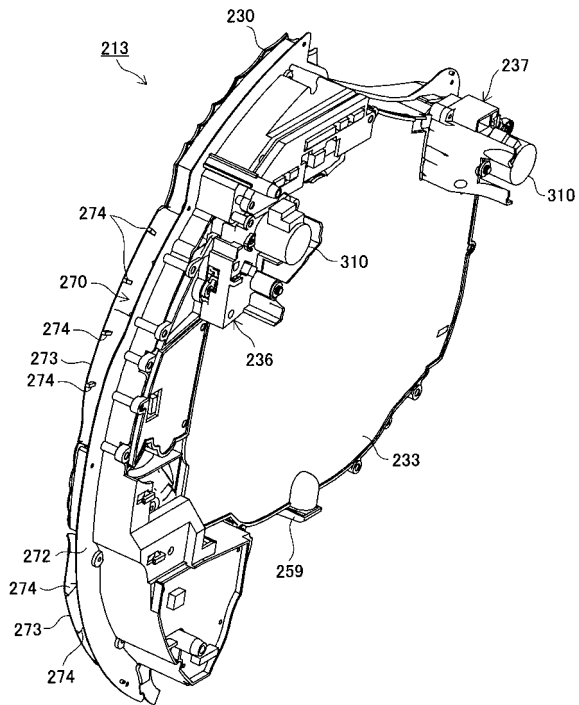
【図 15】



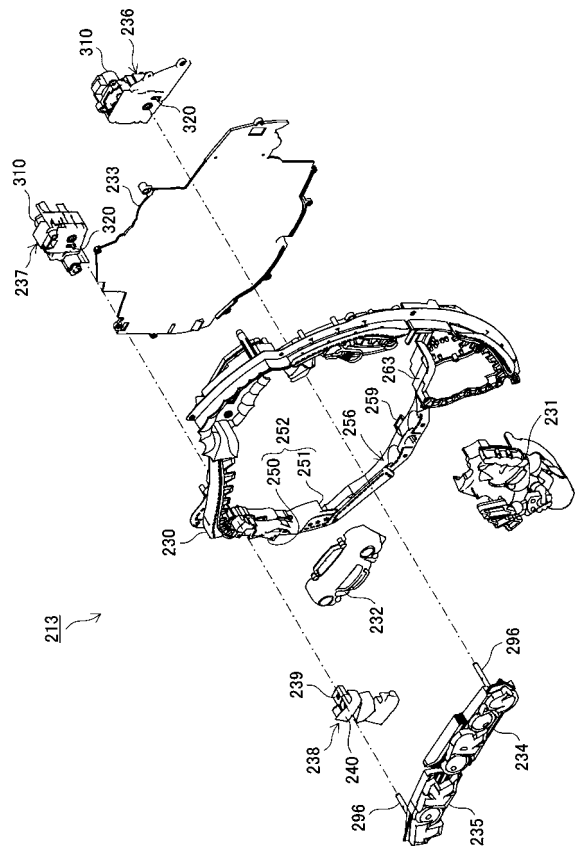
【図 16】



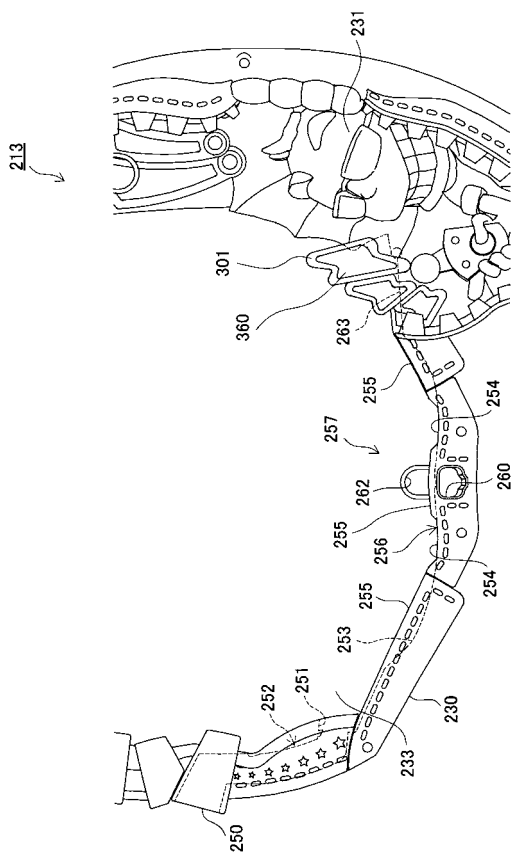
【図 17】



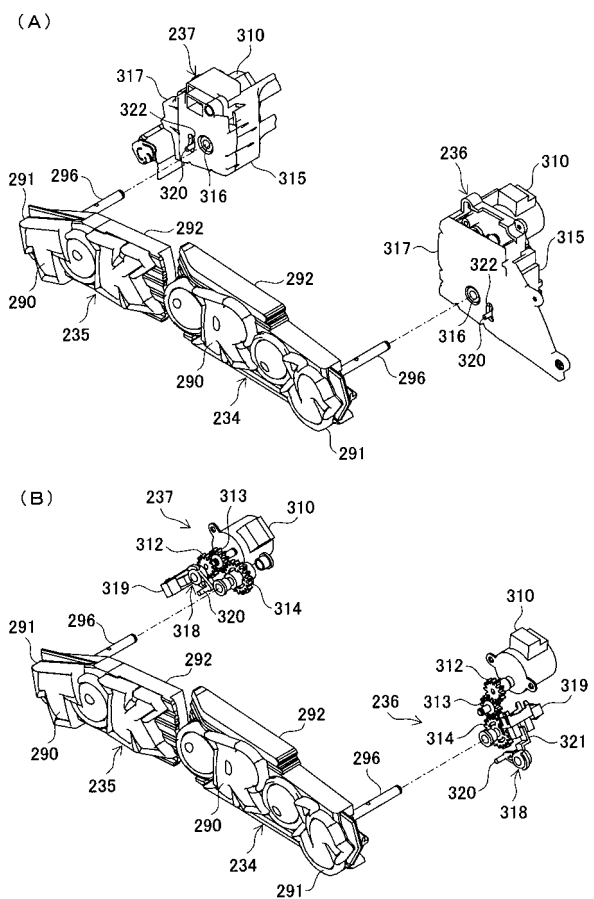
【図 18】



【図 19】

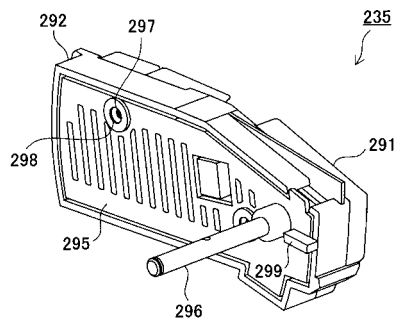


【図 20】

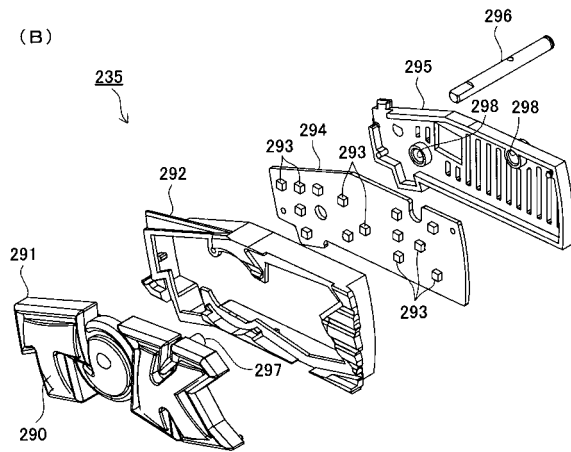


【図 2 1】

(A)

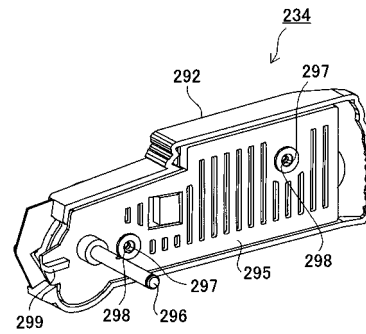


(B)

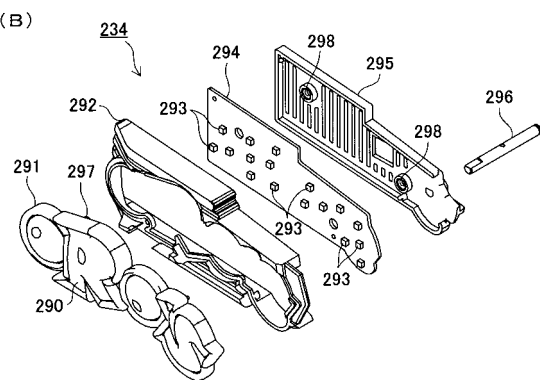


【図 2 2】

(A)

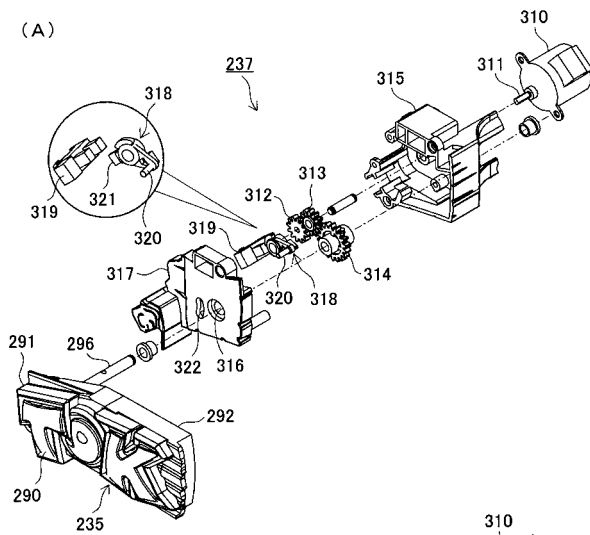


(B)

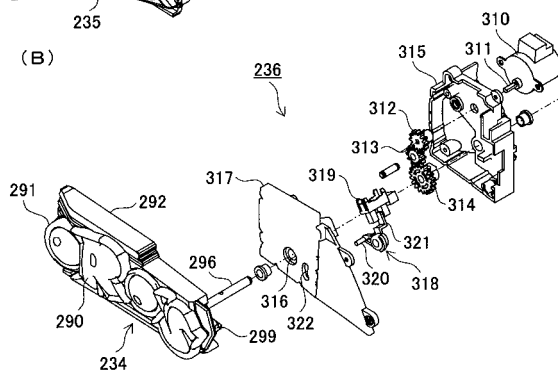


【図 2 3】

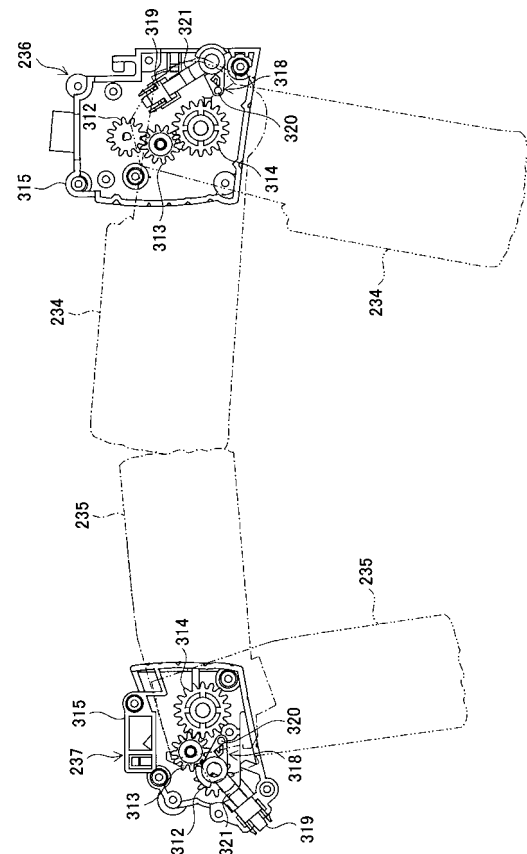
(A)



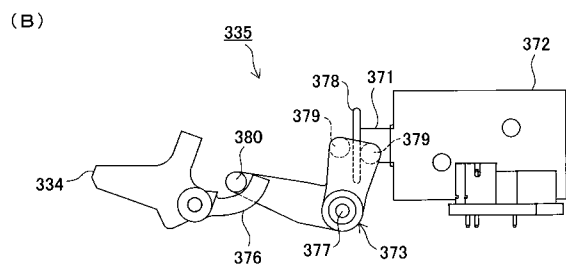
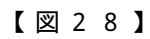
(B)



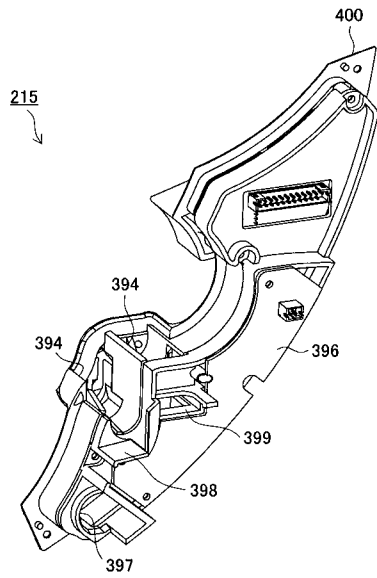
【図 2 4】



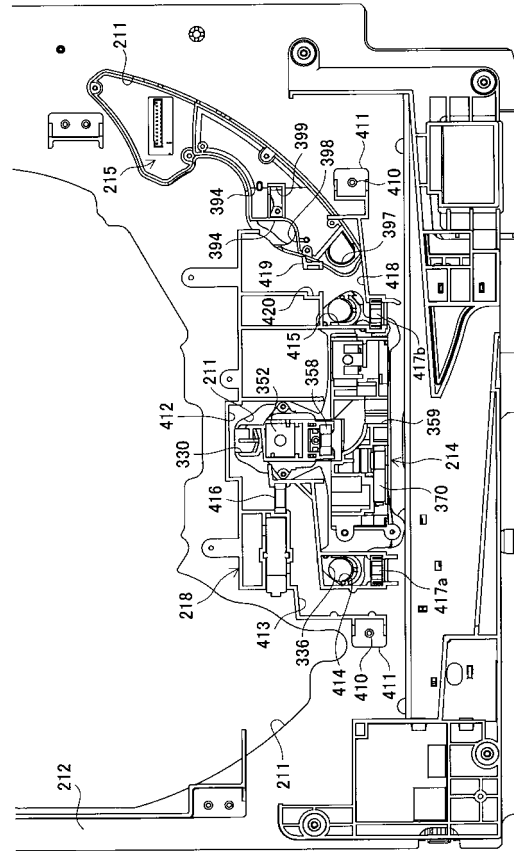
【 図 2 6 】



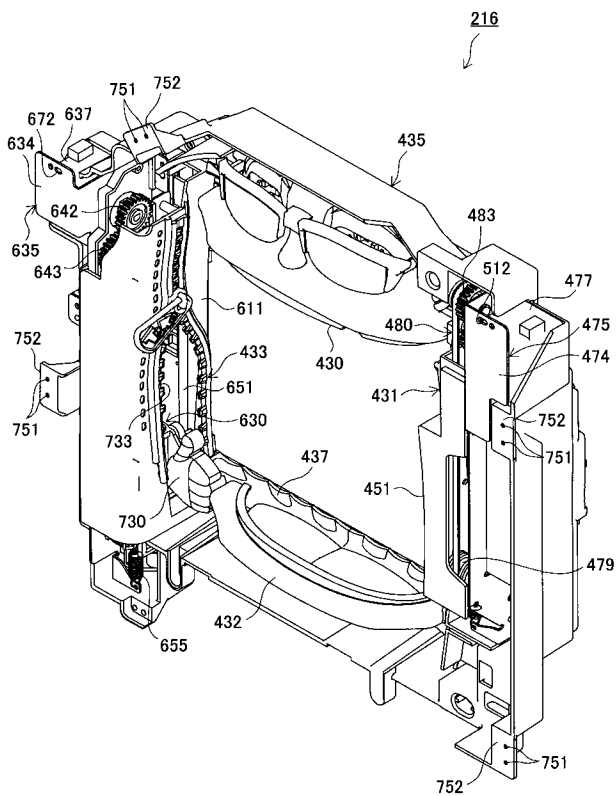
【図 29】



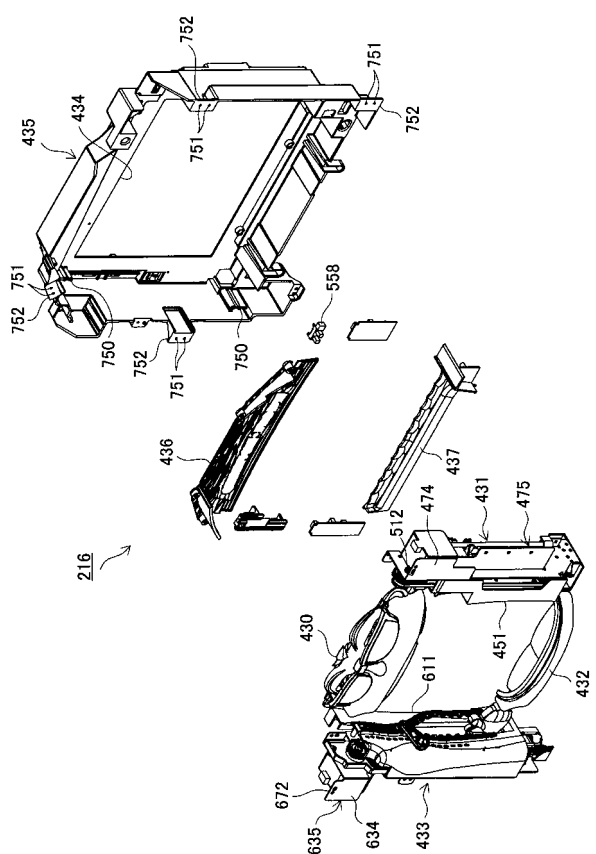
【図 30】



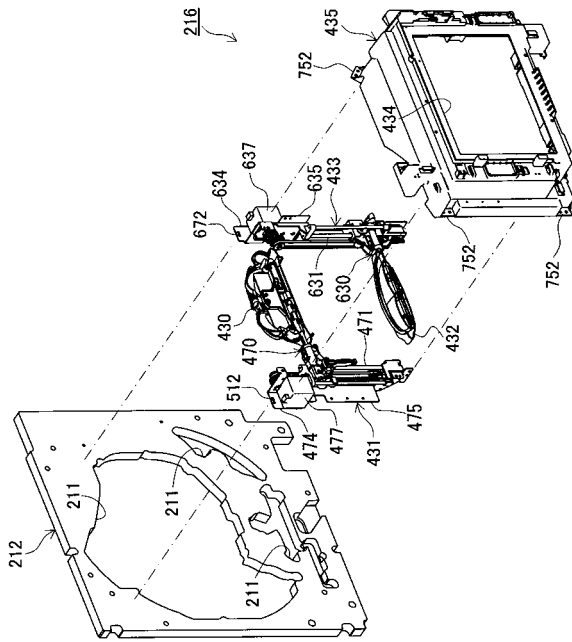
【図 31】



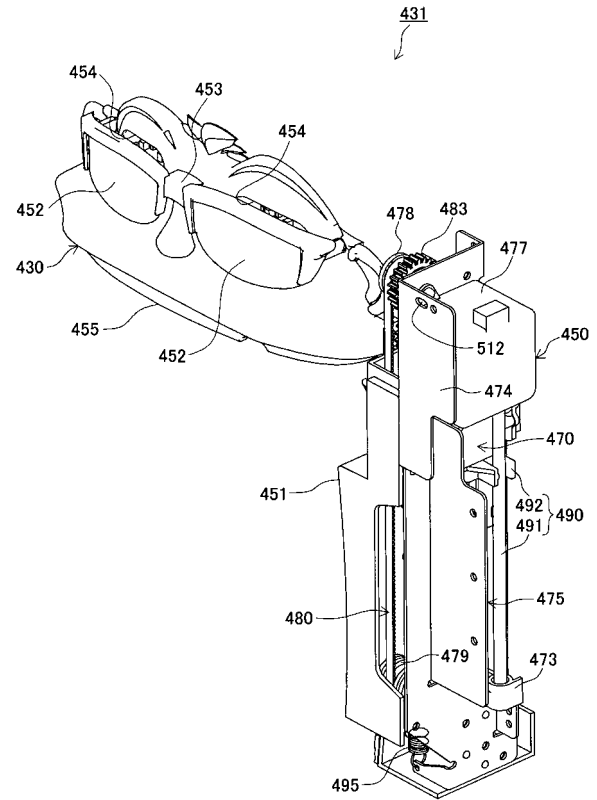
【図 32】



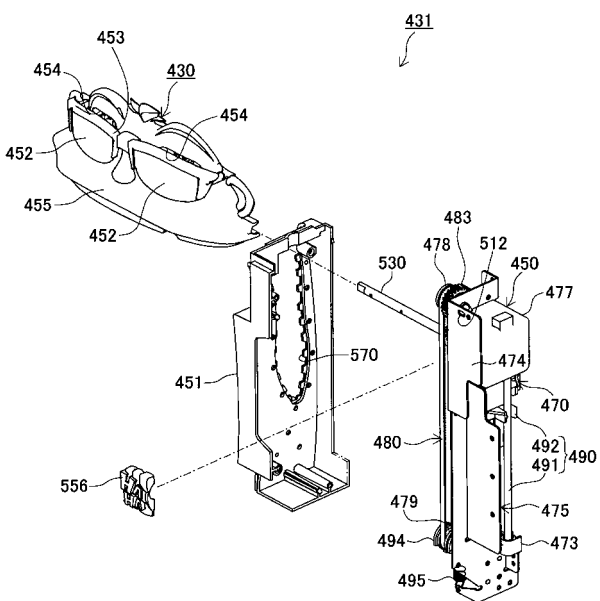
【図 3 3】



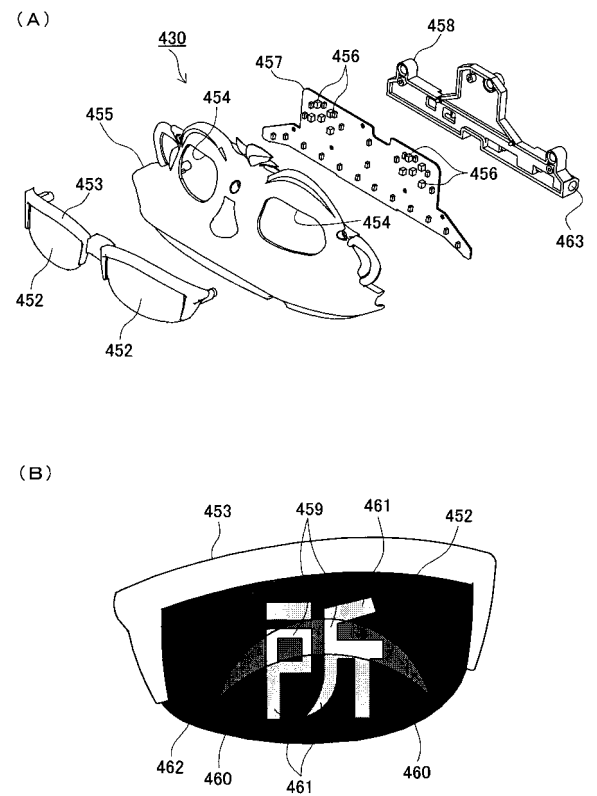
【図 3 4】



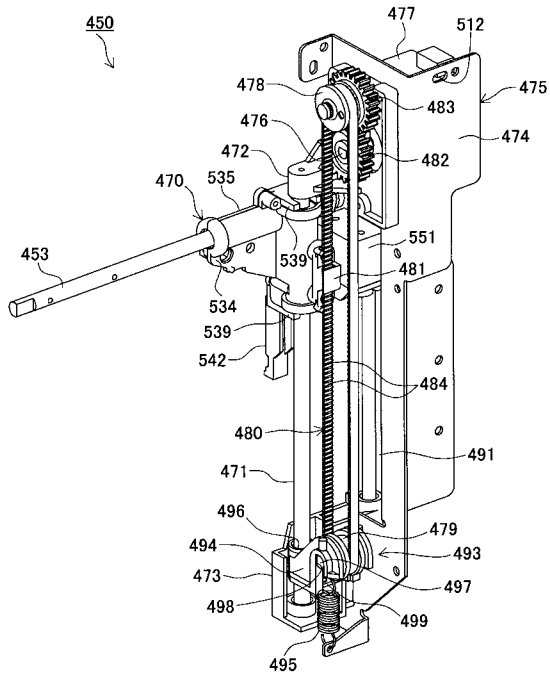
【図 3 5】



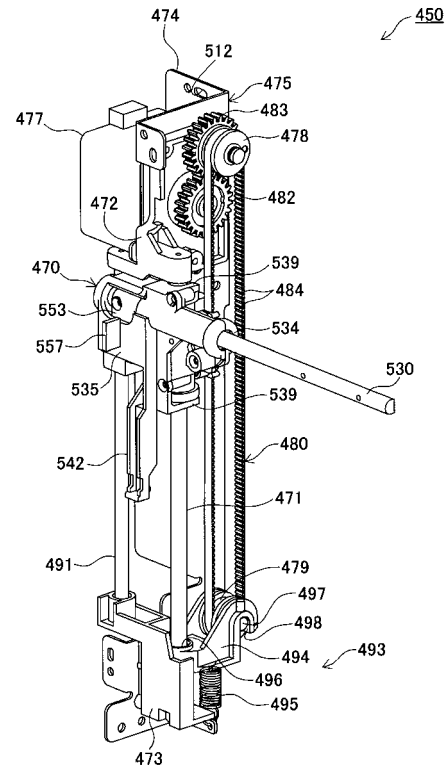
【図 3 6】



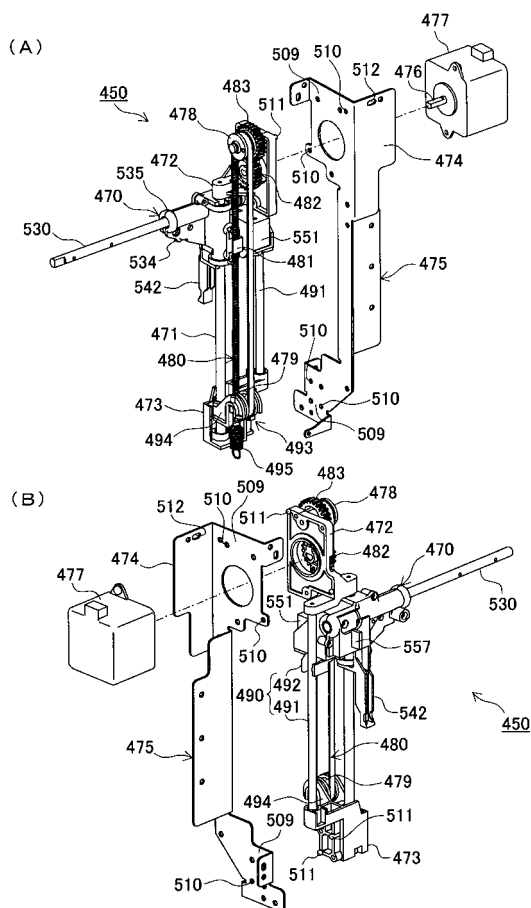
【図 37】



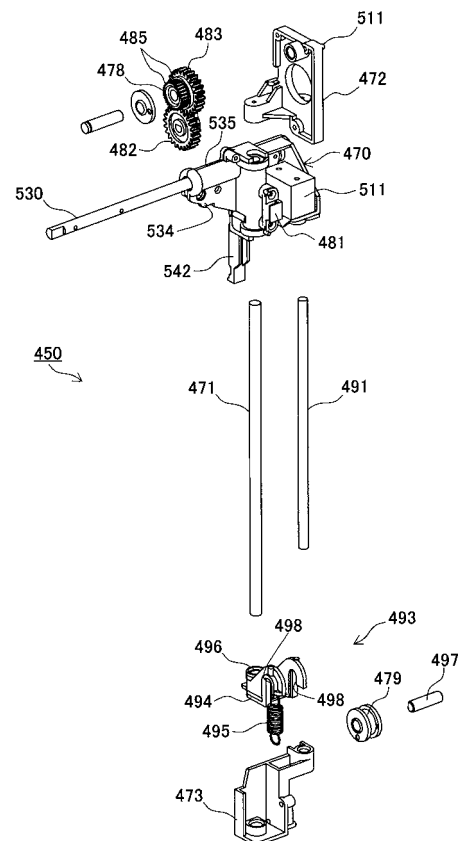
【図 38】



【図 39】

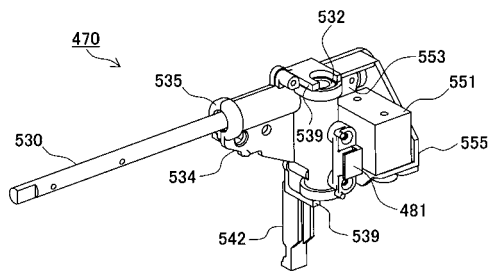


【図 40】

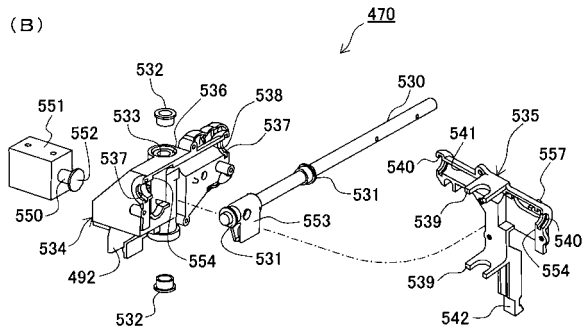


【図 4 1】

(A)

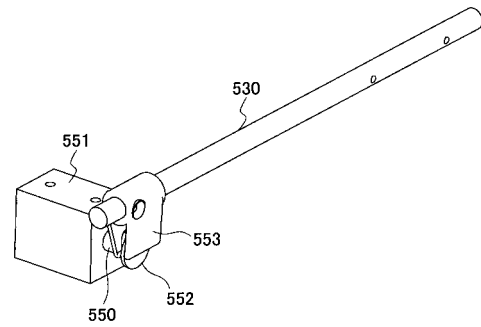


(B)

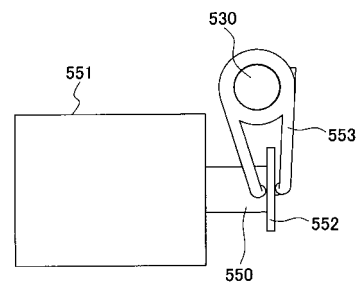


【図 4 2】

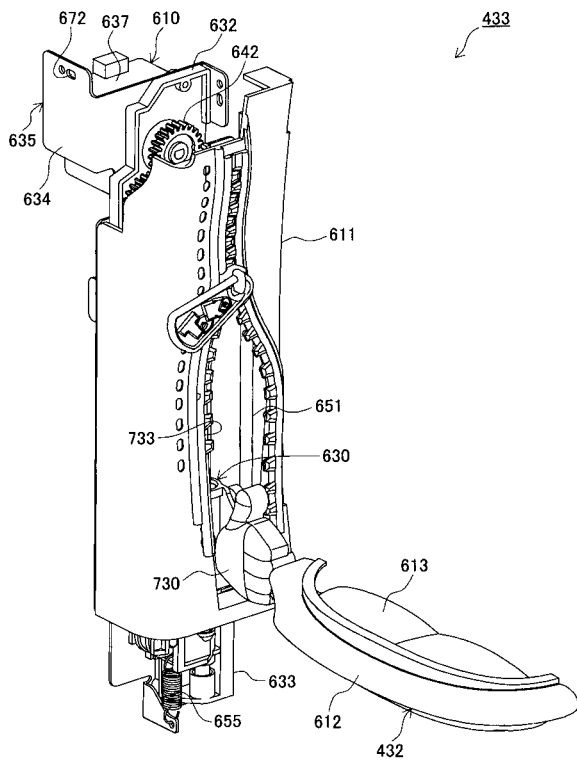
(A)



(B)

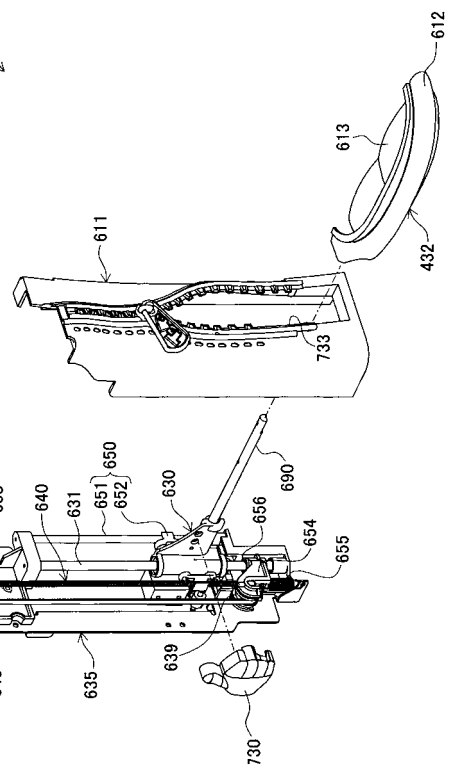


【図 4 3】

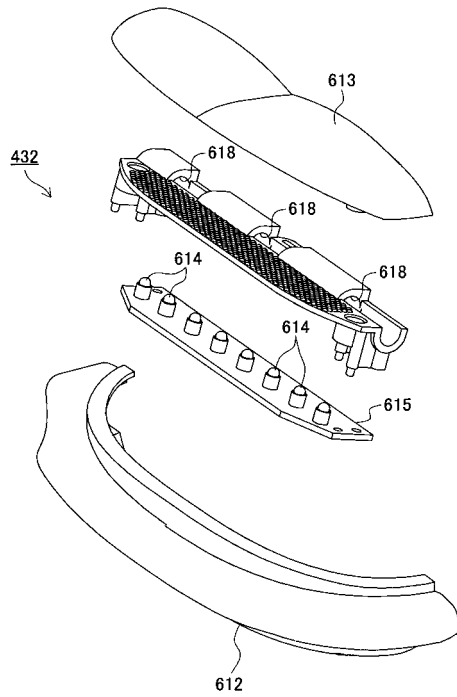


【図 4 4】

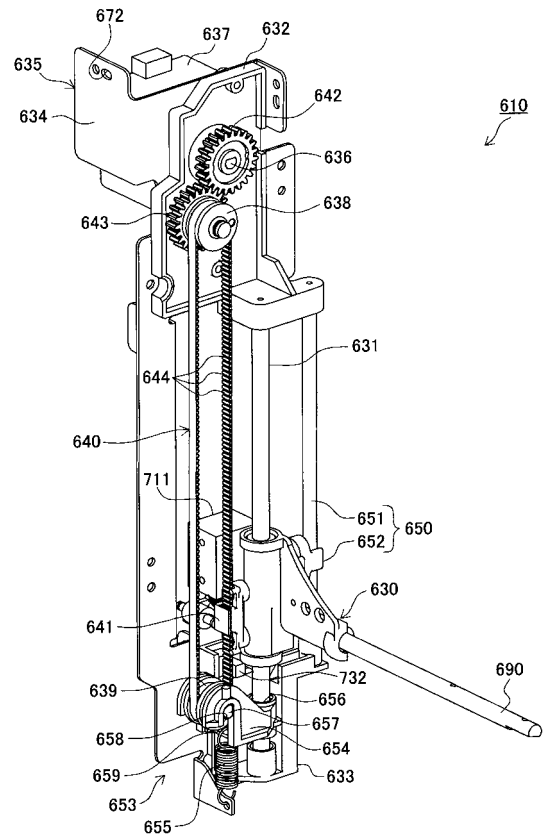
433



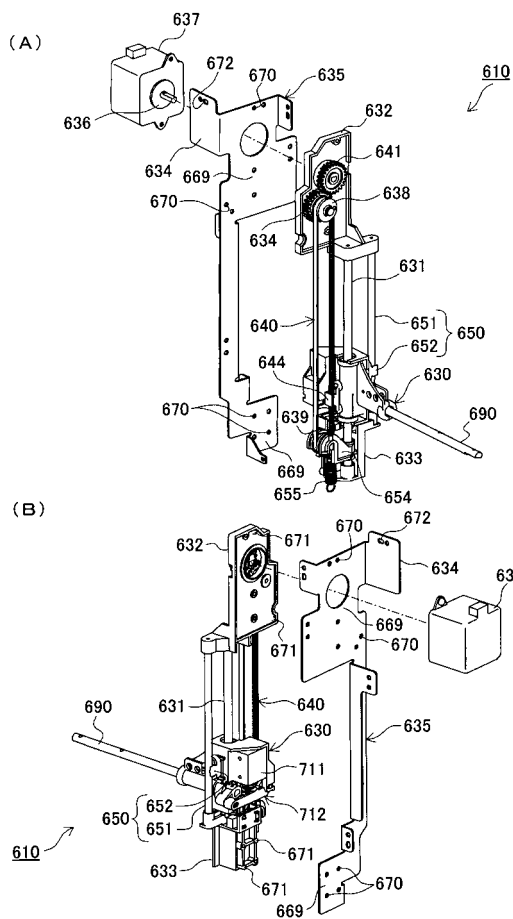
【図 45】



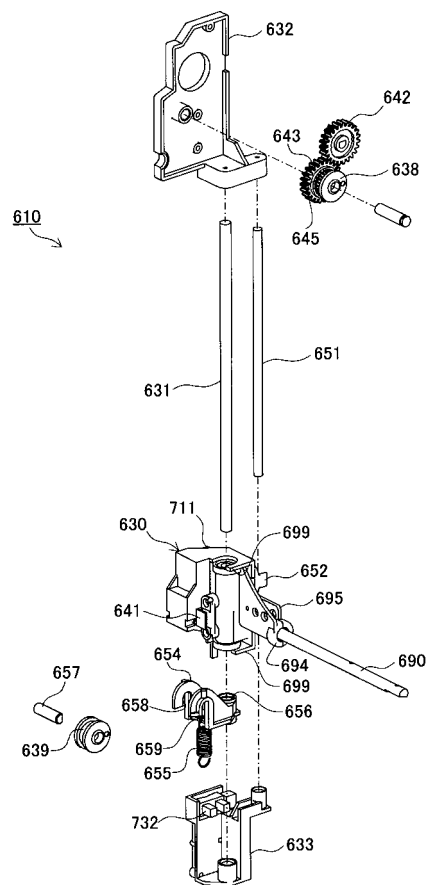
【図 46】



【図 47】

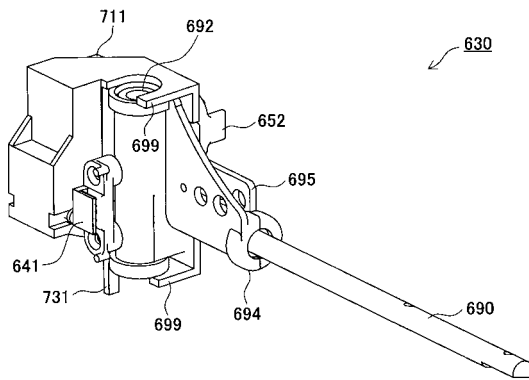


【図 48】

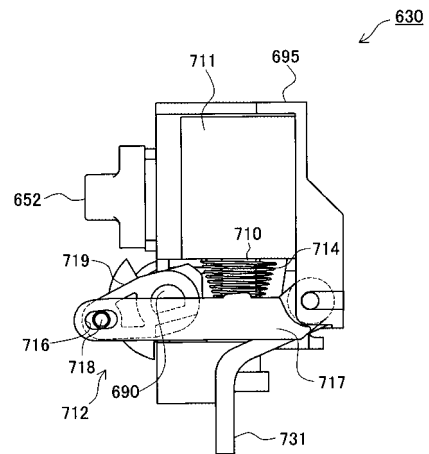


【図 49】

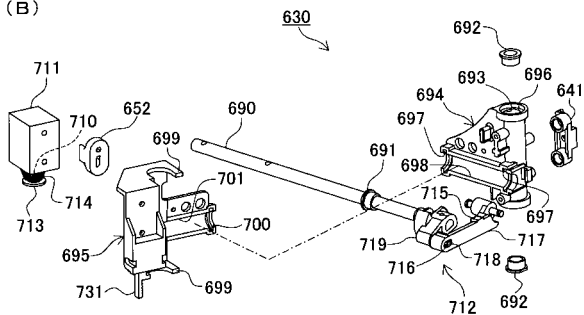
(A)



【図 50】

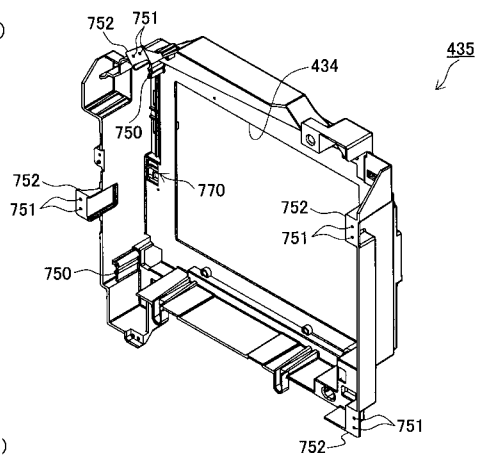


(B)



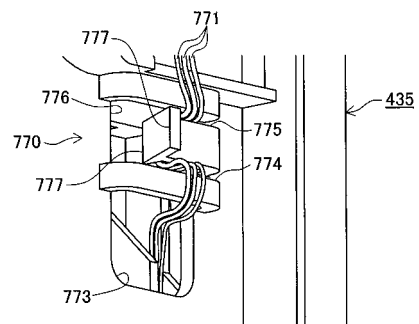
【図 51】

(A)

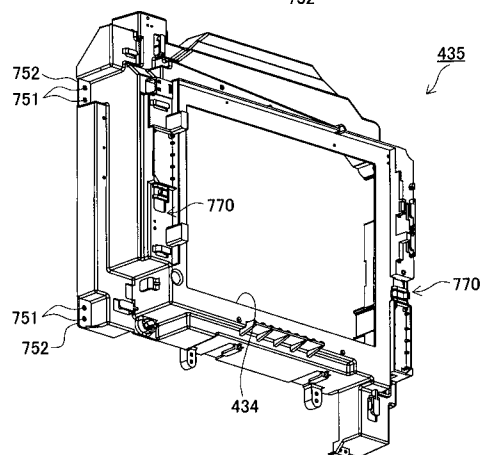


【図 52】

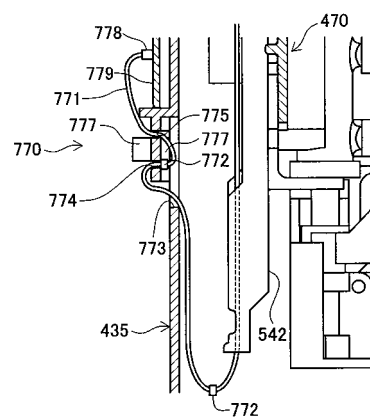
(A)



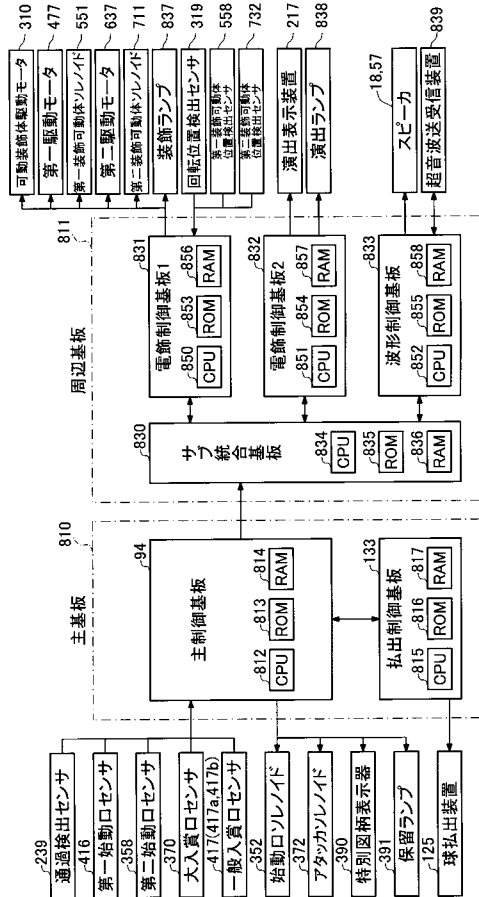
(B)



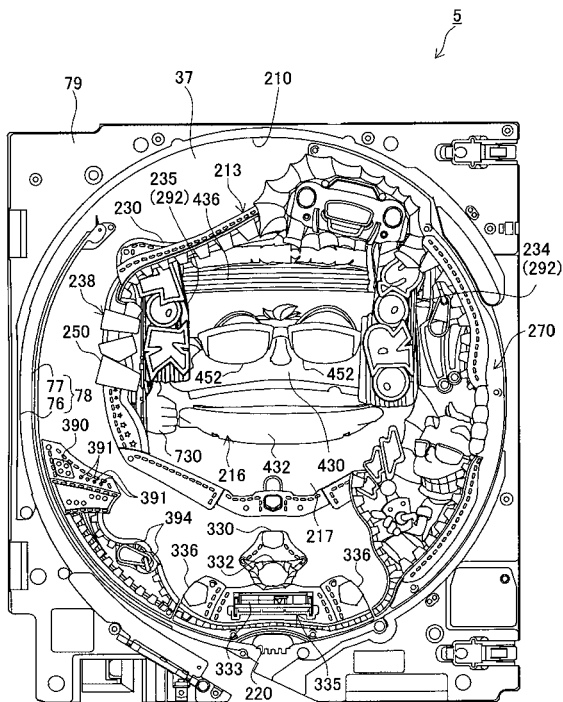
(B)



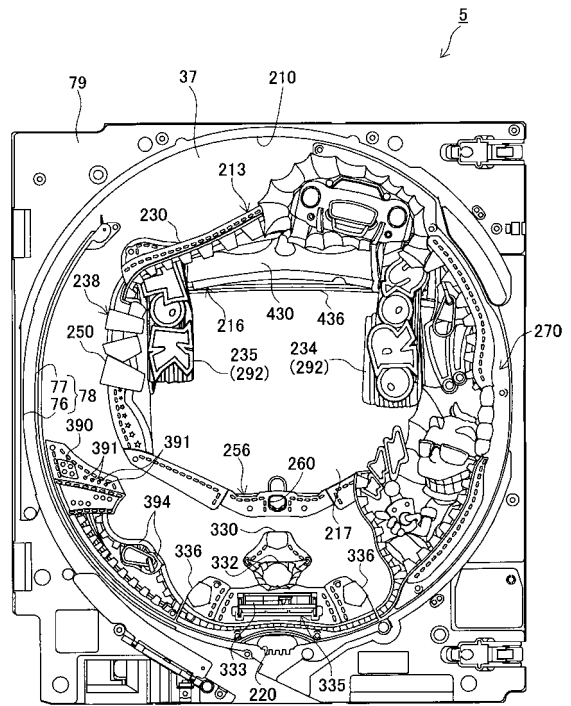
【 図 5 3 】



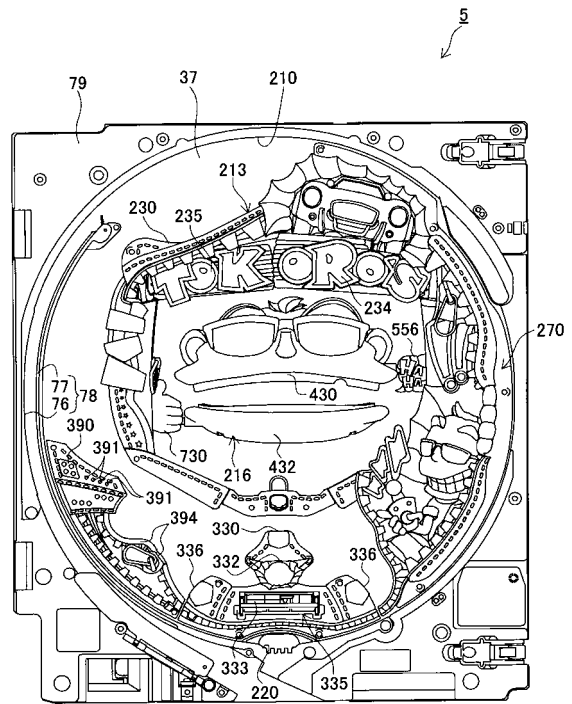
【 ㄨ 5 5 】



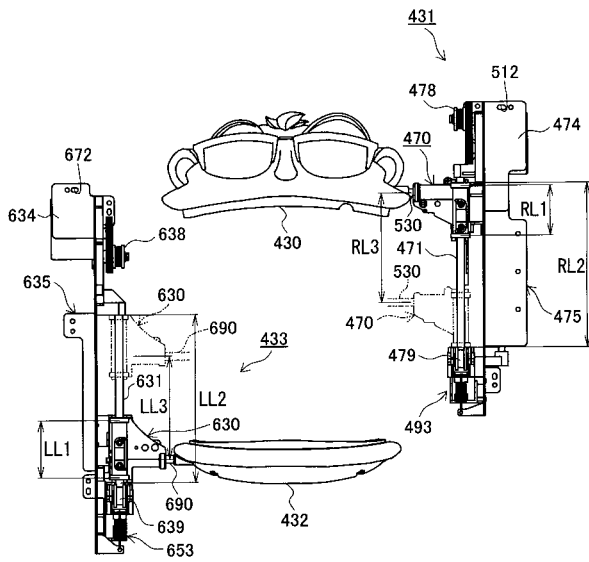
【 図 5 4 】



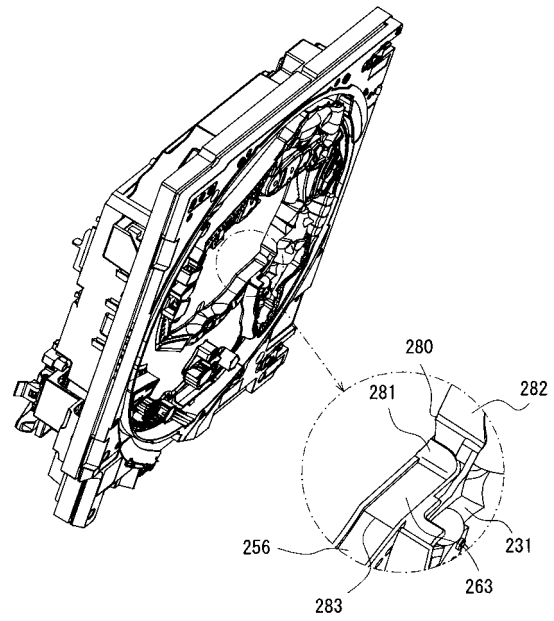
【 ㄨ 5 6 】



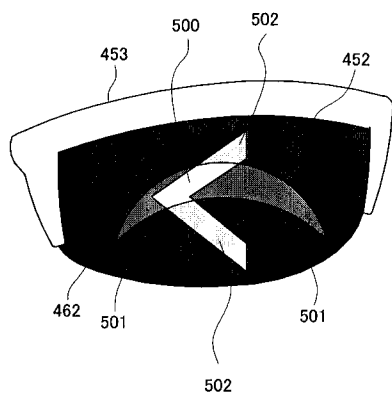
【図 57】



【図 58】



【図 59】



【図 60】

